

長野市
スポーツに関するアンケート調査
～報告書～

令和8年3月

長野市

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施概要	1
3. 本報告書の構成と対応する調査項目	1
4. 本書の注意点	2
II. 調査結果の要約	3
III. 調査結果の詳細	5
1. 回答者の属性	5
2. 「する」スポーツの実施状況等	11
(1) スポーツの実施状況	11
(2) 運動・スポーツへの意識、きっかけ等	22
3. 運動・スポーツを「支える」活動の状況等	27
(1) 運動・スポーツを支える活動状況	27
(2) 運動・スポーツを支える活動を行ううえで必要なこと	29
4. 「観る」スポーツの実施状況等	30
(1) スポーツの観戦状況について	30
(2) 長野市の地域密着型プロスポーツについて	33
5. 「障害者スポーツ」について	36
(1) 障害者スポーツへの関わり	36
(2) 障害者スポーツ活動を促進するための取組等	37
6. 運動・スポーツの基盤について	39
(1) 総合型地域スポーツクラブの状況	39
(2) 公共スポーツ施設の利用について	43
7. 市の「スポーツ振興」について	47
(1) 運動・スポーツ情報の入手について	47
(2) 長野市のスポーツ振興の方向性について	49
(3) オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくり	51
(4) 長野市のスポーツ振興に関する自由意見	53
IV. 資料編	55

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、第三次長野市スポーツ推進計画（令和4～8年度）（以下、現行計画）の見直しに向けて以下の3点を目的に実施しました。

- | |
|--|
| ① 市民のスポーツの実施状況を把握すること
（「する」スポーツ、「支える」スポーツ、「観る」スポーツ、「障害者」スポーツ） |
| ② 現行計画の施策の見直しの視点を導出すること |
| ③ 次期計画の指標候補の現状値を取得すること |

ただし、①については、2025年（令和7年）6月のスポーツ基本法改正により、スポーツの社会的役割として新たに『集まる・つながる』の視点が明示されたことを受け、本調査においてもその視点を踏まえた分析を加えています。

2. 実施概要

調査対象：18歳以上の長野市民 3,000人

標本抽出：住民基本台帳（令和7年12月1日）からの無作為抽出方法

調査手法：返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式（Webフォーム回答も併用）

調査期間：令和8年1月～2月

回収結果：1,211件（有効回答率40.4%）

3. 本報告書の構成と対応する調査項目

本報告書は主要なスポーツ施策に合わせて、以下の構成となっています。対応する調査項目ともに整理します。

章番号	章タイトル	対応する調査項目
1	回答者の属性	A：あなたについて （性別、年代、居住地区、職業、同居家族、可処分時間、主観的健康度、主観的運動不足感）
2	「する」スポーツの実施状況等	B：スポーツの実施状況について （関心度、携わり方、習慣度、実施時間帯、実施場所、スポーツをしない理由、1年間に実施したスポーツ・今後取り組みたいスポーツ、1年間の実施日数、スポーツの実施理由、継続年数、はじめたきっかけ）
3	「支える」スポーツの活動状況等	E：スポーツを支える活動状況について （1年間のボランティア活動の実施状況・今後の実施意向、ボランティア活動を行う上で必要なこと）
4	「観る」スポーツの実施状況等	F：スポーツの観戦状況について （1年間に観戦したスポーツ、観戦による意識・行動の変化） G：長野市の地域密着型プロスポーツチームについて （チーム別愛着度、プロスポーツチームへの誇り・愛着、連携した地域づくりへの期待度、連携を進めるべき活動）

章番号	章タイトル	対応する調査項目
5	「障害者スポーツ」について	D：障害者スポーツについて (関与度、必要な市の取組、あなた自身ができる取組)
6	運動・スポーツの基盤について	C：総合型地域スポーツクラブについて (認知度、活動別認知度、参加意向、参加したい活動) I：スポーツ施設の利用について (利用した公共スポーツ施設・充実させた方がよい公共スポーツ施設、利用したことがない理由)
7	市のスポーツ振興について	H：オリンピック開催都市であることについて (当時の関わり方、開催都市であることの評価、オリンピック開催による社会的価値の醸成度・重要度) J：長野市の運動・スポーツ振興について (スポーツに関する情報入手先、情報入手による意識・行動変化、期待するスポーツ振興の効果、市に力を入れてほしいこと、スポーツ振興についての自由意見)

4. 本書の注意点

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単一回答（選択肢の中から1つを選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（選択肢の中から2つ以上を選ぶ方式）の設問の場合は選択肢ごとの回答数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表内に示したnは集計対象者総数を表します。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ. 調査結果の要約

1. 市民のスポーツへの関心は高いが、習慣化には課題がある

- 「運動・スポーツが好き」「どちらかといえば好き」と回答した人は 65.0%である一方、「日頃運動・スポーツをする習慣がある」と回答した人は21.1%にとどまり、「全くしない」は30.6%となっている。スポーツは嫌いではないが、実際には実施できていない人も多いと考えられる。
- スポーツに対する関心や意欲は高いものの、特に働き盛り世代や子育て世代を中心に、運動を継続的に実施するための時間や機会の確保が課題となっていることがうかがえる。

2. 市民の「する」スポーツは健康づくりを目的とした活動が中心

- この1年間に取り組んだスポーツでは「ウォーキング」が最も多く、最も熱心に取り組んだスポーツでも32.2%を占めている。続いて手軽にできる体操やトレーニングなどが多くあげられた。
- 市民のスポーツ活動は、競技性の高いスポーツよりも、健康維持や体力づくりを目的とした活動が中心となっており、スポーツ振興においても健康づくりの視点が重要といえる。

3. 地域によってスポーツ実施状況に差がみられる

- スポーツ習慣率は、川中島・更北地域で 52.2%、芹田・安茂里地域で 48.7%と高い一方、北部地域では 30.0%、北部山間地域では 31.3%にとどまっている。
- 施設があってもスポーツ実施につながっていない地域もあることから、それぞれの地域特性や利用実態を踏まえたスポーツ環境づくりが求められる。

4. 公共スポーツ施設利用は増加しているが、さらに利用促進の余地がある

- 運動・スポーツを実施する場所は「公共体育・スポーツ施設」が 42.7%で最も多く、前回調査と比較して公共施設の利用割合は増加している。ただし、社会体育館の利用は低調となっている。
- 一方で、施設を利用しない理由として「施設をよく知らない」「一緒にやる仲間がいない」といった回答もみられ、施設整備に加え、情報発信の強化や、仲間づくり・交流といった視点からの利用促進の取組が必要と考えられる。

5. 「支える」スポーツへの参加は限定的

- スポーツ指導・審判、スポーツクラブ等の運営、大会運営などのボランティアに参加している人はいずれも1割未満となっている。今後の参加意向も全体的に低く、前回調査と傾向は変わっていない。
- 支える活動を行うために必要なこととして、日時の都合が合うこと、参加頻度を選べること、家から近いことなどの活動しやすさが上位にあげられている。スポーツ活動を振興していくためには、競技者や参加者だけでなく、スポーツを支える人材の育成や参加機会の充実も課題といえる。

6. 観戦行動は市民のスポーツへの関心向上につながっている

- 観戦したスポーツでは野球、マラソン・駅伝、サッカーが上位を占めている。

- 観戦による効果として「そのスポーツが好きになり、より観戦するようになった」が 43.6%と最も高くなっている。
- スポーツ観戦は競技への興味・関心を高める機会にもなっており、「するスポーツ」と「観るスポーツ」の好循環を生み出せる可能性がある。

7. プロスポーツチームは地域活性化の資源として期待されている

- 信州ブレイブウォリアーズや AC 長野パルセイロに対する愛着を持つ市民は4割を超えており、プロスポーツチームの活躍が地域への誇りや愛着につながると考える市民は多い。
- スポーツを通じた地域活性化やシティプロモーションの推進において、地域密着型プロスポーツチームは重要な役割を担うことが市民からも期待されている。

8. 障害者スポーツの推進に向けて理解促進と参加機会の充実が求められている

- 障害者スポーツに関与している人は少なく、前回調査から進展がみられない。誰もがスポーツに参加しやすい環境づくりとして「障害の有無に関わらず参加できるイベントや教室の開催」「障害者スポーツへの理解促進」「施設のバリアフリー化」などへの要望が上位となっている。
- 若い年代で自分ができる取組をあげる割合が他の年代より高くなっており、若い層を中心に障害者スポーツへの関与を高めていける可能性がある。
- 「集まる・つながる」というスポーツの社会的価値の一側面であるスポーツを通じた共生社会の実現に向けて、障害者スポーツの参加機会の充実と環境整備を進める必要がある。

9. 総合型地域スポーツクラブの役割や存在意義の周知が課題

- 総合型地域スポーツクラブ認知度が2割にとどまり、前回調査から認知度が向上していない。具体的な活動としては高齢者では「高齢者プログラム」、中学生の保護者の年代では「学校部活の地域展開支援」の認知が高く、当事者として関連する活動には関心がみられる。
- 参加意向を示す人は 28.5%にとどまり、前回調査よりも低下している。活動ごとの参加意向度をみると、「協力したい活動はない」が約半数で総じて関心が低いが、若い年代では運営ボランティアやイベントのサポートへの関心がやや高くなっている。

10. スポーツ振興に期待される大きな役割は健康づくり・高齢者の生きがいづくり。今後は施設整備と参加しやすい環境づくりが求められている

- スポーツ振興に期待する効果として、「健康づくり・生活習慣病予防」「高齢者の生きがいづくり」が上位となり、特に高齢者層でその割合が大きくなっている。また、30～40 歳代の子育て世代では、スポーツ振興の役割として「親子や家族の交流」「子どもの体力づくり」に期待する人が多くなっている。市民は、健康福祉や生涯学習、仲間づくり・交流、子育ての視点からスポーツの価値を重視していることがうかがえる。
- 今後、市に力を入れてほしい施策として、「スポーツ施設の充実」「スポーツイベント・教室の開催」「障害の有無に関わらずスポーツに親しめる環境づくり」が上位となった。スポーツ施設の充実に加え、誰もが気軽に参加できる機会や環境を整備し、市民のスポーツ実施率向上につなげていくことが求められる。

Ⅲ. 調査結果の詳細

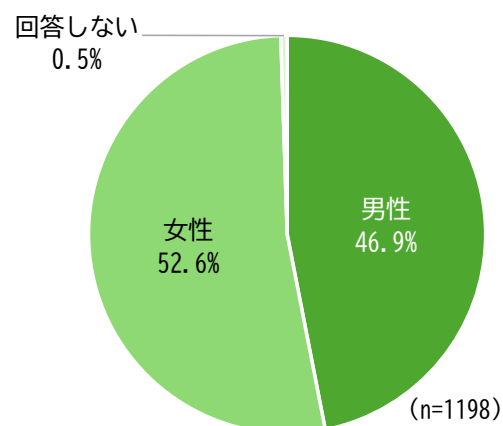
1. 回答者の属性

① 性別と年代

- 性別は、「男性」が46.9%、「女性」が52.6%となっています。
- 年代が高くなるほど回答率が高く、「50 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代」がそれぞれ約2割となっています。

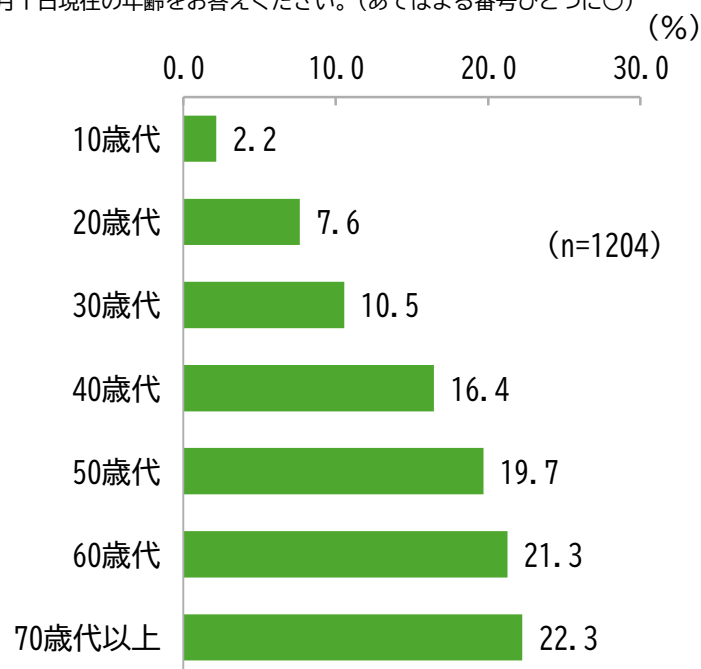
図表 1 性別（単一回答）

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）



図表 2 年代（単一回答）

問2 あなたの令和8年1月1日現在の年齢をお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

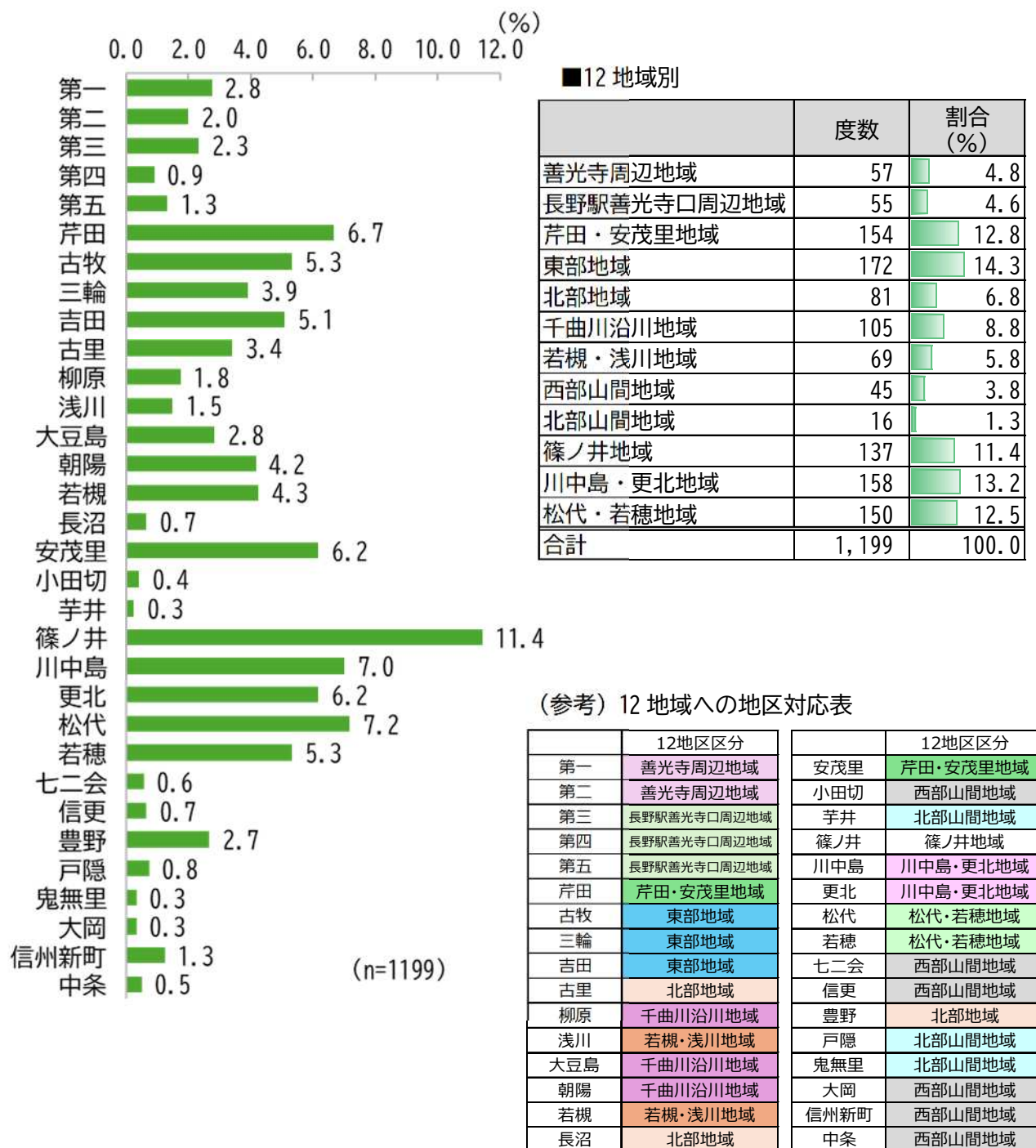


② 居住地区

- 居住地区は、「篠ノ井」が11.4%と最も高く、次いで「松代」が7.2%、「川中島」が7.0%となっています。
- 12地域別にみると、東部地域、川中島・更北地域、芹田・安茂里地域、松代・若穂地区、篠ノ井地区が10%以上となっていますが、北部・西部山間地域、善光寺・駅周辺の地域はいずれも5%未満です。

図表 3 居住地区（単一回答）

問3 あなたがお住まいになっている地区をお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

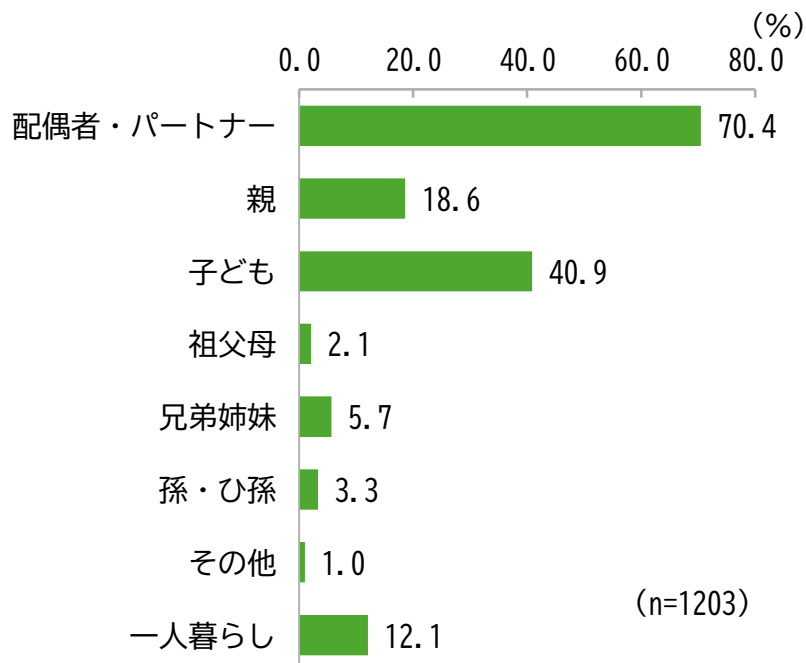


③ 同居家族

- 同居家族の内訳としては、「配偶者・パートナー」が70.4%、次いで「子ども」が40.9%となっています。また、「一人暮らし」は約1割となっています。

図表 4 同居家族（複数回答）

問5 あなたと同居している方をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

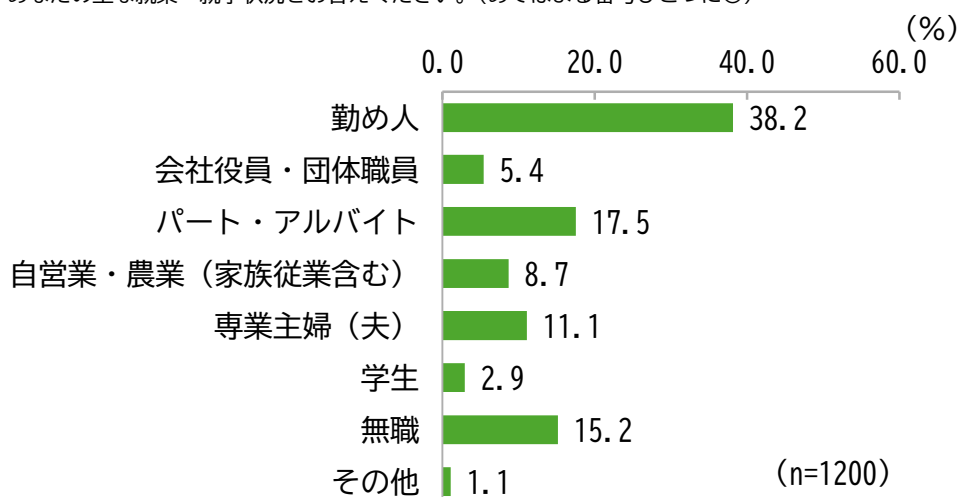


④ 就業・就学状況

- 就業・就学状況は、「勤め人」が38.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が17.5%、「無職」が15.2%となっています。

図表 5 就業・就学状況（単一回答）

問4 あなたの主な就業・就学状況をお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

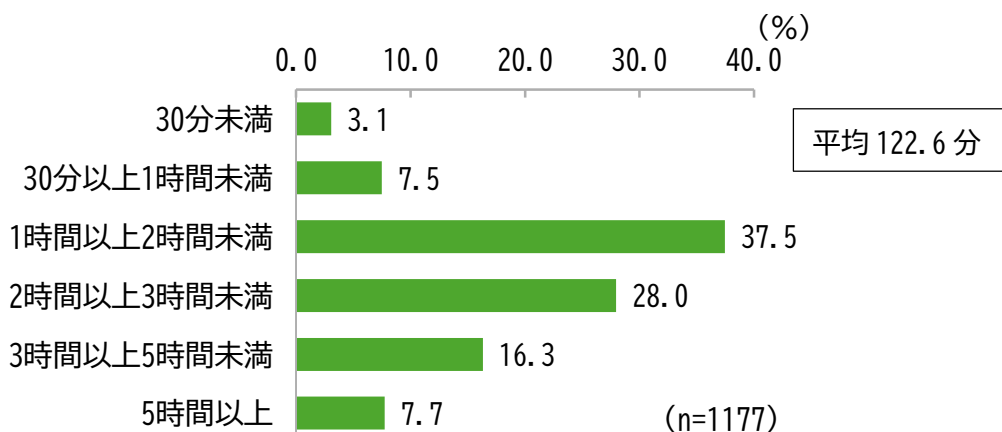


⑤ 趣味や自分の楽しみのために使える時間

- 趣味や自分の楽しみのために使える時間は、1日あたり「1時間以上2時間未満」が37.5%と最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」が28.0%となっています。平均すると122.6分です。
- 年代別にみると40～50代、職業別には勤め人、会社役員で平均時間が100分を下回っています。

図表 6 趣味や自分の楽しみのために使える時間（分）

問6 あなたはが趣味や自分の楽しみのために使える時間は、1日あたりどれくらいですか。（時間を回答）



【年代別】

	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	5時間以上	平均
10歳代 (n=25)	4.0	0.0	36.0	12.0	32.0	16.0	59.2
20歳代 (n=91)	2.2	3.3	38.5	40.7	13.2	2.2	109.6
30歳代 (n=127)	3.9	15.0	40.9	22.8	9.4	7.9	108.0
40歳代 (n=195)	6.7	13.3	48.7	17.4	11.8	2.1	89.3
50歳代 (n=235)	3.8	8.9	44.3	30.2	8.5	4.3	99.6
60歳代 (n=245)	1.2	4.1	35.5	31.8	19.2	8.2	131.8
70歳代以上 (n=258)	1.2	3.5	22.9	29.5	27.1	15.9	168.4
合計	3.1	7.5	37.5	27.9	16.3	7.7	122.6

【職業別】

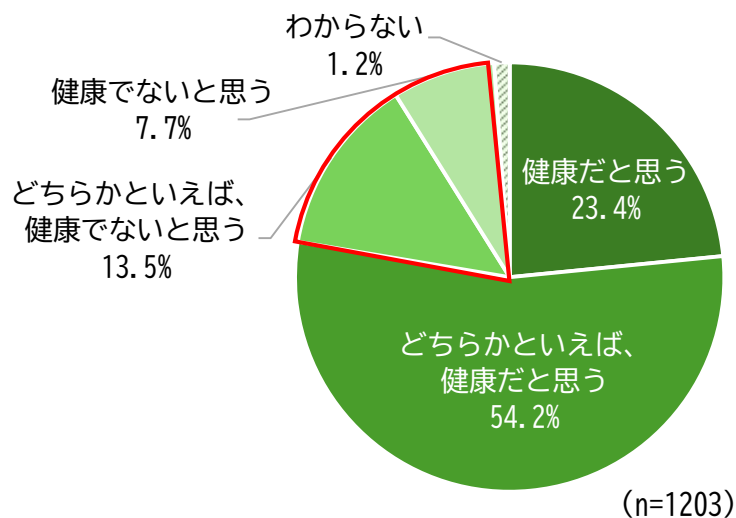
	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	5時間以上	平均
勤め人 (n=454)	4.0	11.0	48.5	26.7	7.7	2.2	91.0
会社役員・団体職員 (n=65)	6.2	6.2	49.2	21.5	15.4	1.5	94.8
パート・アルバイト (n=207)	3.4	7.2	38.2	29.5	16.9	4.8	112.5
自営業・農業（家族従業含む） (n=103)	3.9	10.7	35.9	28.2	11.7	9.7	129.1
専業主婦（夫） (n=127)	0.0	2.4	20.5	32.3	33.9	11.0	158.5
学生 (n=32)	3.1	0.0	40.6	25.0	18.8	12.5	140.3
無職 (n=172)	0.6	2.3	15.1	29.7	27.9	24.4	197.4
その他 (n=13)	7.7	7.7	38.5	30.8	15.4	0.0	95.4
合計	3.1	7.5	37.3	28.0	16.3	7.8	122.6

⑥ 主観的健康状態

- 健康状態の評価は、「健康だと思う／どちらかといえば、健康だと思う」が 77.6%となっていますが、健康でないと感じている人も2割を超えています。
- 年代別にみると、若いほど「健康だと思う」の割合が高くなっています。

図表 7 健康状態の評価（単一回答）

問7 あなたは、自分を健康だと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）



【年代別】

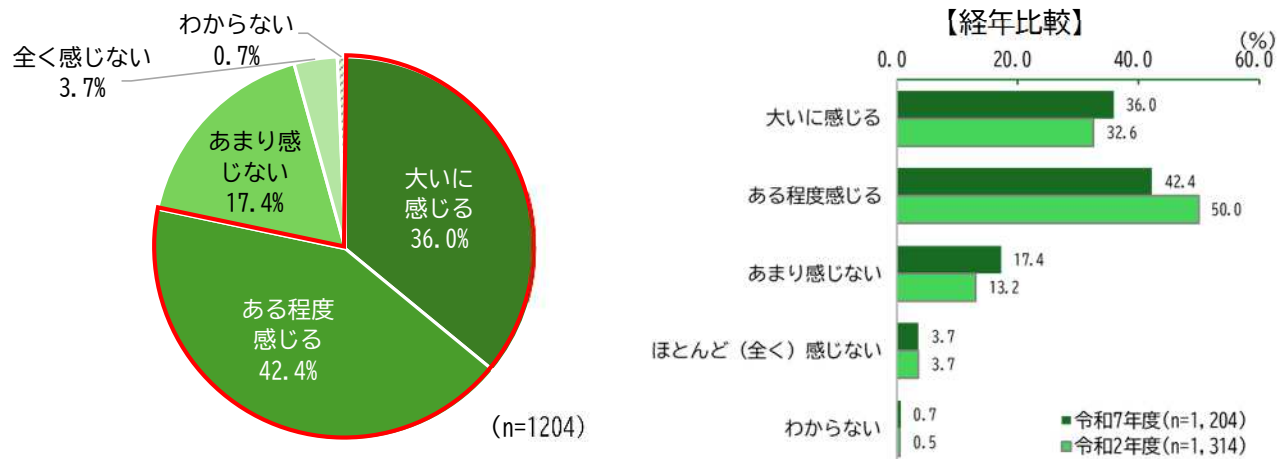
	健康だと思う	どちらかとい えば、健康だ と思う	どちらかとい えば、健康で ないと思う	健康でないと 思う	わからない
10歳代 (n=26)	50.0	38.5	7.7	3.8	0.0
20歳代 (n=91)	30.8	53.8	9.9	4.4	1.1
30歳代 (n=127)	18.9	53.5	18.9	8.7	0.0
40歳代 (n=198)	25.3	51.5	13.6	9.1	0.5
50歳代 (n=237)	24.9	51.9	14.3	8.0	0.8
60歳代 (n=254)	21.7	59.8	10.2	5.9	2.4
70歳代以上 (n=268)	19.8	54.9	14.6	9.3	1.5
合計	23.5	54.2	13.4	7.7	1.2

⑦ 主観的運動不足感

- 運動不足の評価は、「大いに感じる／ある程度感じる」が 78.4%で8割近くとなっています。「大いに感じる」の割合は前回調査よりやや増加しています。
- 女性の方が男性より「大いに感じる」の割合が高く、30～40 歳代の働き盛りの年代、勤め人でも特に「大いに感じる」の割合が高くなっています。

図表 8 運動不足の評価（単一回答）

問8 あなたは、日頃運動不足を感じていますか。（あてはまる番号ひとつに○）



【性別別】

	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない
男性 (n=562)	31.7	42.7	19.8	5.0	0.9
女性 (n=628)	39.8	41.9	15.3	2.5	0.5
回答しない (n=6)	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
合計	35.8	42.5	17.4	3.7	0.7

【年代別】

	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない
10歳代 (n=26)	34.6	42.3	11.5	7.7	3.8
20歳代 (n=91)	31.9	40.7	19.8	7.7	0.0
30歳代 (n=127)	54.3	33.9	7.9	3.9	0.0
40歳代 (n=198)	51.5	33.3	12.6	2.5	0.0
50歳代 (n=237)	35.0	44.7	15.6	3.4	1.3
60歳代 (n=255)	27.1	48.6	20.4	2.7	1.2
70歳代以上 (n=268)	26.9	45.1	23.9	3.7	0.4
合計	36.0	42.3	17.4	3.7	0.7

【職業別】

	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない
勤め人 (n=458)	42.6	39.1	14.2	4.1	0.0
会社役員・団体職員 (n=65)	30.8	40.0	20.0	7.7	1.5
パート・アルバイト (n=209)	35.4	44.0	18.2	2.4	0.0
自営業・農業（家族従業員含む） (n=104)	28.8	42.3	26.9	1.0	1.0
専業主婦（夫） (n=132)	39.4	40.2	17.4	2.3	0.8
学生 (n=35)	28.6	45.7	14.3	8.6	2.9
無職 (n=182)	24.7	51.6	18.1	3.8	1.6
その他 (n=13)	38.5	30.8	23.1	0.0	7.7
合計	36.0	42.4	17.4	3.6	0.7

2. 「する」スポーツの実施状況等

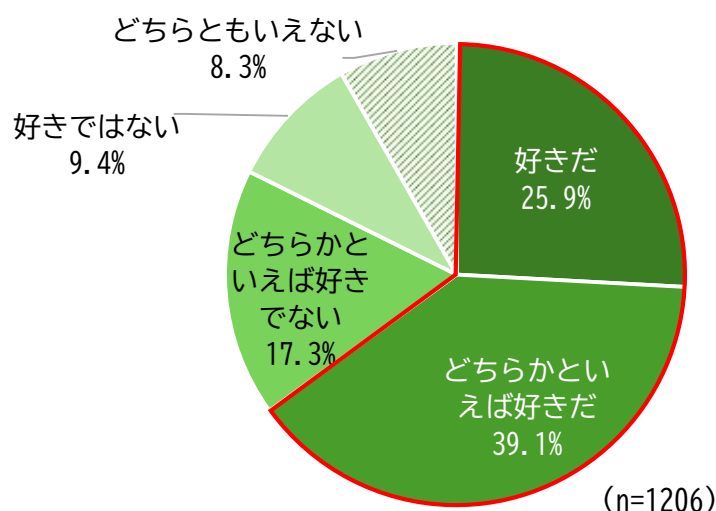
(1) スポーツの実施状況

① 運動・スポーツへの関心度や習慣

- 運動・スポーツへの興味は、「好きだ／どちらかといえば好きだ」が 65.0%となっています。「どちらともいえない」という態度保留層は 8.3%です。
- 運動・スポーツへの興味は、「日頃、運動・スポーツをする習慣がある」「月に何回か運動・スポーツをする習慣がある」がそれぞれ約2割となっています。一方、回答者の約3割が「全く運動・スポーツをしない」と回答し、「習慣はない」も合わせると過半数がスポーツ習慣のない層といえます。

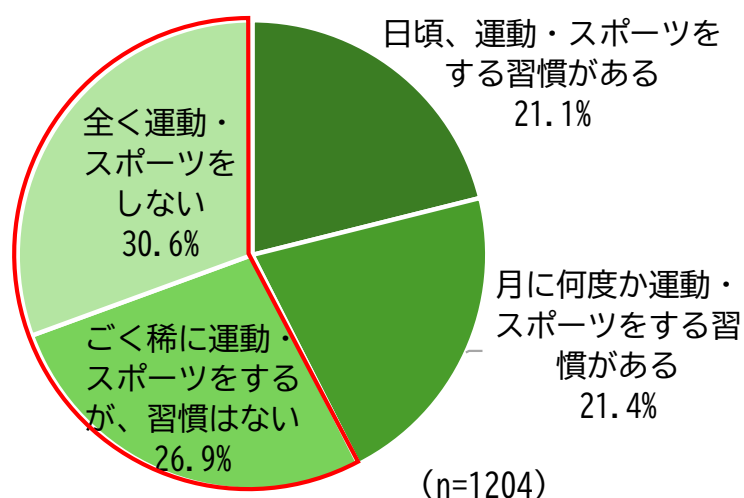
図表 9 運動・スポーツへの関心度（単一回答）

問9 あなたは、運動やスポーツをするのが好きですか。（あてはまる番号ひとつに○）



図表 10 運動・スポーツをする習慣があるか（単一回答）

問11 あなたは、日頃運動・スポーツをする習慣がありますか。（あてはまる番号ひとつに○）



- 層別にみると、女性、30～50 歳代、勤め人、パート・アルバイトなどでスポーツ習慣率が低めとなっている。

【性別別】

	日頃、運動・スポーツをする習慣がある	月に何度が運動・スポーツをする習慣がある	ごく稀に運動・スポーツをするが、習慣はない	全く運動・スポーツをしない
男性 (n=560)	 23.4	 24.8	 27.5	 24.3
女性 (n=626)	 19.0	 18.8	 26.7	 35.5

【年代別】

	日頃、運動・スポーツをする習慣がある	月に何度が運動・スポーツをする習慣がある	ごく稀に運動・スポーツをするが、習慣はない	全く運動・スポーツをしない
10歳代 (n=26)	 23.1	 15.4	 30.8	 30.8
20歳代 (n=91)	 20.9	 20.9	 34.1	 24.2
30歳代 (n=127)	 14.2	 18.9	 26.8	 40.2
40歳代 (n=197)	 15.7	 18.8	 31.5	 34.0
50歳代 (n=236)	 16.9	 22.0	 28.8	 32.2
60歳代 (n=255)	 29.0	 25.5	 21.2	 24.3
70歳代以上 (n=266)	 24.4	 21.1	 25.2	 29.3

【職業別】

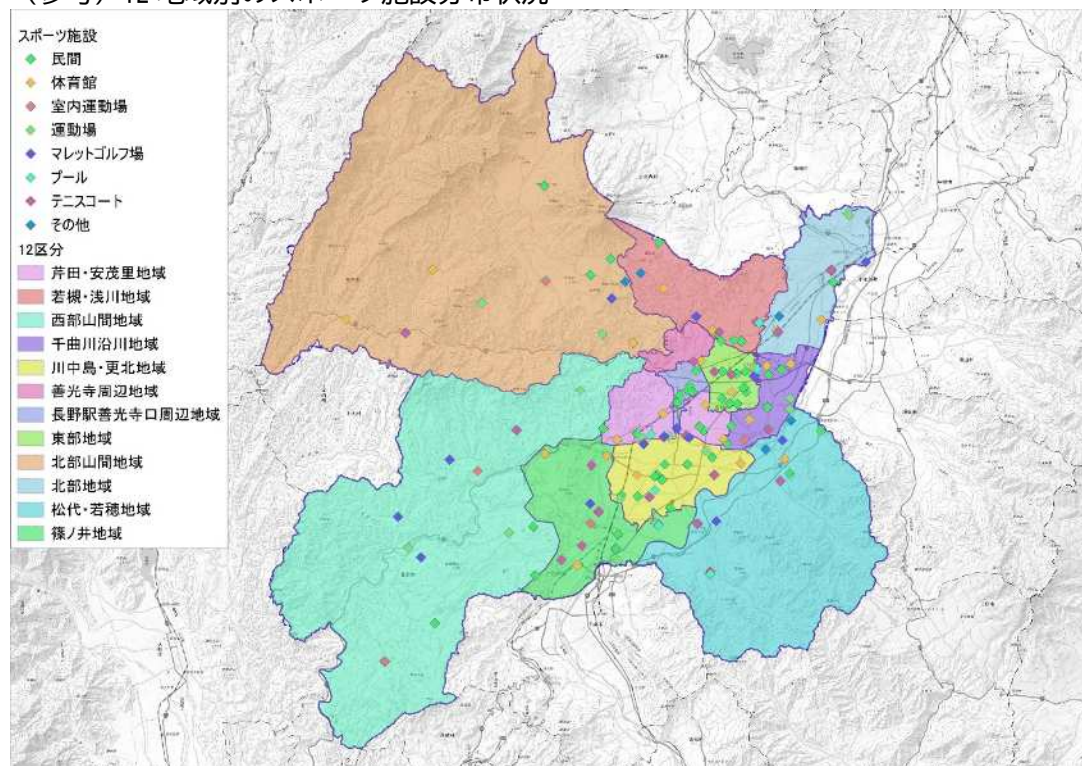
	日頃、運動・スポーツをする習慣がある	月に何度が運動・スポーツをする習慣がある	ごく稀に運動・スポーツをするが、習慣はない	全く運動・スポーツをしない
勤め人 (n=455)	 17.8	 22.4	 30.8	 29.0
会社役員・団体職員 (n=65)	 36.9	 24.6	 20.0	 18.5
パート・アルバイト (n=210)	 11.9	 18.6	 29.0	 40.5
自営業・農業（家族従業員含む） (n=103)	 21.4	 24.3	 27.2	 27.2
専業主婦（夫） (n=132)	 27.3	 21.2	 19.7	 31.8
学生 (n=35)	 20.0	 22.9	 37.1	 20.0
無職 (n=181)	 28.2	 20.4	 22.1	 29.3
その他 (n=13)	 30.8	 15.4	 7.7	 46.2

- 12 地域別にスポーツ習慣率をみると、川中島・更北地域が 52.2%で最も高いのに対し、北部地域や北部山間地域は約3割と低く、大きな開きがみられます。
- 参考までに 12 地域のスポーツ施設数をみると、スポーツ習慣率が最も高い川中島・更北地域で最も施設数も多く、スポーツする環境に恵まれた地域といえます。
- 北部地域や北部山間地域はスポーツ習慣率がきわめて低いですが、施設が特に少ないわけではありません。また、篠ノ井地域は施設数が多いですが、スポーツ習慣率は低い水準です。こうしたことから、地域によっては、地域内に施設があってもスポーツ習慣に結びつきにくい、または十分に施設が活用されていない可能性があります。

図表 11 【居住地域（12 地域）別】スポーツ習慣率とスポーツ施設数（スポーツ習慣率の降順）

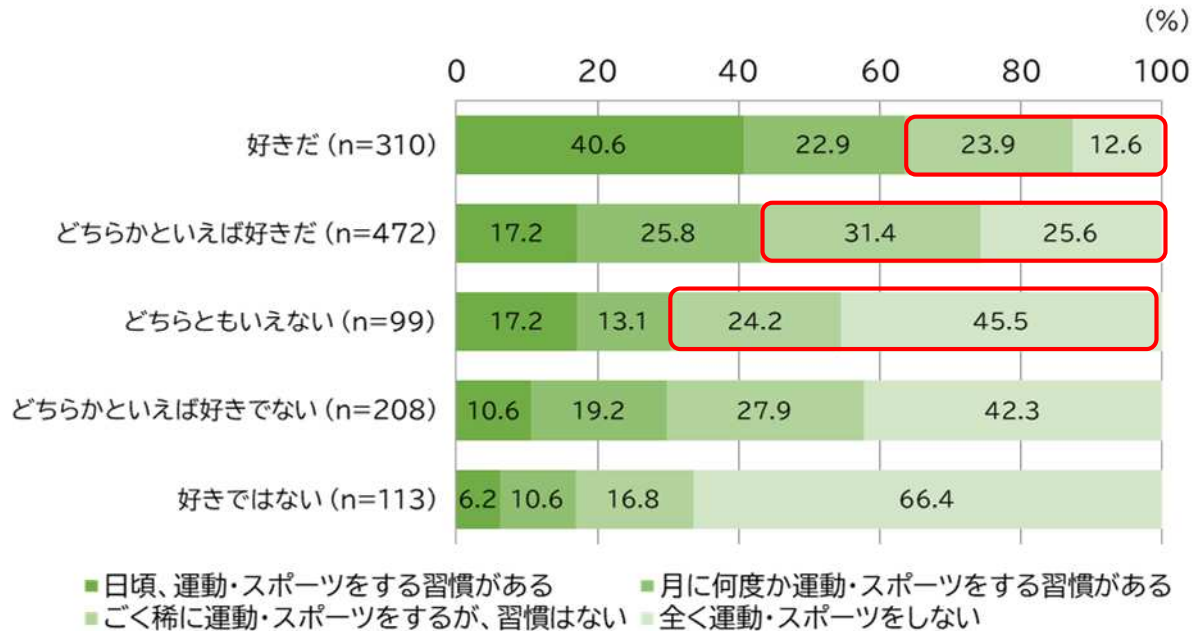
	スポーツ習慣 がある・計		日頃、運動・ スポーツをする 習慣がある		月に何度か運動・スポーツ をする習慣が ある		ごく稀に運動・スポーツ をするが、習慣 はない		全く運動・ス ポーツをしない	スポーツ 施設数		
川中島・更北地域 (n=157)		52.2		25.5		26.8		20.4		27.4		24
芹田・安茂里地域 (n=154)		48.7		27.9		20.8		22.1		29.2		14
松代・若穂地域 (n=148)		45.3		20.3		25.0		28.4		26.4		16
若槻・浅川地域 (n=69)		44.9		18.8		26.1		29.0		26.1		13
千曲川沿川地域 (n=104)		42.3		22.1		20.2		26.9		30.8		12
善光寺周辺地域 (n=57)		40.4		17.5		22.8		31.6		28.1		1
東部地域 (n=172)		39.0		20.9		18.0		29.1		32.0		20
西部山間地域 (n=44)		38.6		15.9		22.7		31.8		29.5		19
長野駅善光寺口周辺地域 (n=55)		38.2		18.2		20.0		29.1		32.7		7
篠ノ井地域 (n=137)		37.2		16.1		21.2		29.2		33.6		22
北部山間地域 (n=16)		31.3		25.0		6.3		31.3		37.5		15
北部地域 (n=80)		30.0		16.3		13.8		28.8		41.3		12
合計		42.5		21.1		21.4		26.9		30.6		175

(参考) 12 地域別のスポーツ施設分布状況



- 関心度別にスポーツ習慣をみると、当然ながら関心度が低いほど「習慣がある」の割合は低下します。
- スポーツは「好きだ」が「スポーツ習慣のない層」が4割近く存在します。「どちらかといえば好き」「どちらともいえない」ではさらにその割合が高まるため、こうした層にスポーツ習慣を根付かせることで、スポーツ実施率を高められる可能性があります。

【運動・スポーツ関心度×運動・スポーツ習慣のクロス】

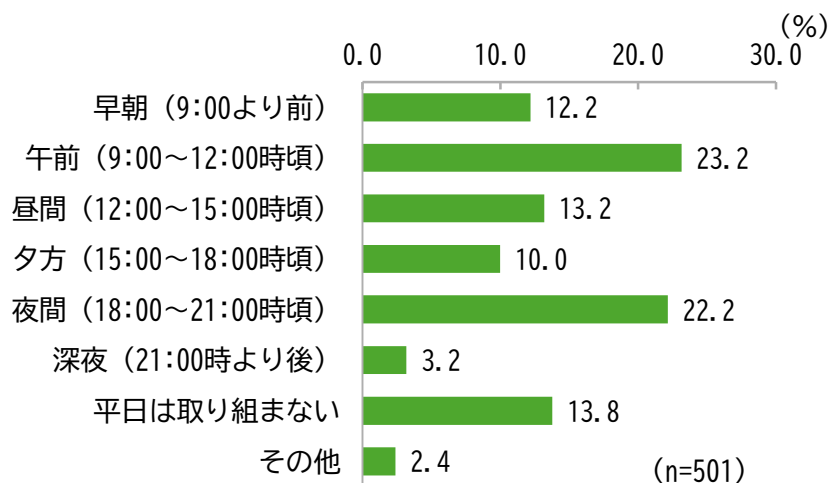


② 運動・スポーツを主に実施する時間帯

- 運動・スポーツを主に実施する時間帯は、平日では「午前」と「夜間」がそれぞれ約2割超となっています。職業別にみると、勤め人や会社役員は夜間の割合が高く、また、これらの層は平日は取り組まない割合が他の層より高くなっています。
- 休日では、「午前」が26.7%と最も高く、次いで「昼間」が15.9%となっています。「取り組まない」の割合は平日より休日の方が高く、約2割となっています。

図表 12 平日に運動・スポーツをする時間帯（単一回答）

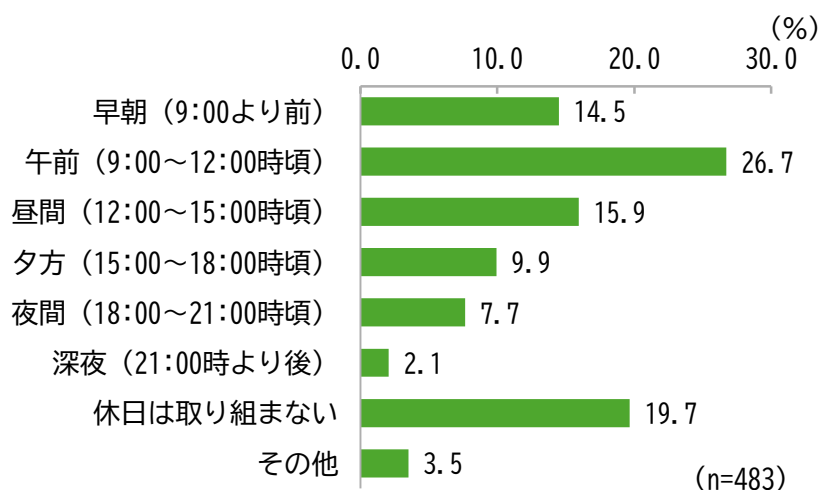
問 12 主にいつ頃、あなたはその運動・スポーツをしますか。(①平日、②休日 それぞれあてはまる番号ひとつに○)



【職業別】

	早朝 (9:00より前)	午前 (9:00～12:00時頃)	昼間 (12:00～15:00時頃)	夕方 (15:00～18:00時頃)	夜間 (18:00～21:00時頃)	深夜 (21:00時より後)	平日は取り組まない	その他
勤め人 (n=180)	12.2	6.7	5.0	3.9	36.7	5.6	28.9	1.1
会社役員・団体職員 (n=40)	5.0	15.0	5.0	7.5	42.5	0.0	22.5	2.5
パート・アルバイト (n=62)	11.3	24.2	19.4	19.4	14.5	3.2	4.8	3.2
自営業・農業 (家族従業含む) (n=46)	19.6	23.9	6.5	15.2	23.9	2.2	4.3	4.3
専業主婦 (夫) (n=63)	6.3	49.2	25.4	7.9	3.2	1.6	1.6	4.8
学生 (n=15)	20.0	6.7	13.3	33.3	20.0	6.7	0.0	0.0
無職 (n=87)	14.9	46.0	23.0	12.6	1.1	1.1	0.0	1.1
その他 (n=6)	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7
合計	12.2	23.2	13.0	10.0	22.2	3.2	13.6	2.4

図表 13 休日に運動・スポーツをする時間帯（単一回答）



【職業別】

	早朝（9:00より前）	午前（9:00～12:00時頃）	昼間（12:00～15:00時頃）	夕方（15:00～18:00時頃）	夜間（18:00～21:00時頃）	深夜（21:00時より後）	休日は取り組まない	その他
勤め人（n=177）	16.4	28.8	18.6	8.5	10.7	2.8	10.7	3.4
会社役員・団体職員（n=39）	17.9	28.2	7.7	10.3	5.1	0.0	25.6	5.1
パート・アルバイト（n=60）	10.0	28.3	13.3	8.3	3.3	0.0	33.3	3.3
自営業・農業（家族従業含む）（n=45）	17.8	6.7	8.9	15.6	17.8	2.2	26.7	4.4
専業主婦（夫）（n=55）	7.3	23.6	16.4	7.3	5.5	3.6	30.9	5.5
学生（n=15）	13.3	33.3	6.7	13.3	6.7	6.7	20.0	0.0
無職（n=82）	15.9	31.7	22.0	13.4	2.4	1.2	12.2	1.2
その他（n=6）	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
合計	14.6	26.5	16.1	10.0	7.7	2.1	19.4	3.5

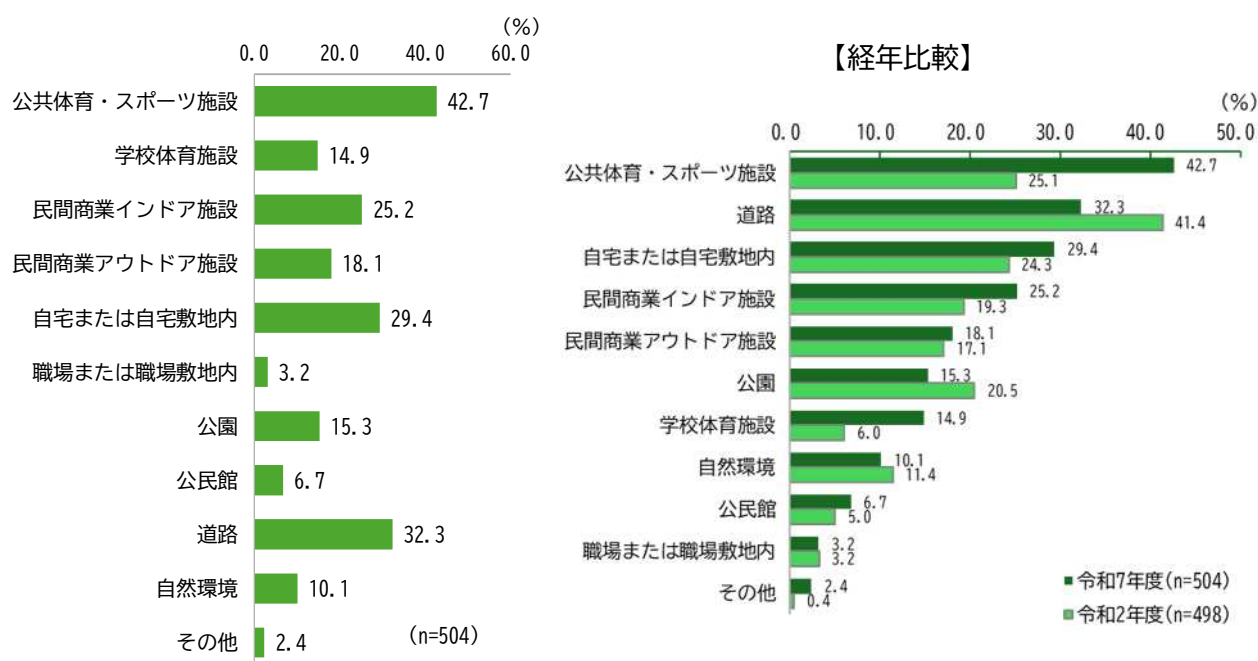
③ 運動・スポーツを実施する場所

- 運動・スポーツを実施する場所（複数回答）は、「公共体育・スポーツ施設」が42.7%と最も高く、次いで「道路」が32.3%、「自宅または自宅敷地内」が29.4%となっています。前回調査よりも「公共体育・スポーツ施設」が大きく増加しました。
- 性別別にみると、女性で「自宅または自宅敷地内」と「民間インドア施設」、男性で「道路」と「民間アウトドア施設」の割合が高くなっています。
- 年代別にみると、「学校体育施設」、「公共体育・スポーツ施設」の利用が10歳代で高いのに対し、50～60歳代は低めとなっています。20～30歳代と60歳代は「民間インドア施設」の利用が高くなっています。また、30歳代は「自宅」での実施割合が45.2%と特に高い傾向がみられます。

図表 14 運動・スポーツを主に実施する場所（複数回答）

問 16 あなたが①運動・スポーツをする場所、②最も多く運動・スポーツをする場所をお答えください。

（①はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○）



【性別別】

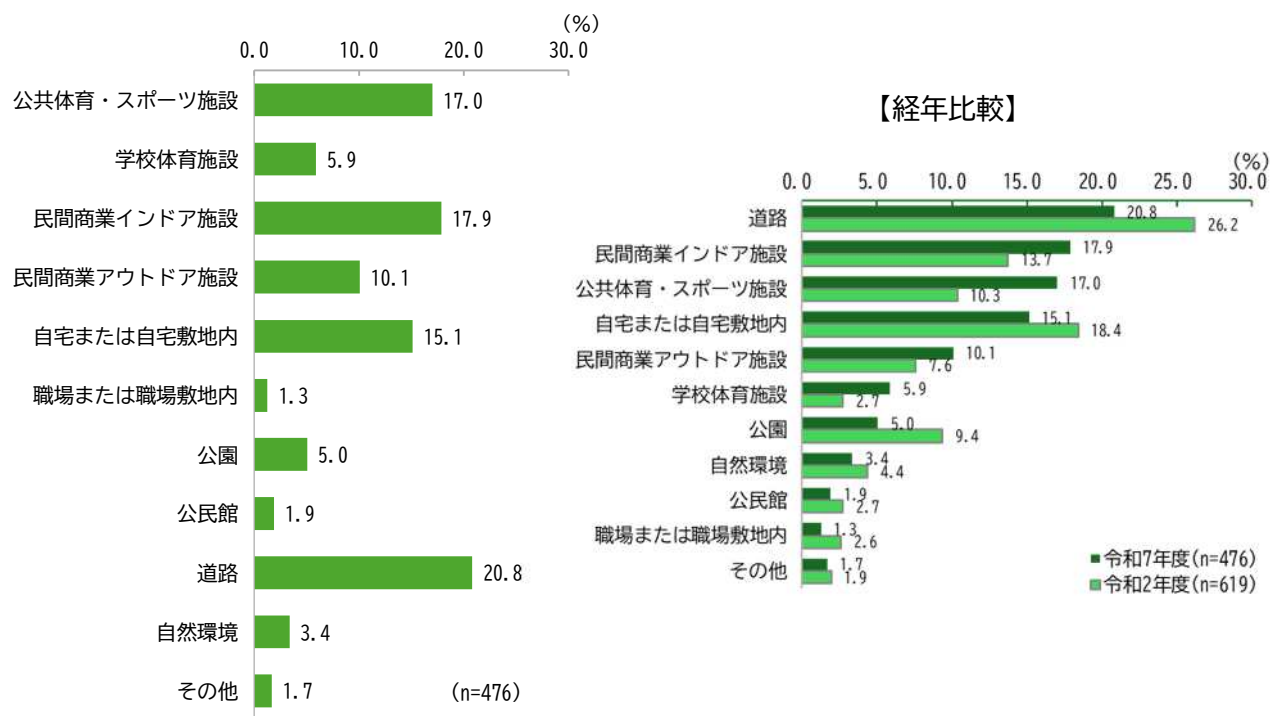
	公共体育・スポーツ施設	学校体育施設	民間商業インドア施設 (フィットネス、ジム等)	民間商業アウトドア施設 (レジャー、プール、スキー場、ゴルフ場等)	自宅または自宅敷地内	職場または職場敷地内	公園	公民館	道路	山岳・森林・海・湖・川等の自然環境	その他
男性 (n=266)	43.6	17.3	21.4	25.6	25.2	3.8	18.0	3.4	35.3	11.7	1.5
女性 (n=233)	41.2	12.4	30.0	9.0	34.3	2.1	12.4	10.3	28.8	7.7	3.4
回答しない (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0

【年代別】

	公共体育・スポーツ施設	学校体育施設	民間商業インドア施設 (フィットネス、ジム等)	民間商業アウトドア施設 (レジャー、プール、スキー場、ゴルフ場等)	自宅または自宅敷地内	職場または職場敷地内	公園	公民館	道路	山岳・森林・海・湖・川等の自然環境	その他
10歳代 (n=10)	70.0	80.0	0.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=38)	47.4	28.9	34.2	13.2	21.1	2.6	10.5	0.0	23.7	7.9	0.0
30歳代 (n=42)	50.0	16.7	31.0	11.9	45.2	2.4	11.9	2.4	19.0	7.1	4.8
40歳代 (n=66)	51.5	28.8	19.7	21.2	22.7	3.0	16.7	1.5	37.9	7.6	6.1
50歳代 (n=90)	37.8	15.6	24.4	17.8	30.0	2.2	18.9	4.4	35.6	22.2	1.1
60歳代 (n=136)	30.9	4.4	30.9	22.1	27.9	2.2	12.5	5.1	40.4	8.1	1.5
70歳代以上 (n=120)	47.5	8.3	20.0	15.0	31.7	5.0	18.3	17.5	28.3	6.7	2.5

- 最も多く運動・スポーツを実施する場所は「道路」が 20.8%と最も高く、次いで「民間商業インドア施設」が 17.9%、「公共体育・スポーツ施設」が 17.0%となっています。前回調査と比較すると、「公共体育・スポーツ施設」と「民間商業インドア施設」が増加しています。
- 性別別でみると、「民間インドア施設」「公共体育・スポーツ施設」の利用率は男性より女性の方が高く、「民間アウトドア施設」の利用率は女性より男性の方が高くなっています。また、女性は「民間インドア施設」、男性は「道路」を最も利用するという人の割合がそれぞれ高くなっています。
- 年代別には、10 歳代は「学校体育施設」、20 歳代と 60 歳代は「民間インドア施設」、30 歳代は「自宅」が他の世代よりも高い傾向がみられます。

図表 15 最も多く運動・スポーツを実施する場所（単一回答）



【性別別】

	公共体育・スポーツ施設	学校体育施設	民間商業インドア施設	民間商業アウトドア施設	自宅または自宅敷地内	職場または職場敷地内	公園	公民館	道路	自然環境	その他
男性 (n=257)	14.0	7.0	14.0	14.8	12.8	1.6	5.1	0.4	24.5	4.7	1.2
女性 (n=215)	20.9	4.7	22.8	4.2	17.7	0.9	5.1	3.3	16.7	1.4	2.3
回答しない (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

【年代別】

	公共体育・スポーツ施設	学校体育施設	民間商業インドア施設	民間商業アウトドア施設	自宅または自宅敷地内	職場または職場敷地内	公園	公民館	道路	自然環境	その他
10歳代 (n=10)	20.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=38)	26.3	15.8	23.7	5.3	10.5	2.6	2.6	0.0	10.5	0.0	2.6
30歳代 (n=39)	15.4	7.7	17.9	2.6	30.8	2.6	0.0	0.0	17.9	2.6	2.6
40歳代 (n=66)	16.7	12.1	12.1	9.1	10.6	0.0	7.6	0.0	24.2	3.0	4.5
50歳代 (n=87)	14.9	3.4	14.9	11.5	13.8	2.3	5.7	1.1	24.1	8.0	0.0
60歳代 (n=134)	13.4	0.0	24.6	13.4	12.7	1.5	4.5	1.5	24.6	3.0	0.7
70歳代以上 (n=101)	20.8	3.0	14.9	9.9	17.8	0.0	5.9	5.9	17.8	2.0	2.0

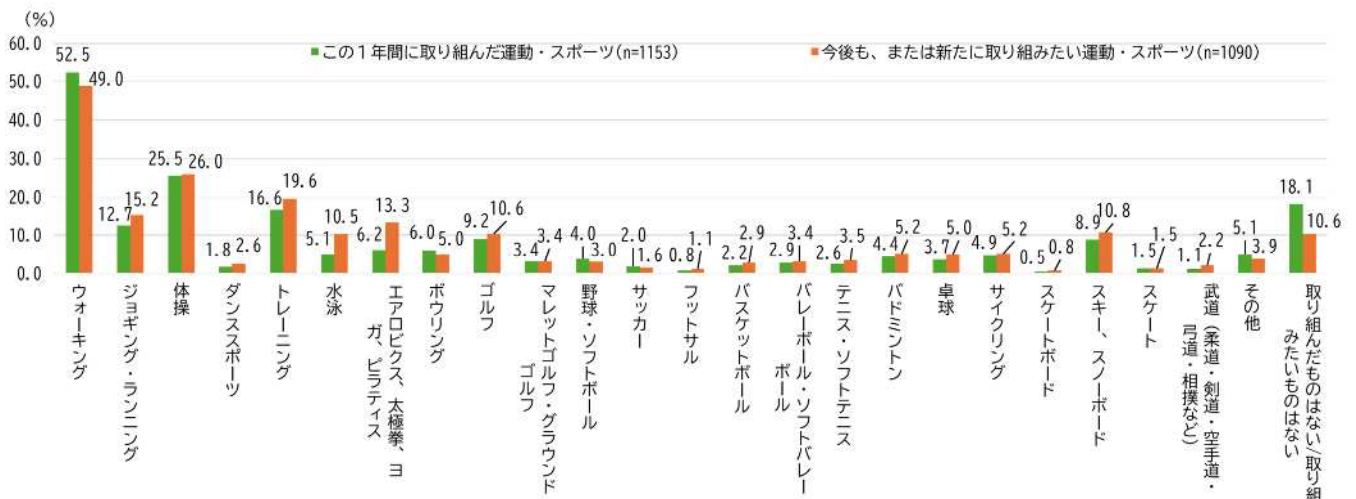
④ この1年間に取り組んだ運動・スポーツ

<取り組んだ／今後も、または新たに組みみたい／最も熱心に取り組んだ運動・スポーツ>

- この1年間に取り組んだ運動・スポーツは、「ウォーキング」が約5割と最も高く、次いで「体操」が25.5%となっています。一方「取り組んだものはない」が18.3%となっています。
- この1年間に取り組んだ運動・スポーツと、今後も、または新たに組みみたい運動・スポーツに大きな差はみられないものの、「エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス」においては、今後も、または新たに組みみたいとする回答割合が約7ポイント高くなっています。
- 年代別にみると、「ウォーキング」や「体操」に取り組んだ人の割合は年代が上がるほど高くなっています。逆に「ジョギング・ランニング」「トレーニング」「ボウリング」は年代が若いほど実施率が高くなっています。「バドミントン」「バスケットボール」「バレーボール・ソフトバレーボール」等の球技は10歳代で主に実施されています。「スキー・スノーボード」は20～40歳代で実施率が高くなっています。

図表 16 運動・スポーツの実施状況_この1年間に「取り組んだ」「今後も、または新たに組みみたい」運動・スポーツ（複数回答）

問 15 この1年間に①取り組んだ、②最も熱心に取り組んだ、また、③今後も、または新たに組みみたい、運動・スポーツをお答えください。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったもの、運動目的ではないもの（徒歩や自転車での通勤や買い物など）は除きます。



【年代別】取り組んだもの

	ウォーキング	ジョギング・ランニング	体操	ダンススポーツ	トレーニング	水泳	エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	ボウリング	ゴルフ	マレットゴルフ・グラウンドゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー	フットサル
10歳代 (n=26)	34.6	38.5	11.5	3.8	23.1	15.4	0.0	15.4	3.8	0.0	19.2	15.4	15.4
20歳代 (n=91)	46.2	30.8	12.1	2.2	24.2	3.3	5.5	11.0	5.5	1.1	8.8	4.4	2.2
30歳代 (n=122)	41.8	20.5	17.2	0.8	27.0	4.1	4.9	8.2	9.0	0.8	4.9	3.3	1.6
40歳代 (n=195)	44.6	13.8	23.6	1.0	15.9	9.2	7.7	5.1	6.7	1.0	7.2	3.6	0.0
50歳代 (n=230)	54.8	15.7	25.7	0.9	13.0	3.0	4.8	3.9	7.4	1.3	3.0	1.3	0.4
60歳代 (n=237)	58.6	6.3	26.2	1.7	18.6	4.6	6.8	5.9	14.3	2.1	1.7	0.4	0.0
70歳代以上 (n=247)	59.5	1.6	36.4	3.6	9.7	4.5	7.7	4.9	9.3	10.9	0.8	0.0	0.0

	バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	サイクリング	スケートボード	スキー、スノーボード	スケート	武道（柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など）	その他	取り組んだものはない
10歳代 (n=26)	26.9	23.1	15.4	30.8	19.2	7.7	0.0	3.8	0.0	7.7	11.5	19.2
20歳代 (n=91)	11.0	4.4	5.5	9.9	7.7	5.5	0.0	16.4	1.1	0.0	3.3	13.2
30歳代 (n=122)	3.3	4.1	1.6	3.3	3.3	4.9	0.8	13.1	1.6	1.6	4.9	19.7
40歳代 (n=195)	1.5	3.1	2.6	5.6	4.1	4.6	1.5	12.3	5.1	2.1	4.6	21.5
50歳代 (n=230)	0.0	1.7	2.2	4.8	3.0	3.0	0.4	9.1	1.3	0.9	7.0	20.9
60歳代 (n=237)	0.4	1.3	1.7	1.7	1.3	5.9	0.0	8.9	0.4	0.4	3.4	16.5
70歳代以上 (n=247)	0.0	2.4	2.0	1.6	3.6	5.7	0.4	1.6	0.0	0.8	5.7	15.8

- 年代別に今後取り組みたいものをみると、実施率と同様、「ウォーキング」や「体操」は年代が上がるほど高くなっています。また、「ジョギング・ランニング」「バドミントン」などは年代が若いほど実施意向率が高くなっています。

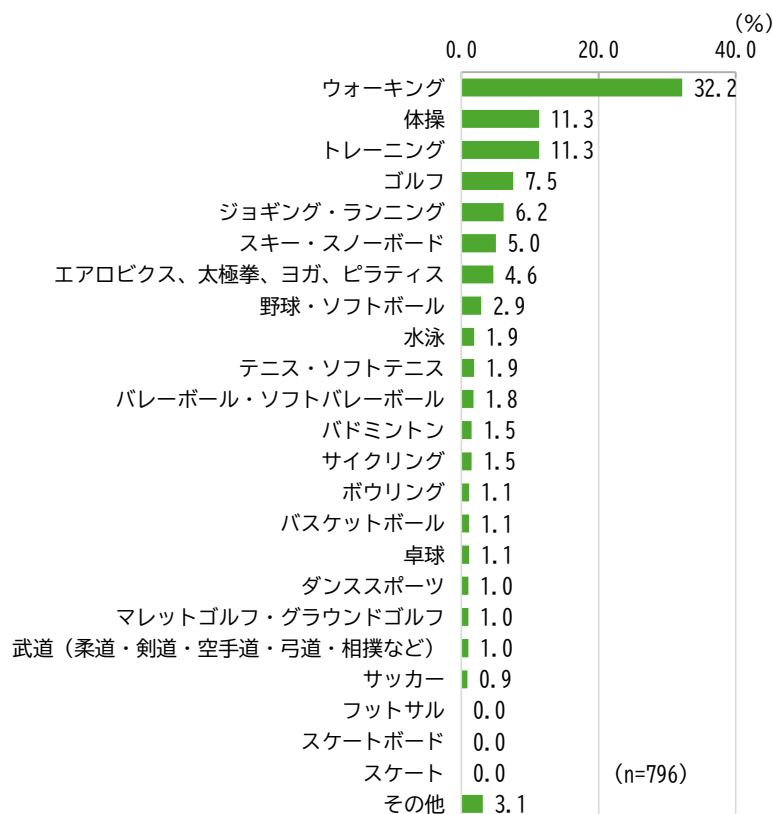
【年代別】今後も、または新たに取り組みたいもの

	ウォーキング	ジョギング・ランニング	体操	ダンススポーツ	トレーニング	水泳	エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	ボウリング	ゴルフ	マレットゴルフ・グラウンドゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー	フットサル
10歳代 (n=24)	16.7	20.8	16.7	4.2	20.8	8.3	4.2	8.3	4.2	4.2	20.8	12.5	8.3
20歳代 (n=86)	36.0	22.1	2.3	2.3	20.9	17.4	16.3	3.5	7.0	2.3	4.7	3.5	2.3
30歳代 (n=122)	29.5	23.8	13.9	3.3	33.6	5.7	13.1	4.9	9.0	1.6	4.1	2.5	1.6
40歳代 (n=185)	45.9	17.8	22.2	2.2	21.6	13.0	18.4	4.9	6.5	0.5	3.2	1.6	1.1
50歳代 (n=217)	51.2	18.4	24.0	2.3	19.4	11.1	12.0	3.7	13.8	0.9	2.3	1.4	0.9
60歳代 (n=239)	59.4	12.1	31.8	2.5	21.3	10.0	12.6	6.3	14.2	2.5	1.7	0.4	0.4
70歳代以上 (n=212)	58.5	5.2	41.5	2.8	8.0	8.5	11.3	5.2	9.0	10.8	1.9	0.5	0.5

	バスケットボール	バレーボール・ソフトバレーボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	サイクリング	スケートボード	スキー・スノーボード	スケート	武道（柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など）	その他	取り組みたいものはない
10歳代 (n=24)	12.5	8.3	8.3	25.0	4.2	4.2	4.2	16.7	4.2	4.2	12.5	20.8
20歳代 (n=86)	8.1	4.7	8.1	14.0	9.3	5.8	1.2	24.4	2.3	0.0	0.0	15.1
30歳代 (n=122)	6.6	4.9	3.3	8.2	4.9	4.9	1.6	11.5	1.6	2.5	2.5	8.2
40歳代 (n=185)	3.2	5.4	4.3	5.4	4.9	5.9	1.1	14.1	2.2	4.9	5.4	10.3
50歳代 (n=217)	1.8	2.8	4.6	5.1	3.7	6.0	0.9	12.0	2.3	3.2	6.0	12.0
60歳代 (n=239)	0.8	1.3	1.7	2.1	3.8	5.4	0.0	9.6	0.4	1.3	1.3	7.9
70歳代以上 (n=212)	0.9	2.8	1.4	1.4	6.6	3.8	0.5	1.9	0.5	0.5	5.2	10.8

- 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツは、「ウォーキング」が 32.2%であり、他の運動・スポーツと比べて突出しています。

図表 17 運動・スポーツの実施状況_この1年間に「最も熱心に取り組んだ」運動・スポーツ
(単一回答)

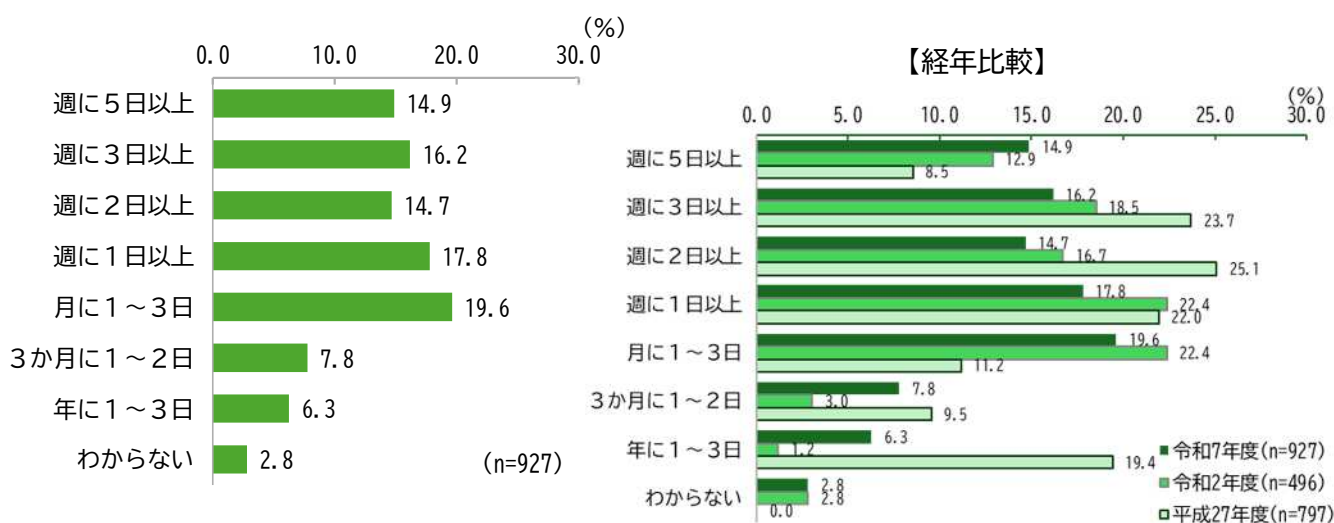


<運動・スポーツに取り組んだ日数>

- 運動・スポーツを実施した日数は、「月に1～3日以上」の割合が19.6%と最も高く、次いで「週に1日以上」が17.8%となっています。過去2回の調査と比べると、「週5日以上」の高頻度層が増加傾向にあります。
- 「週に5日以上」という高頻度層は10歳代に多くみられ、部活動と考えられます。また、20歳代以上の高頻度層は年代が上がるほど割合が高くなっています。
- 「年に1～3日」というほとんど実施しない層も10歳代で20%と高くなっており、10歳代の若者の二極化がみてとれます。

図表 18 運動・スポーツに取り組んだ日数（単一回答）

問 16 この1年間にあなたがその運動・スポーツに取り組んだ日数は、合計でおよそ何日になりますか。
(あてはまる番号ひとつに○)



【年代別】

	週に5日以上	週に3日以上	週に3日以上	週に1日以上	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	わからない
10歳代 (n=20)	25.0	15.0	15.0	0.0	15.0	5.0	20.0	5.0
20歳代 (n=79)	6.3	8.9	20.3	12.7	17.7	21.5	7.6	5.1
30歳代 (n=98)	6.1	11.2	7.1	26.5	22.4	15.3	7.1	4.1
40歳代 (n=151)	10.6	11.9	15.2	15.2	27.8	8.6	7.3	3.3
50歳代 (n=180)	12.8	16.1	12.2	19.4	18.9	8.3	10.6	1.7
60歳代 (n=197)	19.8	17.8	18.8	18.3	18.3	3.0	1.5	2.5
70歳代以上 (n=197)	22.3	23.4	13.2	17.3	15.2	2.5	4.1	2.0

(2) 運動・スポーツへの意識、きっかけ等

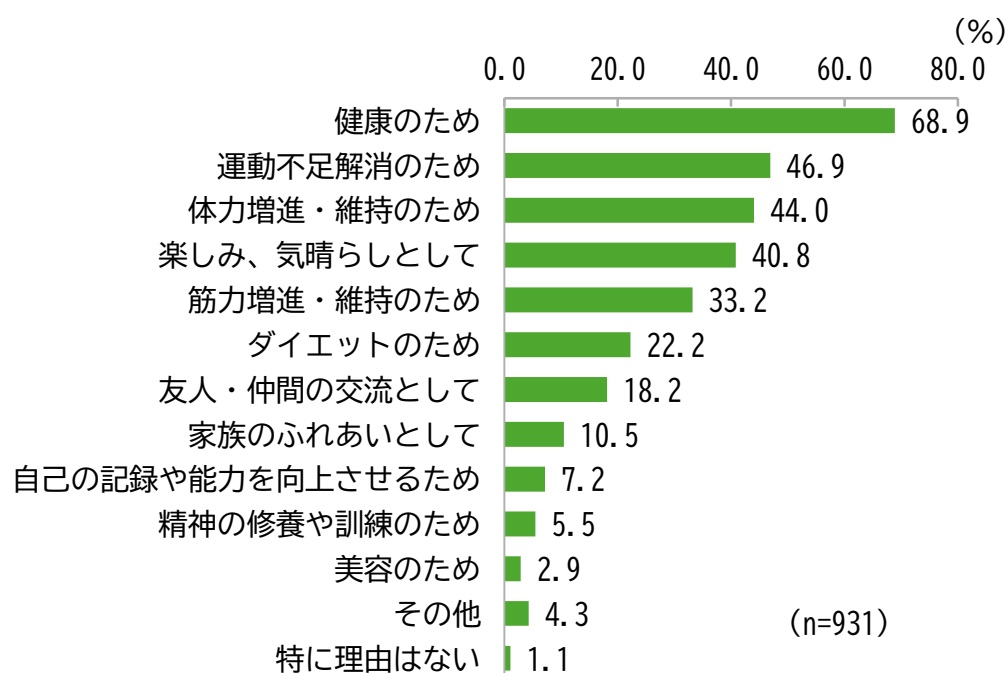
① 運動・スポーツに取り組んだ理由・きっかけ

<運動・スポーツに取り組んだ理由>

- 運動・スポーツを実施した理由は、「健康のため」が **68.9%**と突出して高く、次いで「運動不足解消のため」が 46.9%、「体力増進・維持のため」が 44.0%となっています。
- 性別別にみると「健康」「ダイエット」のためという理由は男性より女性で高くなっています。
- 多くの理由で年代が上がるほど高くなっていますが、「楽しみ・気晴らし」という理由は若い層ほど高い傾向がみられます。また、「集まる・つながるスポーツ」の価値といえる「友人・仲間の交流」については若い層と高齢層の両方で高く、中間の年代で低くなっています。

図表 19 運動・スポーツに取り組んだ理由（複数回答）

問 17 あなたがその運動・スポーツに取り組んだのは、どのような理由からですか。（あてはまる番号すべてに○）



【性別別】

	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ・気晴らしとして	運動不足解消のため	ダイエットのため	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間の交流として	美容のため	その他	特に理由はない
男性 (n=456)	65.8	45.2	30.9	39.5	45.4	19.7	5.3	10.1	9.9	20.0	1.1	4.2	1.1
女性 (n=463)	71.5	43.4	35.4	42.8	49.0	25.3	5.6	4.1	11.2	16.4	4.8	4.5	0.9
回答しない (n=5)	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

【年代別】

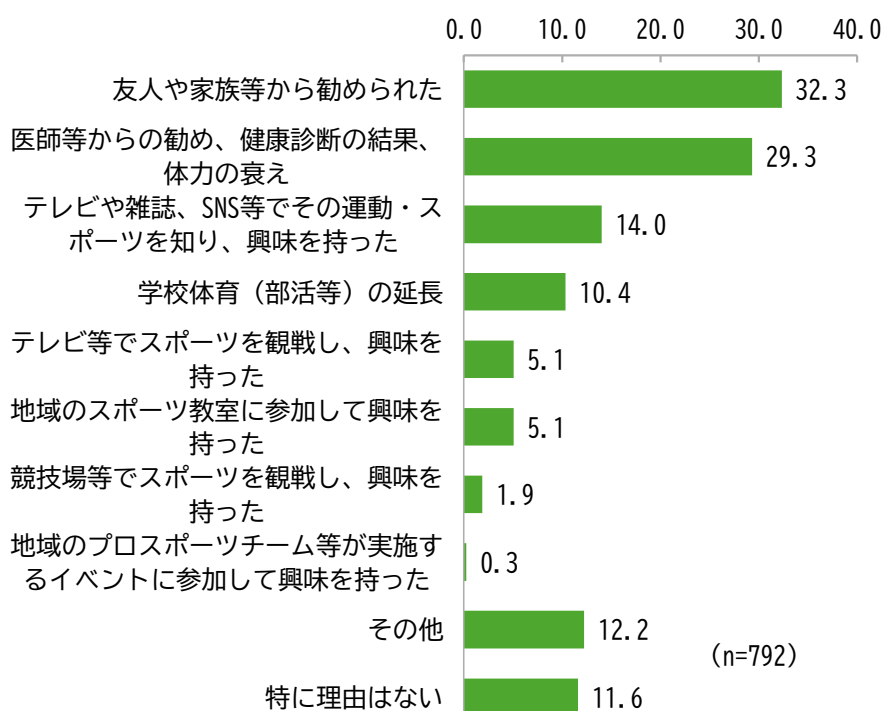
	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ・気晴らしとして	運動不足解消のため	ダイエットのため	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間の交流として	美容のため	その他	特に理由はない
10歳代 (n=20)	40.0	35.0	25.0	50.0	25.0	10.0	5.0	20.0	0.0	30.0	0.0	15.0	5.0
20歳代 (n=79)	40.5	21.5	19.0	49.4	29.1	26.6	3.8	8.9	12.7	26.6	2.5	3.8	3.8
30歳代 (n=98)	64.3	42.9	31.6	41.8	54.1	30.6	8.2	7.1	19.4	15.3	3.1	3.1	1.0
40歳代 (n=152)	59.9	38.8	29.6	40.8	42.8	27.6	5.9	9.2	24.3	13.2	3.3	10.5	0.7
50歳代 (n=180)	71.1	46.7	35.6	38.3	47.2	28.9	7.2	7.8	8.9	12.8	5.6	5.6	1.1
60歳代 (n=197)	78.7	49.7	36.0	40.1	48.7	20.3	4.6	7.6	5.1	17.8	3.0	1.0	0.5
70歳代以上 (n=200)	88.0	51.0	39.0	39.5	54.5	10.0	4.0	2.0	3.0	23.5	0.5	1.5	0.5

<最も熱心に取り組んだ運動・スポーツを始めたきっかけ>

- 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめたきっかけは、「友人や家族等から勧められた」が最も高く 32.3%、次いで「医師等からの勧め、健康診断の結果、体力の衰え」が 29.3%であり、他と比べて突出しています。
- 性別別にみると、「テレビや雑誌、SNS」の影響が男性より女性で大きくなっています。
- 年代別にみると、10 歳代の若い層で「学校体育の延長」が突出しているほか、「テレビ等で観戦」したことがきっかけでスポーツを始めた人が他の年代より高くなっており、「観るスポーツ」による「するスポーツ」への行動変容がみられる。また、「医師等からの勧め」は50～60歳代で高くなっている。

図表 20 スポーツを始めたきっかけ（複数回答）

問 19 その運動・スポーツを始めたきっかけは何ですか。（あてはまる番号すべてに○） (%)



【性別別】

	学校体育（部活等）の延長	友人や家族等から勧められた	医師等からの勧め、健康診断の結果、体力の衰え	テレビや雑誌、SNS等でその運動・スポーツを知り、興味を持った	競技場等でスポーツを観戦し、興味を持った	テレビ等でスポーツを観戦し、興味を持った	地域のスポーツ教室に参加して興味を持った	地域のプロスポーツチーム等が実施するイベントに参加して興味を持った	その他	特に理由はない
男性（n=402）	12.9	32.6	29.9	10.4	2.5	6.2	3.5	0.0	11.2	11.2
女性（n=379）	7.9	32.5	28.8	17.7	1.3	3.4	6.9	0.5	13.5	11.6
回答しない（n=5）	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0

【年代別】

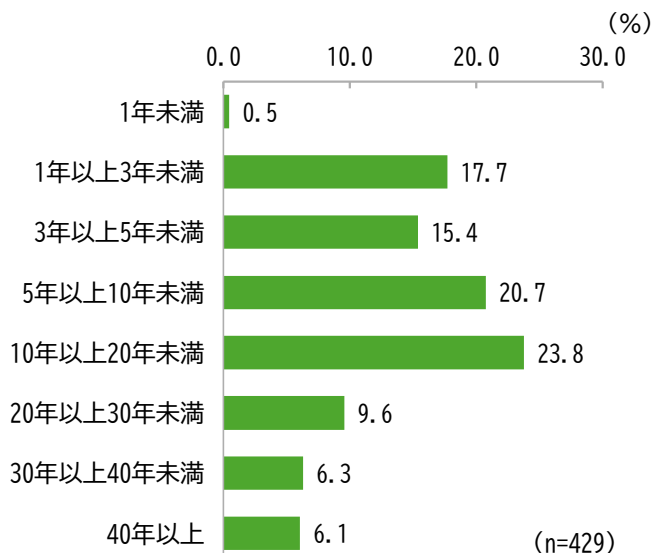
	学校体育（部活等）の延長	友人や家族等から勧められた	医師等からの勧め、健康診断の結果、体力の衰え	テレビや雑誌、SNS等でその運動・スポーツを知り、興味を持った	競技場等でスポーツを観戦し、興味を持った	テレビ等でスポーツを観戦し、興味を持った	地域のスポーツ教室に参加して興味を持った	地域のプロスポーツチーム等が実施するイベントに参加して興味を持った	その他	特に理由はない
10歳代（n=18）	44.4	22.2	5.6	16.7	0.0	16.7	5.6	0.0	0.0	16.7
20歳代（n=73）	24.7	35.6	8.2	13.7	1.4	1.4	2.7	0.0	9.6	15.1
30歳代（n=92）	18.5	38.0	19.6	12.0	4.3	5.4	0.0	1.1	9.8	13.0
40歳代（n=136）	6.6	29.4	26.5	11.0	1.5	2.9	2.9	0.0	17.6	13.2
50歳代（n=151）	7.9	25.8	38.4	19.2	1.3	6.0	4.6	0.0	11.9	11.3
60歳代（n=168）	4.2	36.9	39.3	13.1	1.8	3.6	3.0	0.6	10.1	9.5
70歳代以上（n=151）	7.3	31.8	31.1	13.9	2.0	7.3	13.9	0.0	13.9	9.9

<最も熱心に取り組んだ運動・スポーツの継続年数>

- 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツの継続年数は、「10 年以上 20 年未満」が最も高く 23.8%、次いで「5 年以上 10 年未満」が 20.7%となっています。ほとんどの人が熱心に取り組んだ運動・スポーツを 1 年以上続けています。

図表 21 スポーツの継続年数

問 18 その運動・スポーツに取り組んでいる継続年数をお答えください。(年数を回答)

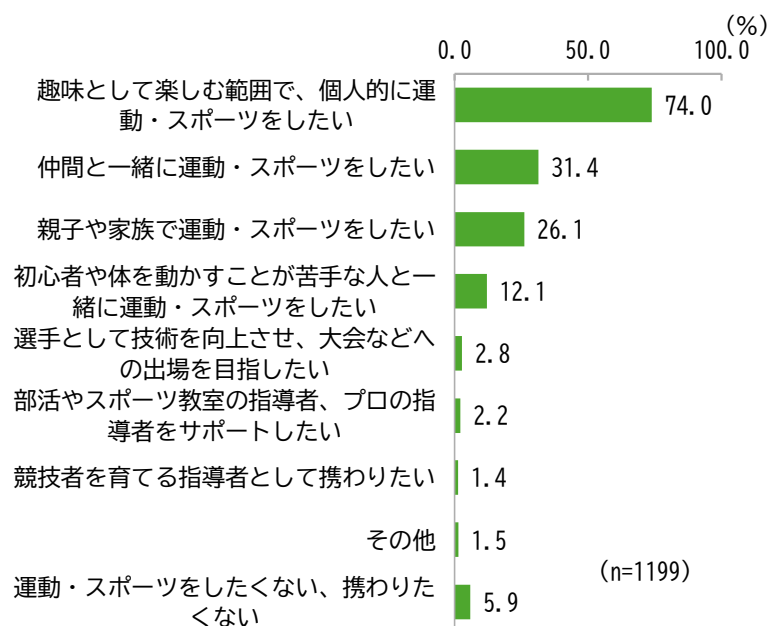


② 運動・スポーツへの携わり方の意向

- 運動・スポーツへの携わり方は、「趣味として楽しむ範囲で、個人的に運動・スポーツがしたい」が 74.0%と突出しています。次いで、「仲間と一緒に運動・スポーツをしたい」が 31.4%、「親子や家族で運動・スポーツをしたい」が 26.1%で、「集まる・つながる」価値を重視する人も少なくありません。

図表 22 運動・スポーツへの携わり方の意向（複数回答）

問 10 あなたは、どのような形で運動・スポーツをしたい、携わりたいですか。(あてはまる番号すべてに○)



- 運動・スポーツへの携わり方を性別別にみると、男性は「仲間と一緒に」が女性より高く、女性では「初心者や苦手な人と一緒に」が男性より高くなっており、男性の方がより「集まる・つながる」スポーツに関心があると考えられます。
- また、10～20 歳代の若い層や学生で「仲間と一緒に」が高く、30～40 歳代の子育て世代で「親子や家族でスポーツしたい」が高くなる傾向にあります。

【性別別】

	趣味として楽しむ範囲で、個人的に運動・スポーツをしたい	親子や家族で運動・スポーツをしたい	仲間と一緒に運動・スポーツをしたい	初心者や体を動かすことが苦手な人と一緒に運動・スポーツをしたい	選手として技術を向上させ、大会などへの出場を目指したい	部活やスポーツ教室の指導者、プロの指導者をサポートしたい	競技者を育てる指導者として携わりたい	その他	運動・スポーツをしたくない、携わりたくない
男性 (n=557)	76.5	27.5	35.2	6.8	3.9	3.8	2.2	1.4	6.6
女性 (n=624)	72.0	24.8	28.4	16.5	1.8	0.8	0.8	1.6	5.4
回答しない (n=6)	83.3	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別】

	趣味として楽しむ範囲で、個人的に運動・スポーツをしたい	親子や家族で運動・スポーツをしたい	仲間と一緒に運動・スポーツをしたい	初心者や体を動かすことが苦手な人と一緒に運動・スポーツをしたい	選手として技術を向上させ、大会などへの出場を目指したい	部活やスポーツ教室の指導者、プロの指導者をサポートしたい	競技者を育てる指導者として携わりたい	その他	運動・スポーツをしたくない、携わりたくない
10歳代 (n=26)	57.7	7.7	57.7	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	7.7
20歳代 (n=92)	73.9	26.1	44.6	9.8	3.3	2.2	3.3	1.1	2.2
30歳代 (n=126)	77.8	48.4	32.5	14.3	3.2	3.2	1.6	0.0	3.2
40歳代 (n=198)	68.7	47.5	29.8	15.7	2.5	2.0	2.0	0.5	8.6
50歳代 (n=235)	77.9	23.8	30.6	11.9	5.1	2.6	2.1	3.0	5.1
60歳代 (n=254)	78.0	16.1	28.0	11.0	2.0	2.0	0.4	2.4	4.7
70歳代以上 (n=262)	70.6	13.4	29.4	10.3	0.4	1.1	0.4	0.8	8.4

【職業別】

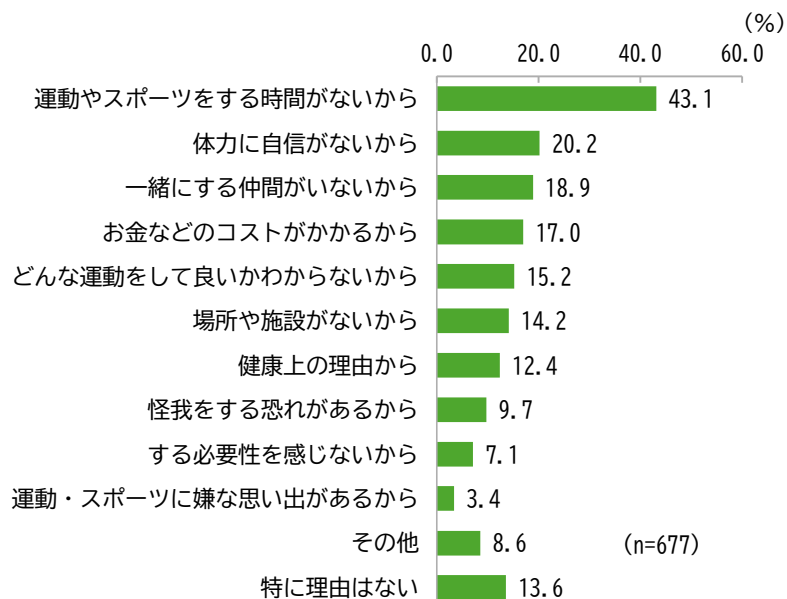
	趣味として楽しむ範囲で、個人的に運動・スポーツをしたい	親子や家族で運動・スポーツをしたい	仲間と一緒に運動・スポーツをしたい	初心者や体を動かすことが苦手な人と一緒に運動・スポーツをしたい	選手として技術を向上させ、大会などへの出場を目指したい	部活やスポーツ教室の指導者、プロの指導者をサポートしたい	競技者を育てる指導者として携わりたい	その他	運動・スポーツをしたくない、携わりたくない
勤め人 (n=456)	78.3	34.6	32.5	9.6	3.1	2.2	1.5	1.8	4.2
会社役員・団体職員 (n=65)	72.3	33.8	40.0	12.3	10.8	12.3	7.7	0.0	4.6
パート・アルバイト (n=207)	68.6	29.0	30.9	16.4	1.0	0.5	0.5	1.4	5.8
自営業・農業（家族従業員含む） (n=103)	75.7	22.3	26.2	7.8	3.9	1.9	0.0	1.0	3.9
専業主婦（夫） (n=132)	75.0	19.7	24.2	21.2	1.5	0.0	0.8	1.5	3.8
学生 (n=35)	60.0	5.7	60.0	11.4	8.6	8.6	5.7	2.9	5.7
無職 (n=179)	72.6	11.2	28.5	8.9	0.6	1.1	0.6	0.6	12.8
その他 (n=13)	53.8	15.4	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1

③ 運動・スポーツをしない理由

- この1年間に運動・スポーツをしなかった理由は「運動やスポーツをする時間がないから」が **43.1%と突出**しています。次いで「体力に自信がないから」が 20.2%、「一緒にする仲間がいないから」が 18.9%となっています。
- 性別別でみると、男性は「仲間がいない」が女性より高く、女性では「体力に自信がない」「どんな運動をしてよいかわからない」が男性より高くなっています。スポーツをしない理由においても、男性で「集まる・つながる」ニーズの高さがみてとれます。
- その他、30～40 歳代の働き盛りの年代や勤め人、自営業、学生で「時間がない」が特に高くなっています。また、10 歳代や学生で「仲間がいない」が高くなっています。専業主婦(夫)は「体力に自信がない」を理由にあげる人が多くなっています。

図表 23 運動・スポーツをしない理由（複数回答）

問 14 【問 11 でスポーツ習慣がないと回答した人】 日頃、運動・スポーツをしないのはどのような理由からですか。（あてはまる番号すべてに○）



【性別別】

	運動やスポーツをする時間がないから	体力に自信がないから	怪我をする恐れがあるから	健康上の理由から	一緒にする仲間がいないから	お金などのコストがかかるから	場所や施設がないから	どんな運動をしてよいかわからないから	する必要性を感じないから	運動・スポーツに嫌な思い出があるから	その他	特に理由はない
男性 (n=286)	42.3	12.2	13.3	10.8	23.1	17.1	14.3	11.2	10.5	1.7	5.6	15.7
女性 (n=379)	43.5	26.1	7.1	13.5	16.1	17.4	13.7	18.5	4.5	4.7	10.6	12.4
回答しない (n=4)	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

【年代別】

	運動やスポーツをする時間がないから	体力に自信がないから	怪我をする恐れがあるから	健康上の理由から	一緒にする仲間がいないから	お金などのコストがかかるから	場所や施設がないから	どんな運動をしてよいかわからないから	する必要性を感じないから	運動・スポーツに嫌な思い出があるから	その他	特に理由はない
10歳代 (n=16)	50.0	12.5	18.8	6.3	43.8	0.0	25.0	12.5	18.8	6.3	12.5	0.0
20歳代 (n=53)	50.9	20.8	5.7	3.8	28.3	18.9	20.8	22.6	9.4	0.0	13.2	13.2
30歳代 (n=83)	68.7	14.5	7.2	9.6	16.9	20.5	15.7	12.0	4.8	3.6	13.3	3.6
40歳代 (n=128)	59.4	18.8	7.8	2.3	18.8	21.1	10.2	17.2	7.8	5.5	10.2	10.9
50歳代 (n=142)	48.6	20.4	9.2	10.6	16.9	21.8	14.8	14.1	6.3	4.2	8.5	13.4
60歳代 (n=113)	25.7	17.7	14.2	19.5	18.6	13.3	13.3	15.9	6.2	4.4	4.4	23.0
70歳代以上 (n=138)	17.4	26.8	10.1	23.9	15.9	10.1	12.3	13.0	7.2	0.7	5.8	16.7

【職業別】

	運動やスポーツをする時間がないから	体力に自信がないから	怪我をする恐れがあるから	健康上の理由から	一緒にする仲間がいないから	お金などのコストがかかるから	場所や施設がないから	どんな運動をしてよいかわからないから	する必要性を感じないから	運動・スポーツに嫌な思い出があるから	その他	特に理由はない
勤め人 (n=269)	60.4	16.7	8.9	5.6	19.0	18.6	14.1	16.4	7.4	3.0	8.9	10.4
会社役員・団体職員 (n=25)	36.0	16.0	8.0	4.0	16.0	12.0	16.0	12.0	4.0	8.0	16.0	16.0
パート・アルバイト (n=141)	41.8	23.4	5.0	9.2	14.2	19.1	16.3	15.6	8.5	2.1	9.2	17.0
自営業・農業（家族従業員含む） (n=53)	54.7	13.2	18.9	15.1	18.9	20.8	17.0	5.7	7.5	5.7	7.5	9.4
専業主婦（夫） (n=65)	15.4	30.8	12.3	24.6	20.0	20.0	6.2	18.5	3.1	3.1	7.7	13.8
学生 (n=20)	60.0	5.0	20.0	10.0	40.0	0.0	20.0	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0
無職 (n=92)	6.5	27.2	10.9	31.5	19.6	10.9	13.0	14.1	7.6	4.3	5.4	21.7
その他 (n=7)	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	28.6

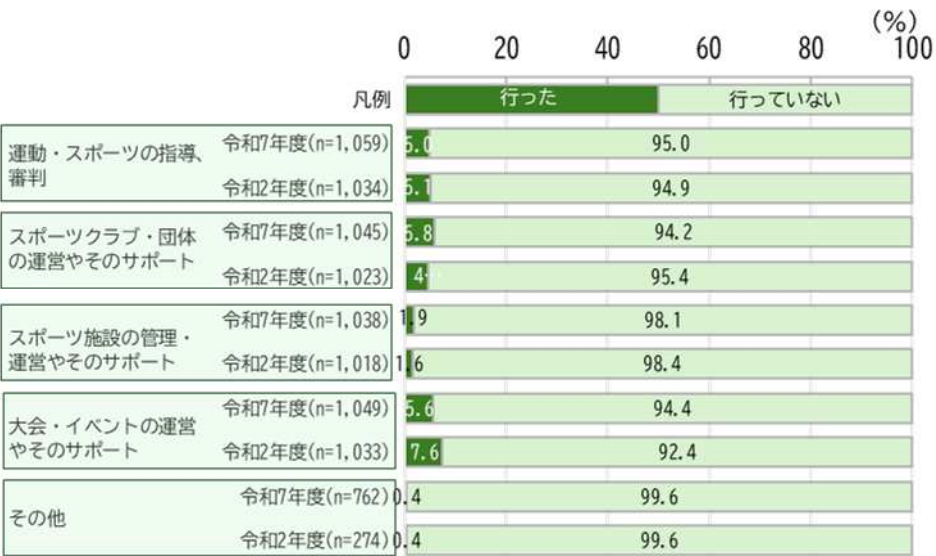
3. 運動・スポーツを「支える」活動の状況等

(1) 運動・スポーツを支える活動状況

① 活動状況

- 運動・スポーツを支える活動の実施状況は、いずれのボランティア活動も「行った」は1割未満となっています。こうした状況は前回調査とほとんど変わっていません。
- 年代別にみると、指導・審判、クラブ・団体の運営・サポート、大会・イベントの運営サポートで10歳代の実施率がやや高くなっています。

図表 24 運動・スポーツを支える活動_実施状況（単一回答） 【経年比較】
問 27 ①この1年間に、あなたは運動・スポーツに関する以下のボランティア活動を行いましたか。（あてはまる番号ひとつに○）



【年代別】

○運動・スポーツの指導・審判

	行った	行っていない
10歳代 (n=23)	13.0	87.0
20歳代 (n=91)	7.7	92.3
30歳代 (n=120)	4.2	95.8
40歳代 (n=189)	6.3	93.7
50歳代 (n=225)	4.9	95.1
60歳代 (n=218)	3.7	96.3
70歳代以上 (n=188)	3.7	96.3

○スポーツクラブ・団体の運営・サポート

	行った	行っていない
10歳代 (n=24)	16.7	83.3
20歳代 (n=89)	5.6	94.4
30歳代 (n=119)	3.4	96.6
40歳代 (n=188)	11.7	88.3
50歳代 (n=220)	4.5	95.5
60歳代 (n=214)	2.3	97.7
70歳代以上 (n=187)	5.9	94.1

○施設の管理・運営やサポート

	行った	行っていない
10歳代 (n=23)	0.0	100.0
20歳代 (n=89)	4.5	95.5
30歳代 (n=120)	0.8	99.2
40歳代 (n=187)	1.6	98.4
50歳代 (n=221)	1.8	98.2
60歳代 (n=214)	0.9	99.1
70歳代以上 (n=179)	2.8	97.2

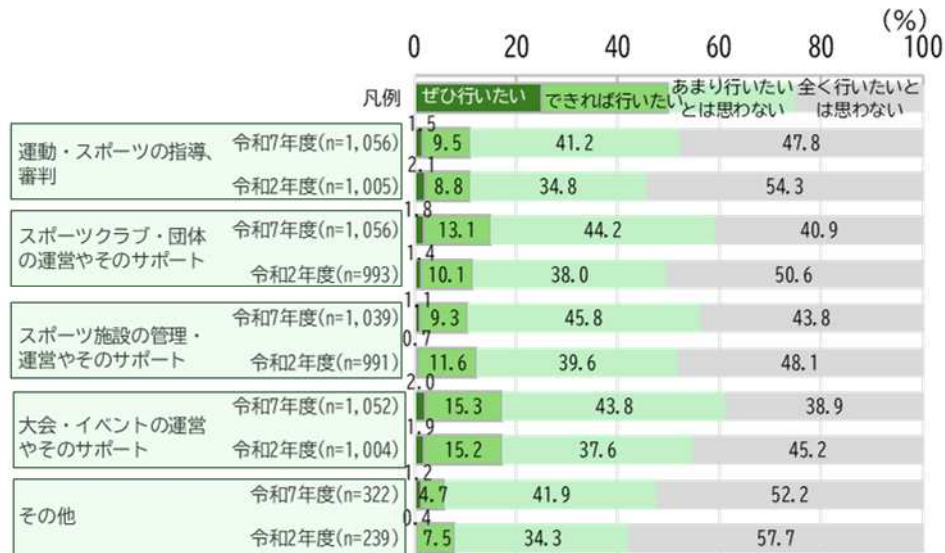
○大会・イベントの運営・サポート

	行った	行っていない
10歳代 (n=23)	13.0	87.0
20歳代 (n=89)	4.5	95.5
30歳代 (n=121)	6.6	93.4
40歳代 (n=187)	6.4	93.6
50歳代 (n=222)	5.0	95.0
60歳代 (n=216)	3.7	96.3
70歳代以上 (n=187)	6.4	93.6

- 何らかのボランティア活動の中で今後「ぜひ行いたい／できれば行いたい」としてあげられたものは「大会・イベントの運営やそのサポート」が最も高く 17.3%、次いで「スポーツクラブ・団体の運営やそのサポート」が 14.9%となっています。前回調査と比べて、大きな変化はみられません。
- 年代別にみると、総じて 10 歳代、20 歳代の若い層で他の年代より実施意向率がやや高くなっています。大会・イベントの運営・サポートについては、40～50 歳代でも「できれば行いたい」という人が他の活動よりもやや多くみられます。

図表 25 運動・スポーツを支える活動_今後の意向（単一回答） 【経年比較】

問 27 ②今後あなたは運動・スポーツに関する以下のボランティア活動を行いたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）



【年代別】

○運動・スポーツの指導、審判

	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたいとは思わない	全く行いたいとは思わない
10歳代 (n=23)	8.7	13.0	43.5	34.8
20歳代 (n=90)	3.3	18.9	44.4	33.3
30歳代 (n=120)	1.7	6.7	45.0	46.7
40歳代 (n=189)	1.1	11.1	36.0	51.9
50歳代 (n=220)	0.9	10.9	42.3	45.9
60歳代 (n=221)	1.4	5.4	47.5	45.7
70歳代以上 (n=188)	1.1	7.4	33.0	58.5

○スポーツクラブ・団体の運営・サポート

	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたいとは思わない	全く行いたいとは思わない
10歳代 (n=24)	4.2	20.8	50.0	25.0
20歳代 (n=88)	5.7	14.8	46.6	33.0
30歳代 (n=120)	0.8	10.8	45.0	43.3
40歳代 (n=190)	2.6	14.7	38.4	44.2
50歳代 (n=219)	0.9	15.1	49.8	34.2
60歳代 (n=222)	0.9	11.7	49.1	38.3
70歳代以上 (n=188)	1.6	10.1	35.1	53.2

○施設の管理・運営やサポート

	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたいとは思わない	全く行いたいとは思わない
10歳代 (n=23)	0.0	13.0	56.5	30.4
20歳代 (n=88)	5.7	17.0	43.2	34.1
30歳代 (n=122)	0.8	9.8	44.3	45.1
40歳代 (n=189)	1.6	7.4	42.9	48.1
50歳代 (n=217)	0.5	11.1	51.6	36.9
60歳代 (n=217)	0.5	8.8	50.2	40.6
70歳代以上 (n=179)	0.0	5.6	36.9	57.5

○大会・イベントの運営・サポート

	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたいとは思わない	全く行いたいとは思わない
10歳代 (n=23)	8.7	21.7	47.8	21.7
20歳代 (n=88)	5.7	21.6	40.9	31.8
30歳代 (n=122)	1.6	11.5	42.6	44.3
40歳代 (n=189)	2.6	16.4	39.7	41.3
50歳代 (n=218)	0.9	19.3	47.7	32.1
60歳代 (n=224)	1.3	14.3	50.9	33.5
70歳代以上 (n=184)	1.1	9.2	36.4	53.3

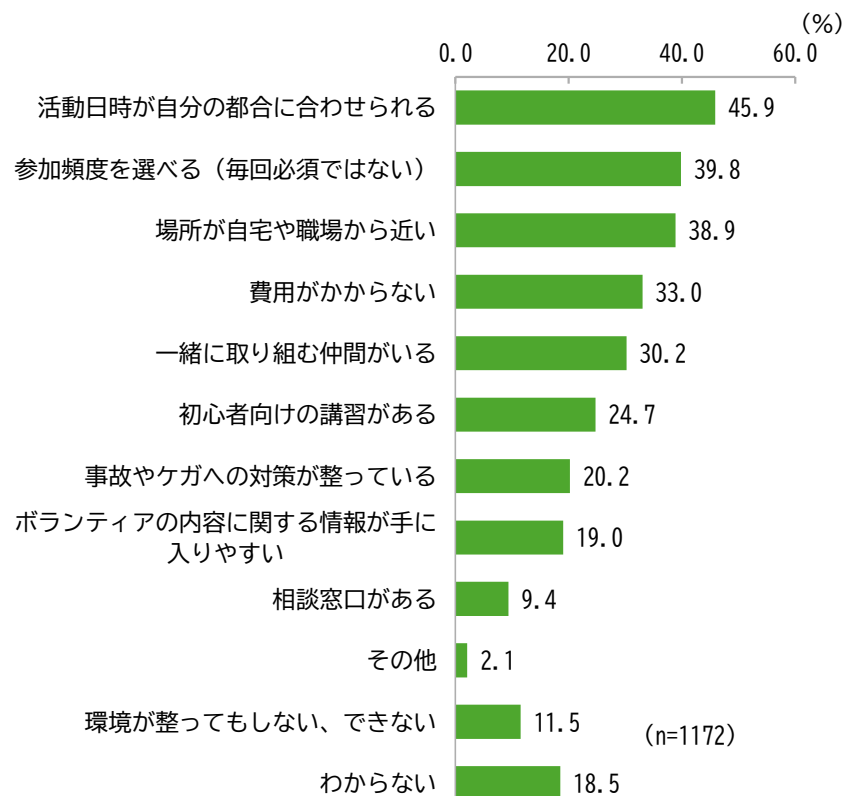
(2) 運動・スポーツを支える活動を行ううえで必要なこと

① 運動・スポーツを支える活動を行ううえで必要なこと

- 運動・スポーツを支える活動を行ううえで必要なことは、「活動日時が自分の都合に合わせられる」が 45.9%と最も高く、次いで「参加頻度を選べる（毎回必須ではない）」が 39.8%、「場所が自宅や職場から近い」が 38.9%となっています。
- 層別にみると、「初心者向け講習がある」「自宅や職場から近い」が女性で高いほか、10 歳代は「仲間がいる」「初心者向け講習がある」、20～30 歳代は「参加頻度を選べる」が高くなっています。

図表 26 運動・スポーツを支える活動を行ううえで必要なこと（複数回答）

問 28 あなたが運動・スポーツに関わるボランティア活動を行ううえで必要だと思うことをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



【性別別】

	活動日時が自分の都合に合わせられる	参加頻度を選べる（毎回必須ではない）	一緒に取り組む仲間がいる	初心者向けの講習がある	場所が自宅や職場から近い	相談窓口がある	ボランティアの内容に関する情報が手に入りやすい	事故やケガへの対策が整っている	費用がかからない	その他	環境が整ってもしない、できない	わからない
男性（n=542）	45.4	40.2	32.7	21.6	34.7	11.3	18.5	19.7	32.5	3.0	10.7	19.0
女性（n=614）	46.3	39.3	28.2	27.4	42.3	7.8	19.2	20.5	33.2	1.5	12.1	18.4

【年代別】

	活動日時が自分の都合に合わせられる	参加頻度を選べる（毎回必須ではない）	一緒に取り組む仲間がいる	初心者向けの講習がある	場所が自宅や職場から近い	相談窓口がある	ボランティアの内容に関する情報が手に入りやすい	事故やケガへの対策が整っている	費用がかからない	その他	環境が整ってもしない、できない	わからない
10歳代（n=26）	38.5	46.2	46.2	34.6	30.8	15.4	26.9	15.4	26.9	0.0	7.7	15.4
20歳代（n=92）	48.9	50.0	38.0	21.7	38.0	3.3	17.4	14.1	38.0	1.1	9.8	10.9
30歳代（n=125）	48.8	51.2	30.4	28.0	38.4	12.8	23.2	22.4	33.6	4.0	11.2	12.8
40歳代（n=195）	49.7	48.2	29.7	23.1	37.4	6.2	20.5	14.9	36.9	2.6	7.2	16.4
50歳代（n=235）	54.0	43.8	33.6	25.1	46.0	13.2	25.1	27.2	37.0	3.0	8.1	13.6
60歳代（n=249）	47.8	34.5	27.3	27.7	41.0	10.4	17.3	20.9	32.9	1.2	12.9	19.3
70歳代以上（n=244）	30.3	24.2	25.4	20.5	32.4	7.4	11.1	18.0	24.2	1.6	18.4	30.7

4. 「観る」スポーツの実施状況等

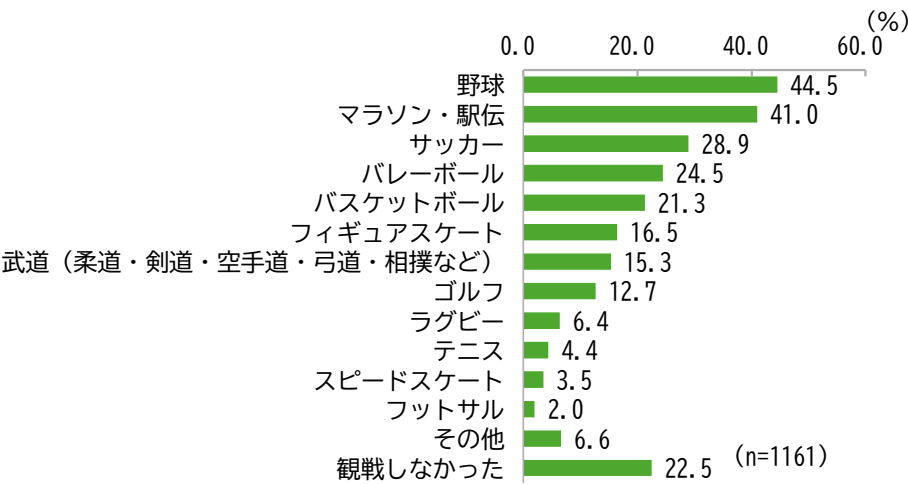
(1) スポーツの観戦状況について

① スポーツの観戦状況

- スポーツの観戦状況は、「野球」が 44.5%と最も高く、次いで「マラソン・駅伝」が 41.0%、「サッカー」が 28.9%となっています。一方、「観戦しなかった」は約2割となっています。
- 層別にみると、男性で「野球」「サッカー」「ゴルフ」が高いのに対し、女性では「フィギュアスケート」が男性より特に高くなっています。
- 年代別にみると、フットサル、バスケットボールは若い層で、マラソン・駅伝、ゴルフなどは年代の高い層で高い傾向がみられます。
- 運動・スポーツをする習慣がない人ほど、「観戦しなかった」の割合が高く、運動・スポーツをする習慣と観戦は関わりがあると考えられます。

図表 27 観戦したスポーツ（複数回答）

問 29 この1年間に、あなたが①観戦したスポーツ、②最も熱心に観戦したスポーツをお答えください。観戦方法は問いませんが、ニュースなどで短時間だけ見たものは除きます。（①はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○）



【性別別】

	野球	サッカー	フットサル	バスケットボール	バレーボール	ラグビー	テニス	武道（柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など）	ゴルフ	マラソン・駅伝	フィギュアスケート	スピードスケート	その他	観戦しなかった
男性（n=546）	50.2	36.3	1.8	21.8	22.3	9.2	4.9	16.3	20.1	37.7	10.4	4.6	7.7	20.0
女性（n=600）	38.8	21.7	1.8	20.3	26.0	3.8	3.8	13.8	5.8	43.5	21.1	2.2	5.5	25.0

【年代別】

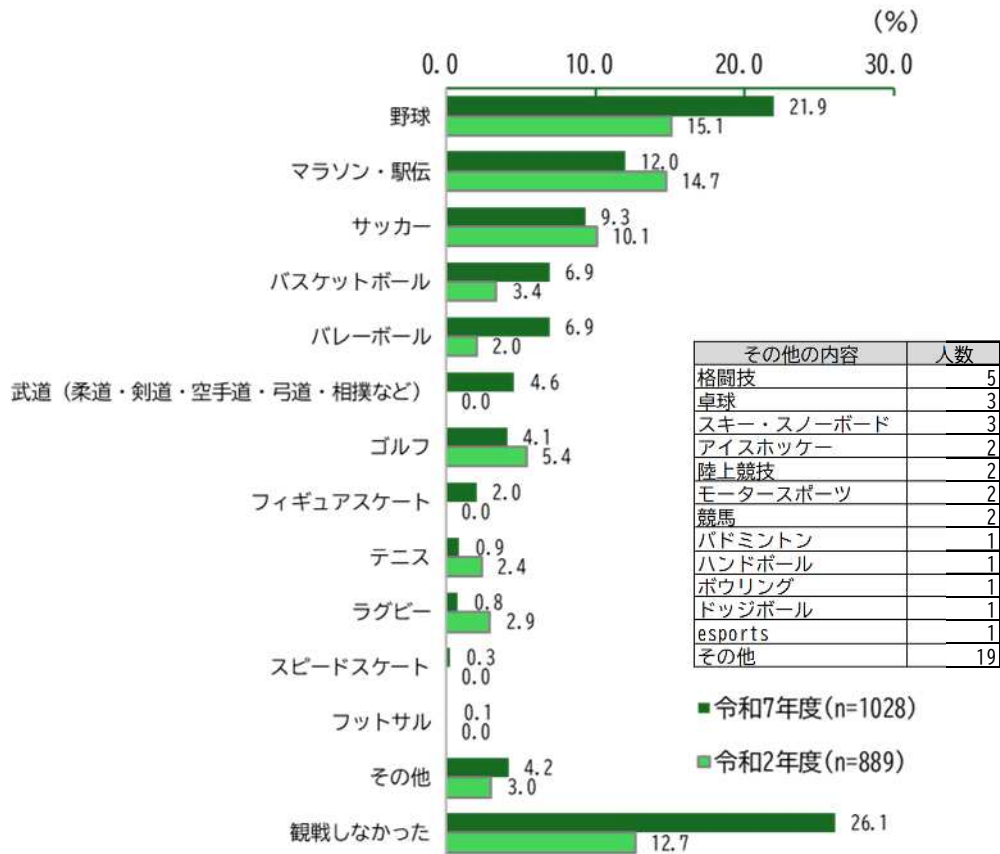
	野球	サッカー	フットサル	バスケットボール	バレーボール	ラグビー	テニス	武道（柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など）	ゴルフ	マラソン・駅伝	フィギュアスケート	スピードスケート	その他	観戦しなかった
10歳代（n=26）	50.0	34.6	7.7	30.8	34.6	3.8	0.0	15.4	7.7	30.8	19.2	0.0	15.4	11.5
20歳代（n=90）	44.4	32.2	3.3	23.3	23.3	2.2	6.7	7.8	3.3	27.8	11.1	1.1	5.6	26.7
30歳代（n=126）	41.3	27.0	3.2	28.6	22.2	3.2	5.6	14.3	6.3	23.8	8.7	1.6	12.7	22.2
40歳代（n=192）	32.3	25.5	2.6	20.3	18.2	4.2	1.0	10.4	5.2	27.1	8.9	3.1	7.3	29.2
50歳代（n=233）	46.8	34.8	2.1	20.6	28.8	6.0	7.7	14.6	11.2	40.8	15.0	3.0	7.3	20.2
60歳代（n=245）	52.7	30.2	0.0	21.6	27.3	10.6	4.5	17.6	22.0	50.2	18.8	4.9	5.3	20.8
70歳代以上（n=244）	44.3	23.4	1.6	16.4	22.5	7.4	2.9	20.9	17.2	57.8	27.0	5.3	3.3	21.3

【スポーツ習慣別】

	野球	サッカー	フットサル	バスケットボール	バレーボール	ラグビー	テニス	武道（柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など）	ゴルフ	マラソン・駅伝	フィギュアスケート	スピードスケート	その他	観戦しなかった
日頃、運動・スポーツをする習慣がある（n=243）	50.2	27.2	2.1	22.6	23.5	7.8	4.1	17.3	16.5	49.0	15.6	3.7	9.5	16.9
月に何回か運動・スポーツをする習慣がある（n=252）	51.2	35.3	2.8	20.6	24.6	6.3	5.6	18.7	18.7	48.0	18.3	3.6	5.6	15.9
ごく稀に運動・スポーツをするが、習慣はない（n=313）	45.4	31.9	1.9	24.9	28.1	8.9	4.8	15.0	12.8	37.4	19.2	4.5	5.8	22.7
全く運動・スポーツをしない（n=347）	34.9	23.1	1.4	17.6	21.9	3.2	3.5	11.8	5.8	34.0	13.0	2.6	6.3	30.8

- 最も熱心に観戦したスポーツも、「野球」「マラソン・駅伝」「サッカー」の割合が高くなっています（それぞれ 21.9%、12.0%、9.3%）。
- 前回調査と比較して、野球、バスケットボール、バレーボール、武道が増加しています。
- また、観戦しなかった人は 26.1%となり、前回調査より大きく増加しています。
- 自身が最も熱心に取り組んでいるスポーツ別にみると、主に野球やサッカーなどの競技スポーツに取り組んでいる人はそのスポーツの観戦行動も熱心であることがわかります。

図表 28 最も熱心に観戦したスポーツ（単一回答） 【経年比較】



【自身が最も熱心に取り組んでいるスポーツ別】

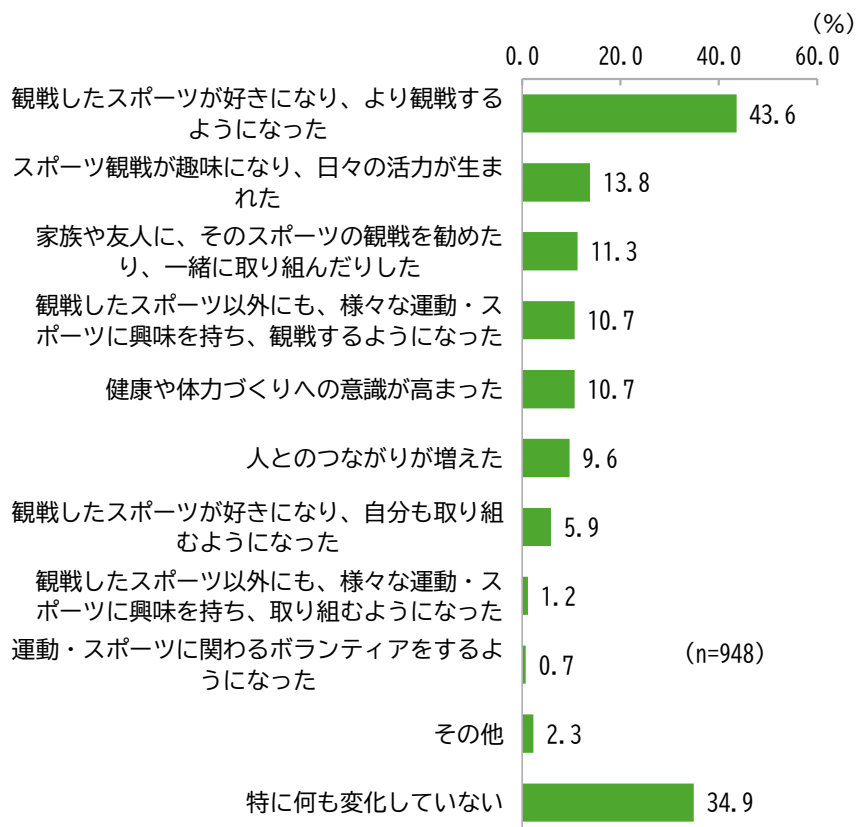
	野球	サッカー	バスケットボール	バレーボール	テニス	武道(柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など)	ゴルフ	マラソン・駅伝	フィギュアスケート	観戦しなかった
ウォーキング (n=225)	27.6	8.4	8.0	4.4	0.4	4.4	1.8	14.7	2.7	24.0
ジョギング・ランニング (n=47)	27.7	14.9	6.4	4.3	0.0	0.0	0.0	34.0	0.0	10.6
体操 (n=76)	18.4	6.6	5.3	13.2	1.3	6.6	5.3	14.5	0.0	25.0
ダンススポーツ (n=8)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	50.0
トレーニング (n=78)	25.6	12.8	7.7	6.4	0.0	7.7	1.3	10.3	3.8	21.8
水泳 (n=14)	28.6	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4
エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス (n=35)	17.1	14.3	11.4	8.6	2.9	5.7	0.0	5.7	11.4	20.0
ボウリング (n=8)	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
ゴルフ (n=54)	25.9	13.0	3.7	1.9	0.0	0.0	46.3	3.7	0.0	1.9
マレットゴルフ・グラウンドゴルフ (n=6)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
野球・ソフトボール (n=21)	71.4	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0
サッカー (n=7)	0.0	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
バスケットボール (n=9)	0.0	0.0	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
バレーボール・ソフトバレーボール (n=13)	15.4	0.0	7.7	46.2	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4
テニス・ソフトテニス (n=12)	16.7	8.3	16.7	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0
バドミントン (n=12)	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
卓球 (n=8)	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
サイクリング (n=11)	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	9.1
スキー・スノーボード (n=32)	12.5	6.3	9.4	3.1	0.0	3.1	3.1	6.3	6.3	50.0
武道(柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など) (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

② 観戦後のスポーツとの関わり

- 観戦後のスポーツとの関わりは、「観戦したスポーツが好きになり、より観戦するようになった」が **43.6%**と突出しています。次いで「スポーツ観戦が趣味になり、日々の活力が生まれた」が 13.8%となっています。一方、34.9%が「特に何もしていない」と回答しています。
- 年代別にみると、若い層の方がスポーツ観戦により行動変容する人の割合が総じて高くなっています。また、30～40 歳代で「人とのつながりが増えた」「家族や友人と一緒に取り組んだ」がやや高くなっており、スポーツの「つながる」効果がみられます。

図表 29 観戦後のスポーツとの関わり（複数回答）

問 30 これまでのスポーツ観戦を通じて、あなた自身に以下のような変化はありましたか。（あてはまる番号すべてに○）



【年代別】

	観戦したスポーツが好きになり、より観戦するようになった	観戦したスポーツが好きになり、自分も取り組むようになった	観戦したスポーツ以外にも、様々な運動・スポーツに興味を持ち、観戦するようになった	観戦したスポーツ以外にも、様々な運動・スポーツに興味を持ち、取り組むようになった	運動・スポーツに関わるボランティアをするようになった	人とのつながりが増えた	家族や友人に、そのスポーツの観戦を勧めたり、一緒に取り組んだりした	スポーツ観戦が趣味になり、日々の活力が生まれた	健康や体力づくりへの意識が高まった	その他	特に何もしていない
10歳代 (n=22)	59.1	22.7	18.2	4.5	0.0	13.6	9.1	9.1	13.6	4.5	22.7
20歳代 (n=61)	47.5	8.2	6.6	1.6	0.0	6.6	9.8	8.2	3.3	0.0	39.3
30歳代 (n=94)	54.3	13.8	11.7	1.1	2.1	14.9	22.3	18.1	11.7	1.1	19.1
40歳代 (n=142)	45.8	7.0	11.3	4.2	0.0	17.6	14.8	12.0	14.8	2.1	26.1
50歳代 (n=190)	45.8	5.8	13.2	1.1	0.5	10.0	12.1	16.8	11.6	2.6	33.2
60歳代 (n=213)	40.8	3.3	9.9	0.0	0.9	5.2	10.8	16.0	9.9	1.9	37.6
70歳代以上 (n=220)	35.5	2.3	8.6	0.0	0.9	6.8	5.0	10.9	9.5	3.6	45.9

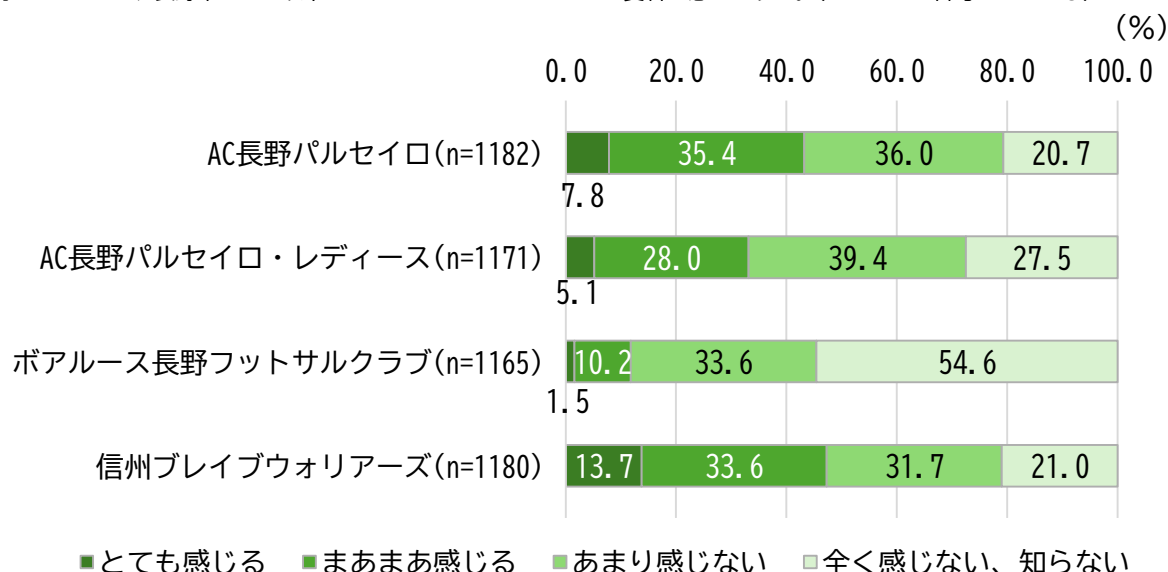
(2) 長野市の地域密着型プロスポーツについて

① 長野市の地域密着型プロスポーツチームへの愛着

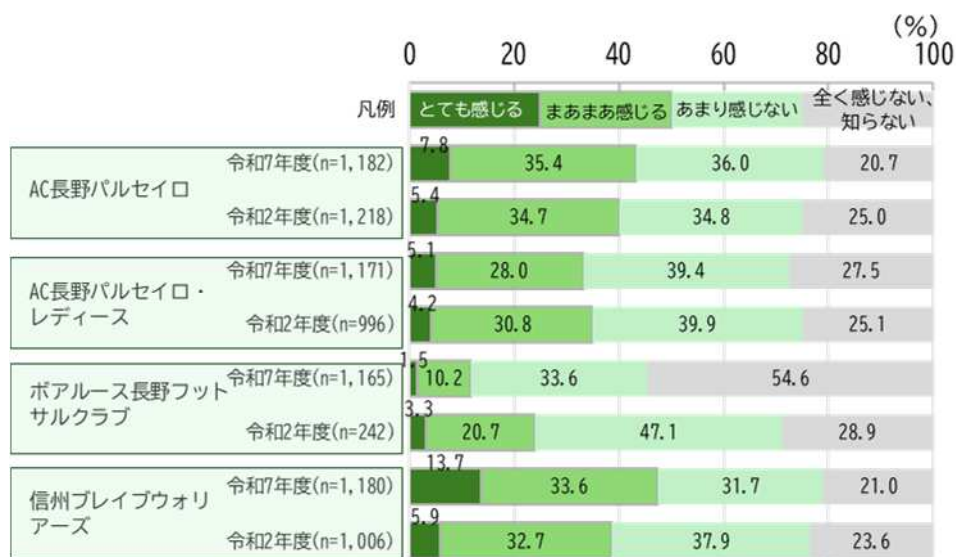
- 長野市の地域密着型プロスポーツチームへの愛着度をみると、愛着を「とても感じる／まあまあ感じる」は、「信州ブレイブウォリアーズ」が 47.3%と最も高く、次いで「AC 長野パルセイロ」が 43.2%、「AC 長野パルセイロレディース」が 33.1%、「ボアルース長野フットサルクラブ」が 11.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、AC 長野パルセイロおよび信州ブレイブウォリアーズは愛着度が向上し、AC 長野パルセイロレディース、ボアルースは愛着度が低下しています。

図表 30 長野市の地域密着型プロスポーツチームへの愛着

問 31 あなたは、長野市にある以下のプロスポーツチームについて愛着を感じますか。(あてはまる番号ひとつに○)



【経年比較】

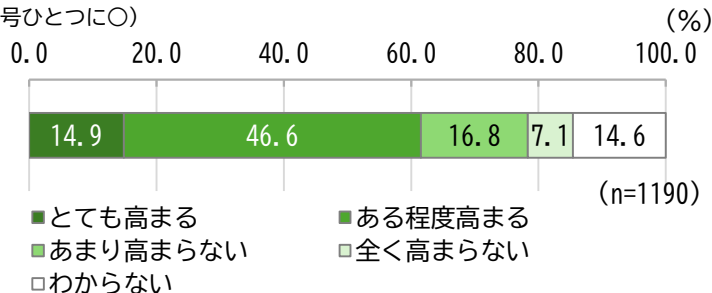


② プロスポーツチームと連携した地域づくりについて

- 地域密着型プロスポーツチームが活躍することで、地域への誇りや愛着が高まるかは「とても高まる／ある程度高まる」が約6割となっています。また、スポーツが好きな人ほど地域への誇りや愛着が高まる傾向がみられます。
- 地域密着型プロスポーツチームと連携した地域づくりへの期待度は「とても期待が持てる／ある程度期待が持てる」が 56.1%となっています。また、スポーツが好きな人ほど期待する人の割合も高まる傾向がみられます。

図表 31 地域への誇りや愛着の高まり（単一回答）

問 32 あなたは、上記の地域密着型プロスポーツチームが活躍することで、地域への誇りや愛着が高まりますか。
(あてはまる番号ひとつに○)

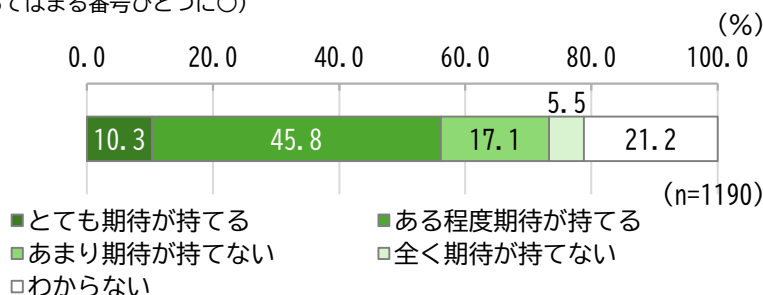


【スポーツ関心度別】

	とても高まる	ある程度高まる	あまり高まらない	全く高まらない	わからない
好きだ (n=306)	22.9	48.4	15.4	5.2	8.2
どちらかといえば好きだ (n=466)	15.5	50.4	16.5	5.6	12.0
どちらかといえば好きでない (n=205)	12.2	47.3	14.1	6.8	19.5
好きではない (n=113)	5.3	31.9	24.8	20.4	17.7
どちらともいえない (n=96)	4.2	38.5	17.7	5.2	34.4

図表 32 地域密着型プロスポーツチームと連携した地域づくりへの期待（単一回答）

問 33 あなたは、上記の地域密着型プロスポーツチームと連携した地域づくりについて、どのようにお考えですか。
(あてはまる番号ひとつに○)



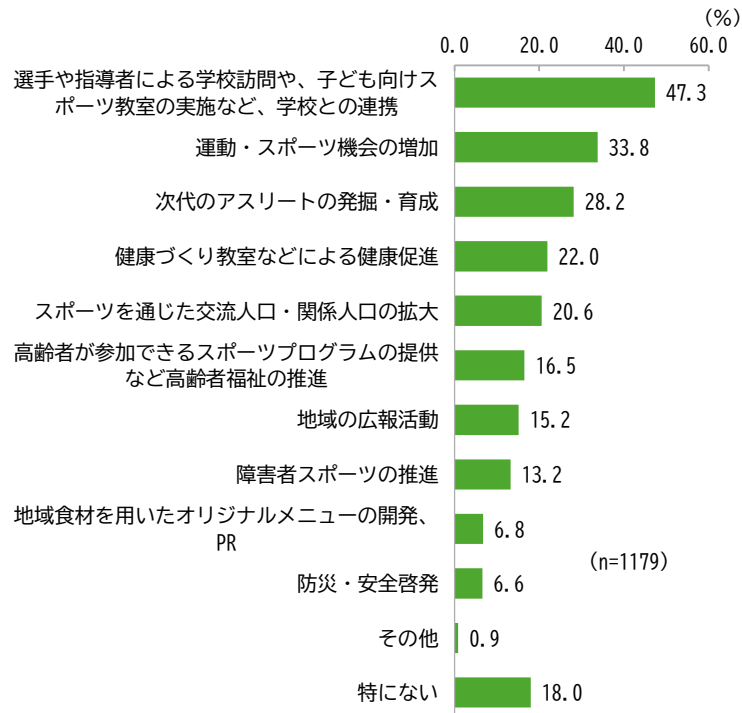
【スポーツ関心度別】

	とても期待が持てる	ある程度期待が持てる	あまり期待が持てない	全く期待が持てない	わからない
好きだ (n=306)	16.0	49.7	17.3	4.6	12.4
どちらかといえば好きだ (n=465)	11.2	49.2	17.0	5.4	17.2
どちらかといえば好きでない (n=205)	7.3	43.4	16.6	4.4	28.3
好きではない (n=112)	1.8	32.1	18.8	11.6	35.7
どちらともいえない (n=98)	4.1	36.7	17.3	5.1	36.7

- 地域密着型プロスポーツチームと連携を進めるべきだと思う活動は「選手や指導者による学校訪問や、子ども向けスポーツ教室の実施など、学校との連携」が47.3%と最も高く、次いで「運動・スポーツ機会の増加」が33.8%、「次代のアスリートの発掘・育成」が28.2%となっています。
- 年代別にみると、若い世代では「スポーツ機会の増加」、子育て世代で「学校との連携」、高齢層で「健康促進」や「高齢者福祉の推進」を望む人が多くなっている。
- また、スポーツ関心度別にみると、運動・スポーツが好きな人ほど「スポーツ機会の増加」が高く、どちらともいえないという態度保留層で「健康促進」への関心が高くなっている。

図表 33 プロスポーツチームと連携を進めるべきだと思う活動（複数回答）

問 34 あなたが地域密着型プロスポーツチームと連携を進めるべきだと思う活動をお答えください。（あてはまる番号全てに○）



【年代別】

	運動・スポーツ機会の増加	障害者スポーツの推進	選手や指導者による学校訪問や、子ども向けスポーツ教室の実施など、学校との連携	健康づくり教室などによる健康促進	高齢者が参加できるスポーツプログラムの提供など高齢者福祉の推進	地域食材を用いたオリジナルメニューの開発、PR	防災・安全啓発	地域の広報活動	次代のアスリートの発掘・育成	スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大	その他	特になし
10歳代 (n=26)	46.2	11.5	46.2	34.6	7.7	19.2	19.2	23.1	26.9	26.9	3.8	26.9
20歳代 (n=92)	42.4	20.7	44.6	17.4	8.7	10.9	10.9	15.2	25.0	22.8	2.2	13.0
30歳代 (n=125)	45.6	7.2	52.0	17.6	8.0	8.0	4.0	12.8	32.0	23.2	0.8	17.6
40歳代 (n=195)	37.9	12.8	55.9	15.9	7.7	6.2	4.1	11.3	30.3	19.5	0.5	16.4
50歳代 (n=236)	36.9	15.3	52.1	22.0	14.0	7.6	5.9	21.6	37.3	26.7	1.7	14.4
60歳代 (n=248)	33.1	14.1	47.6	19.0	18.5	5.2	6.0	13.7	25.0	19.0	0.0	18.5
70歳代以上 (n=251)	17.9	11.2	34.7	32.3	3.3	4.8	8.4	13.9	20.7	13.9	0.8	22.7

【スポーツ関心度別】

	運動・スポーツ機会の増加	障害者スポーツの推進	選手や指導者による学校訪問や、子ども向けスポーツ教室の実施など、学校との連携	健康づくり教室などによる健康促進	高齢者が参加できるスポーツプログラムの提供など高齢者福祉の推進	地域食材を用いたオリジナルメニューの開発、PR	防災・安全啓発	地域の広報活動	次代のアスリートの発掘・育成	スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大	その他	特になし
好きだ (n=307)	46.6	16.3	50.8	23.8	15.6	8.1	7.2	16.0	31.6	28.7	1.0	11.4
どちらかといえば好きだ (n=460)	37.6	12.4	50.7	21.3	17.2	5.9	6.5	16.1	30.0	20.0	1.1	15.7
どちらかといえば好きでない (n=204)	24.0	14.7	45.1	22.5	18.6	7.8	8.3	16.2	26.5	14.7	0.5	21.6
好きではない (n=110)	15.5	7.3	35.5	16.4	10.9	3.6	4.5	9.1	20.9	20.0	0.9	35.5
どちらともいえない (n=94)	18.1	10.6	38.3	25.5	19.1	8.5	4.3	11.7	19.1	11.7	1.1	23.4

5. 「障害者スポーツ」について

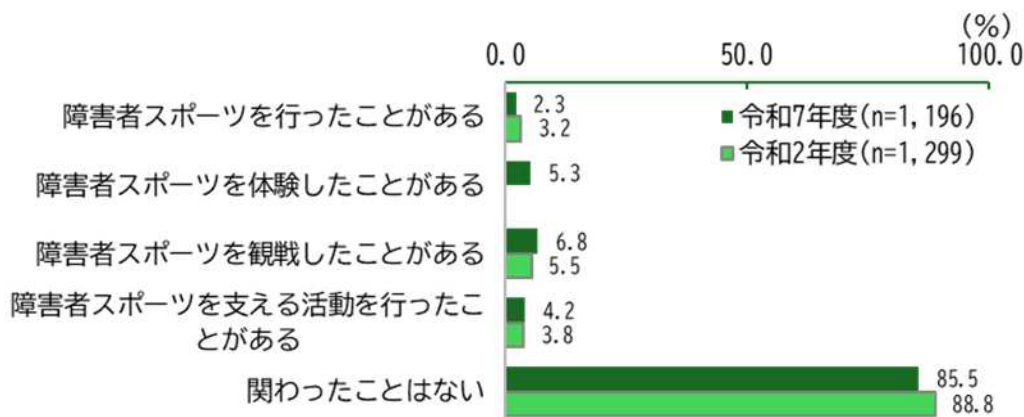
(1) 障害者スポーツへの関わり

① 障害者スポーツへの関わり

- 障害者スポーツへの関わりは、いずれの関わりも1割未満となっています。最も高い「障害者スポーツを観戦したことがある」が6.8%であり、8割以上が「関わったことはない」と回答しています。こうした状況は前回調査とほとんど変わっていません。
- 10歳代、学生で「障害者スポーツを体験した」人の割合が高くなっています。職業が「その他」で「障害者スポーツを行ったことがある」が高くなっていますが、職業の「その他」には就労継続支援事業所などの障害者施設に通う人が含まれているためと考えられます。

図表 34 障害者スポーツへの関わりの有無（複数回答） 【経年比較】

問 24 あなたは障害者スポーツに関わったことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）



【年代別】

	障害者スポーツを行ったことがある	障害者スポーツを体験したことがある	障害者スポーツを観戦したことがある	障害者スポーツを支える活動を行ったことがある	関わったことはない
10歳代 (n=26)	3.8	34.6	7.7	0.0	61.5
20歳代 (n=92)	7.6	10.9	7.6	4.3	72.8
30歳代 (n=127)	1.6	8.7	7.9	4.7	86.6
40歳代 (n=197)	4.1	4.6	6.1	4.6	85.3
50歳代 (n=235)	1.3	4.3	5.1	3.8	87.7
60歳代 (n=255)	1.6	2.7	9.0	4.7	84.7
70歳代以上 (n=258)	0.8	2.3	5.4	3.5	90.7

【職業別】

	障害者スポーツを行ったことがある	障害者スポーツを体験したことがある	障害者スポーツを観戦したことがある	障害者スポーツを支える活動を行ったことがある	関わったことはない
勤め人 (n=457)	2.6	5.9	6.3	4.8	84.5
会社役員・団体職員 (n=65)	4.6	6.2	12.3	10.8	76.9
パート・アルバイト (n=208)	1.4	3.4	4.8	2.9	89.9
自営業・農業（家族従業員含む） (n=103)	1.0	2.9	4.9	2.9	92.2
専業主婦（夫） (n=129)	0.0	3.9	7.8	4.7	86.0
学生 (n=35)	5.7	31.4	11.4	0.0	57.1
無職 (n=176)	1.7	2.3	8.0	2.3	88.6
その他 (n=13)	23.1	7.7	0.0	0.0	69.2

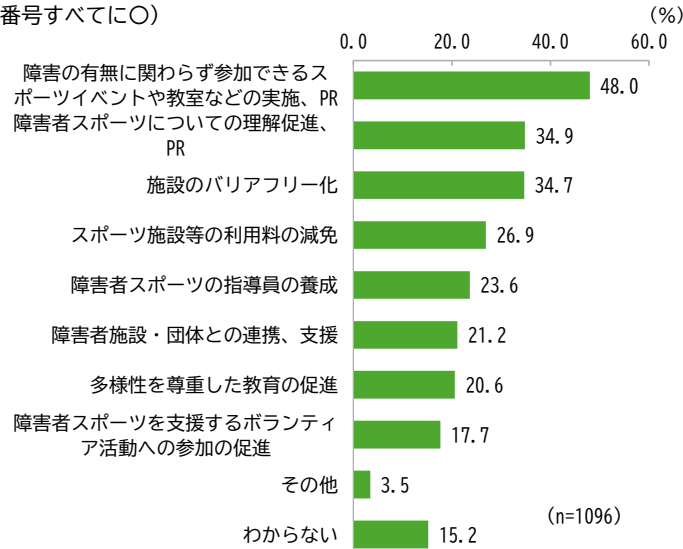
(2) 障害者スポーツ活動を促進するための取組等

① 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境作りのために、市として必要だと思う取組

- 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすくするために、市として必要だと思う取組は、「障害の有無に関わらず参加できるスポーツイベントや教室などの実施、PR」が 48.0%と最も高く、次いで「障害者スポーツについての理解促進、PR」が 34.9%、「施設のバリアフリー化」が 34.7%となっています。
- 年代別にみると「わからない」の割合は年代が上がるほど高くなっており、10 歳代で「障害の有無に関わらず参加できるイベント等の実施・PR」や「スポーツ施設利用料の減免」「障害者施設・団体との連携、支援」「ボランティア活動への参加促進」など多くの項目で関心が高い結果となっています。

図表 35 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境作りのために、市として必要だと思う取組（複数回答）

問 25 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境を作るために、長野市として、どのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



【年代別】

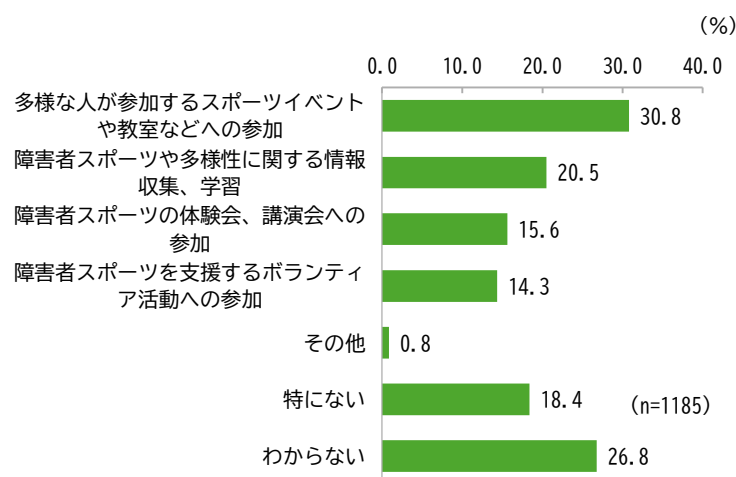
	障害者スポーツの指導員の養成	障害の有無に関わらず参加できるスポーツイベントや教室などの実施、PR	障害者スポーツを支援するボランティア活動への参加の促進	障害者スポーツについての理解促進・PR	障害者施設・団体との連携、支援	多様性を尊重した教育の促進	施設のバリアフリー化	スポーツ施設等の利用料の減免	その他	わからない
10歳代 (n=24)	20.8	62.5	29.2	25.0	37.5	20.8	33.3	41.7	12.5	8.3
20歳代 (n=81)	24.7	50.6	17.3	33.3	23.5	23.5	42.0	33.3	2.5	7.4
30歳代 (n=110)	17.3	46.4	12.7	36.4	20.9	29.1	40.9	24.5	5.5	8.2
40歳代 (n=166)	18.7	51.2	13.9	30.1	16.9	27.1	36.1	27.1	6.6	11.4
50歳代 (n=215)	28.8	54.9	21.4	39.1	25.6	23.3	38.6	27.4	3.3	10.2
60歳代 (n=248)	26.2	48.4	20.2	38.7	22.2	16.9	32.3	25.8	2.0	14.5
70歳代以上 (n=246)	22.4	37.8	15.9	31.3	17.1	12.6	26.8	25.2	1.6	29.7

② 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境作りのために、自身ができる取組

- 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすくするために、自身ができそうだと思う取組は、「多様な人が参加するスポーツイベントや教室などへの参加」が30.8%と最も高く、次いで「障害者スポーツや多様性に関する情報収集、学習」が20.5%となっています。
- 年代別にみると、「特にない」の割合は年代が上がるほど高くなっています。10歳代では「体験会、講演会への参加」や「ボランティア活動への参加」ができると回答する割合が高くなり、20～30歳代では情報収集や学習に興味を示す人が多くなっています。

図表 36 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境作りのために、あなた自身ができる取り組み（複数回答）

問 26 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境を作るために、あなた自身ができる取り組みは何だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



【年代別】

	多様な人が参加するスポーツイベントや教室などへの参加	障害者スポーツの体験会、講演会への参加	障害者スポーツを支援するボランティア活動への参加	障害者スポーツや多様性に関する情報収集、学習	その他	特にない	わからない
10歳代 (n=26)	26.9	23.1	23.1	15.4	0.0	15.4	30.8
20歳代 (n=92)	34.8	14.1	6.5	29.3	0.0	10.9	29.3
30歳代 (n=126)	30.2	11.9	11.1	29.4	1.6	17.5	24.6
40歳代 (n=194)	36.1	13.9	14.4	20.6	0.5	14.9	29.9
50歳代 (n=233)	32.6	20.2	19.3	21.9	1.7	12.9	24.9
60歳代 (n=254)	28.7	16.1	15.4	20.9	0.0	19.7	26.8
70歳代以上 (n=254)	26.0	13.4	11.8	12.2	1.2	28.0	26.4

6. 運動・スポーツの基盤について

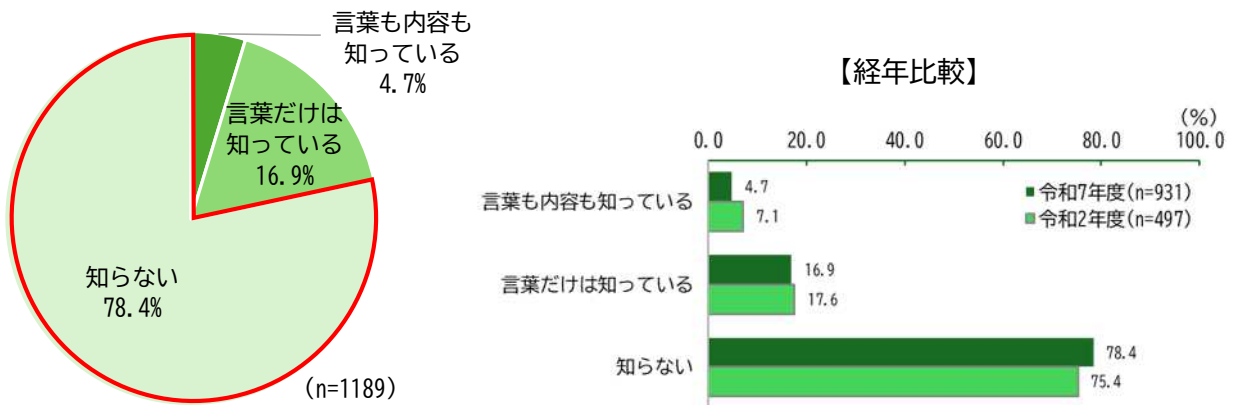
(1) 総合型地域スポーツクラブの状況

① 総合型地域スポーツクラブの認知度

- 総合型地域スポーツクラブの認知度は、約8割が「知らない」と回答しています。「言葉だけは知っている」は16.9%、「言葉も内容も知っている」は4.7%となっています。前回調査と比較すると、認知度は向上していません。
- 層別に大きな違いはみられませんが、50歳代で「言葉だけは知っている」人の割合がやや高くなっています。

図表 37 総合型地域スポーツクラブの認知度（単一回答）

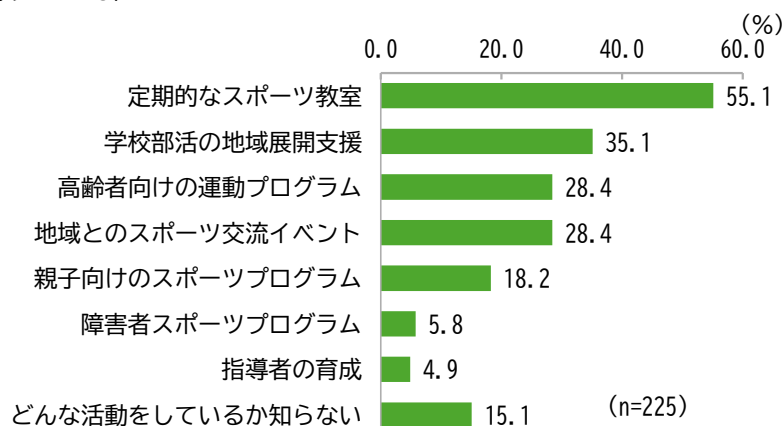
問 20 あなたは、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。（あてはまる番号ひとつに○）



- 総合型地域スポーツクラブが実施している活動の認知度は、「定期的なスポーツ教室」が 55.1%と最も高く、次いで、「学校部活の地域展開支援」が 35.1%、「高齢者向けの運動プログラム」「地域とのスポーツ交流イベント」がそれぞれ 28.4%となっています。
- 性別別にみると、「高齢者向けの運動プログラム」の認知度が女性で高く、「地域とのスポーツ交流イベント」の認知度は男性が高くなっています。
- 年代別には 70 歳代以上で「高齢者向けの運動プログラム」、小中学生の子どもがいる人が多いと思われる 40 歳代で「学校部活の地域展開」の認知度が高くなっています。

図表 38 総合型地域スポーツクラブが実施している活動の認知度（複数回答）

問 21 総合型地域スポーツクラブが実施している以下の活動のうち、知っているものをお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）



【性別別】

	定期的なスポーツ教室	高齢者向けの運動プログラム	親子向けのスポーツプログラム	障害者スポーツプログラム	地域とのスポーツ交流イベント	指導者の育成	学校部活の地域展開支援	どんな活動をしているか知らない
男性 (n=108)	51.9	17.6	16.7	5.6	34.3	6.5	34.3	17.6
女性 (n=113)	57.5	38.9	19.5	6.2	23.0	3.5	34.5	13.3

【年代別】

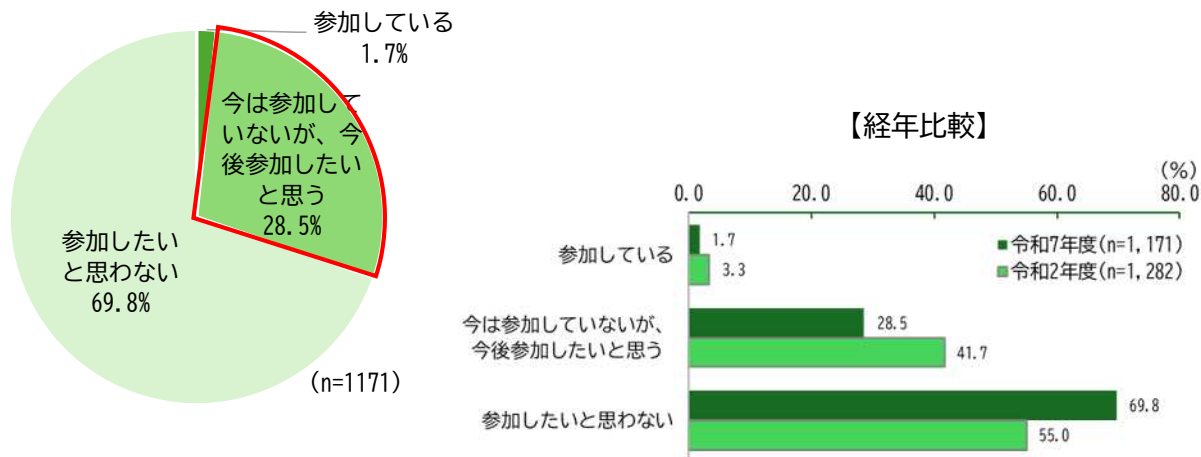
	定期的なスポーツ教室	高齢者向けの運動プログラム	親子向けのスポーツプログラム	障害者スポーツプログラム	地域とのスポーツ交流イベント	指導者の育成	学校部活の地域展開支援	どんな活動をしているか知らない
10歳代 (n=3)	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=15)	46.7	6.7	13.3	6.7	33.3	0.0	46.7	13.3
30歳代 (n=18)	72.2	22.2	27.8	11.1	38.9	5.6	33.3	5.6
40歳代 (n=29)	65.5	27.6	31.0	6.9	34.5	0.0	55.2	6.9
50歳代 (n=61)	45.9	19.7	14.8	4.9	24.6	8.2	44.3	19.7
60歳代 (n=46)	56.5	30.4	10.9	6.5	21.7	6.5	28.3	17.4
70歳代以上 (n=50)	52.0	48.0	18.0	2.0	30.0	4.0	16.0	18.0

② 総合型地域スポーツクラブへの参加意向

- 総合型地域スポーツクラブへの参加意向は、約7割が「参加したいと思わない」と回答しています。「今は参加していないが、今後参加したいと思う」は28.5%、「参加している」は1.7%とわずかです。
- 前回調査と比較すると、「参加したいと思わない」が10ポイント以上増加しています。
- 「今は参加していないが、今後参加したいと思う」は40～60歳代でやや高くなっています。

図表 39 総合型地域スポーツクラブへの参加意向（単一回答）

問 22 あなたは、総合型地域スポーツクラブに参加したいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）



【性別別】

	参加している	今は参加していないが、今後参加したいと思う	参加したいと思わない
男性 (n=545)	1.7	26.8	71.6
女性 (n=609)	1.8	30.2	68.0
回答しない (n=6)	0.0	33.3	66.7

【年代別】

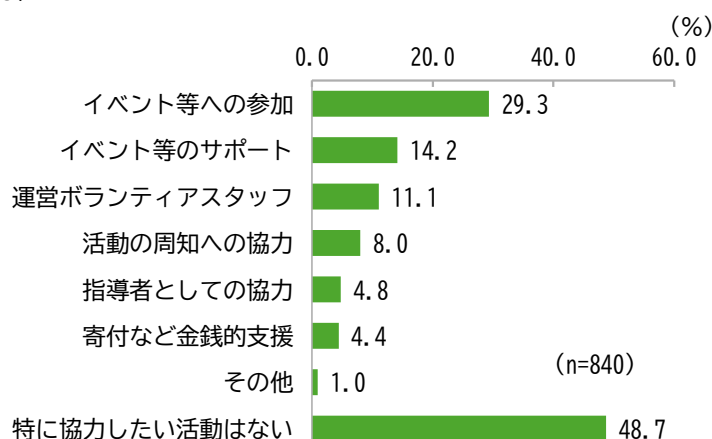
	参加している	今は参加していないが、今後参加したいと思う	参加したいと思わない
10歳代 (n=26)	3.8	19.2	76.9
20歳代 (n=91)	2.2	24.2	73.6
30歳代 (n=125)	0.8	24.0	75.2
40歳代 (n=194)	2.1	32.0	66.0
50歳代 (n=234)	1.3	32.5	66.2
60歳代 (n=250)	0.8	33.6	65.6
70歳代以上 (n=245)	2.9	21.2	75.9

③ 総合型地域スポーツクラブを支える活動への参加意向

- 総合型地域スポーツクラブを支える活動のうち、参加したいと思う活動は、「イベント等への参加」が29.3%と最も高く、次いで「イベント等のサポート」が14.2%、「運営ボランティアスタッフ」が11.1%となっています。一方、約5割が「特に協力したい活動はない」と回答しています。
- 層別にみると、「運営ボランティアスタッフ」や「イベントサポート」は10～20歳代や学生、「イベント参加」は30～40歳代や勤め人、「指導者としての協力」は会社役員・団体職員で参加意向がやや高くみられます。自営業や専業主婦(夫)、無職では活動参加意向が低くなっています。

図表 40 総合型地域スポーツクラブを支える活動への参加意向（複数回答）

問 23 総合型地域スポーツクラブを支える以下の活動のうち、参加したいと思う活動をお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)



【年代別】

	運営ボランティアスタッフ	指導者としての協力	イベント等のサポート	寄付など金銭的支援	イベント等への参加	活動の周知への協力	その他	特に協力したい活動はない
10歳代 (n=20)	20.0	10.0	25.0	10.0	20.0	0.0	0.0	50.0
20歳代 (n=60)	21.7	6.7	28.3	5.0	31.7	8.3	0.0	31.7
30歳代 (n=70)	8.6	8.6	14.3	4.3	34.3	12.9	0.0	38.6
40歳代 (n=119)	13.4	6.7	16.8	2.5	42.0	8.4	1.7	31.1
50歳代 (n=167)	14.4	4.2	17.4	7.8	33.5	7.8	0.0	46.1
60歳代 (n=201)	11.4	4.0	12.4	4.0	28.4	7.0	1.0	49.8
70歳代以上 (n=197)	3.6	2.5	6.1	2.0	17.3	7.6	2.0	69.0

【職業別】

	運営ボランティアスタッフ	指導者としての協力	イベント等のサポート	寄付など金銭的支援	イベント等への参加	活動の周知への協力	その他	特に協力したい活動はない
勤め人 (n=281)	13.5	5.3	16.7	5.7	37.7	8.2	0.4	38.1
会社役員・団体職員 (n=52)	15.4	23.1	19.2	3.8	23.1	9.6	0.0	38.5
パート・アルバイト (n=156)	10.3	1.9	16.7	2.6	29.5	7.1	1.9	49.4
自営業・農業（家族従業員含む） (n=67)	4.5	3.0	7.5	9.0	25.4	10.4	1.5	59.7
専業主婦（夫） (n=100)	5.0	2.0	6.0	0.0	19.0	9.0	1.0	67.0
学生 (n=30)	20.0	10.0	30.0	10.0	26.7	0.0	0.0	36.7
無職 (n=136)	11.0	1.5	9.6	3.7	23.5	6.6	1.5	58.8
その他 (n=10)	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10.0	0.0	40.0

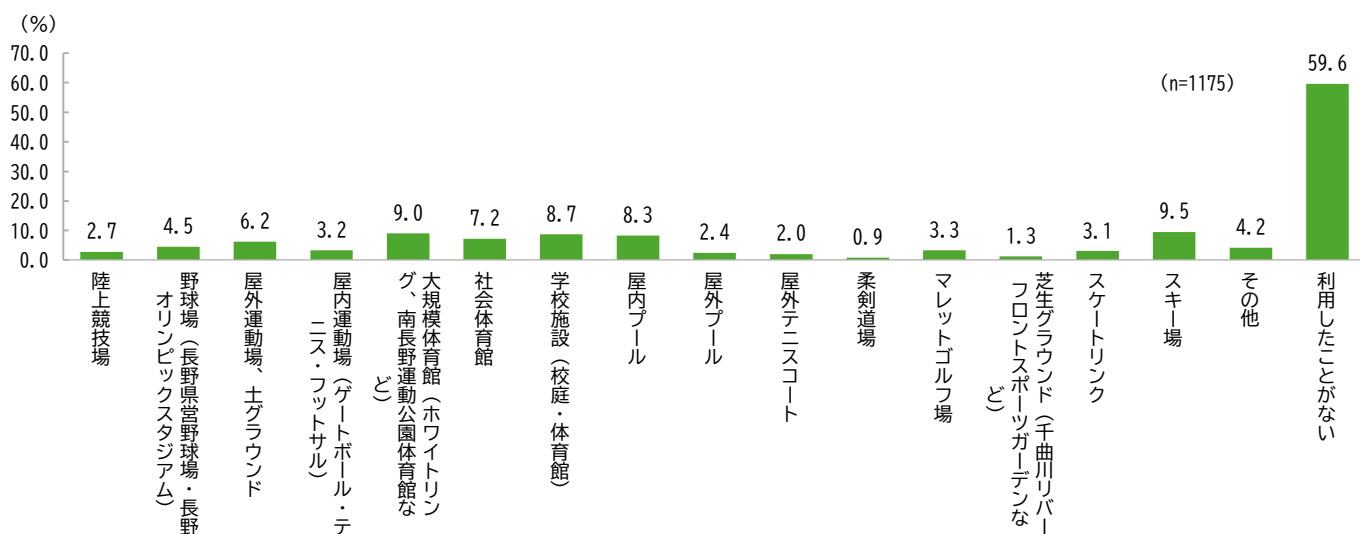
(2) 公共スポーツ施設の利用について

① 公共スポーツ施設の利用について

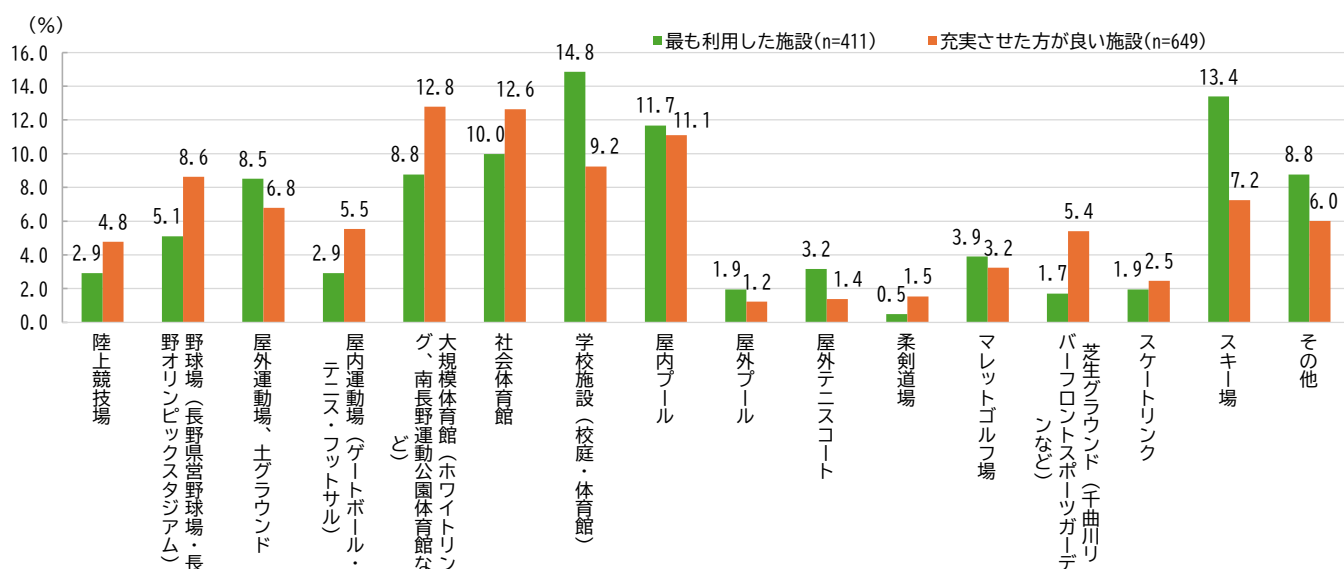
- この1年間の公共スポーツ施設の利用状況は「スキー場」が9.5%と最も高く、次いで「大規模体育館（ホワイトリング、南長野運動公園、公園体育館など）」が9.0%、「学校施設（校庭・体育館）」が8.7%となっています。一方、約6割が「利用したことがない」と回答しています。
- 最も利用した施設は、「学校施設（校庭・体育館）」が14.8%と最も高く、次いで「スキー場」が13.4%、「屋内プール」が11.7%となっています。
- 今後充実した方が良いと思う施設では、「大規模体育館（ホワイトリング、南長野運動公園、公園体育館など）」が12.8%と最も高く、次いで「社会体育館」が12.6%、「屋内プール」が11.1%となっています。

図表 41 公共スポーツ施設の利用状況（複数回答）

問 38 この1年間に、あなたが①運動・スポーツを行うために利用した、②最も利用した、③今後充実させた方が良いと思う、市内の公共スポーツ施設をお答えください。（①はあてはまる番号すべてに○、②③はあてはまる番号ひとつに○）

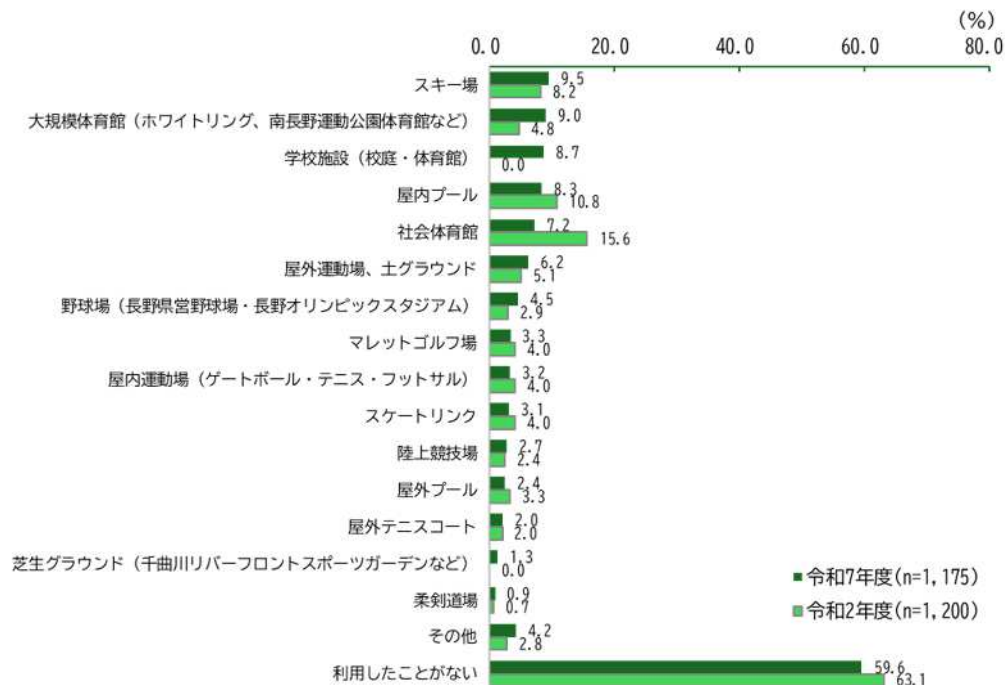


図表 42 最も利用した／今後充実させた方が良い、公共スポーツ施設（単一回答）

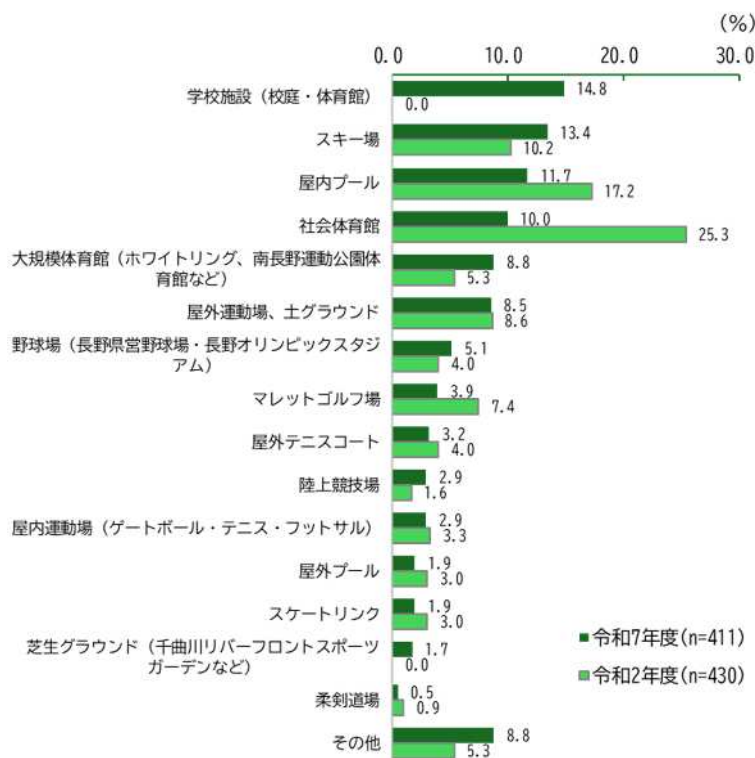


- 前回調査と比較して、大規模体育館や学校施設の利用率が増加したのに対し、社会体育館の利用が半減しています。
- 最も利用した公共スポーツ施設についても、社会体育館の利用割合が前回調査の半分以上に落ち込んでいます。

【経年比較】公共スポーツ施設の利用状況（複数回答）

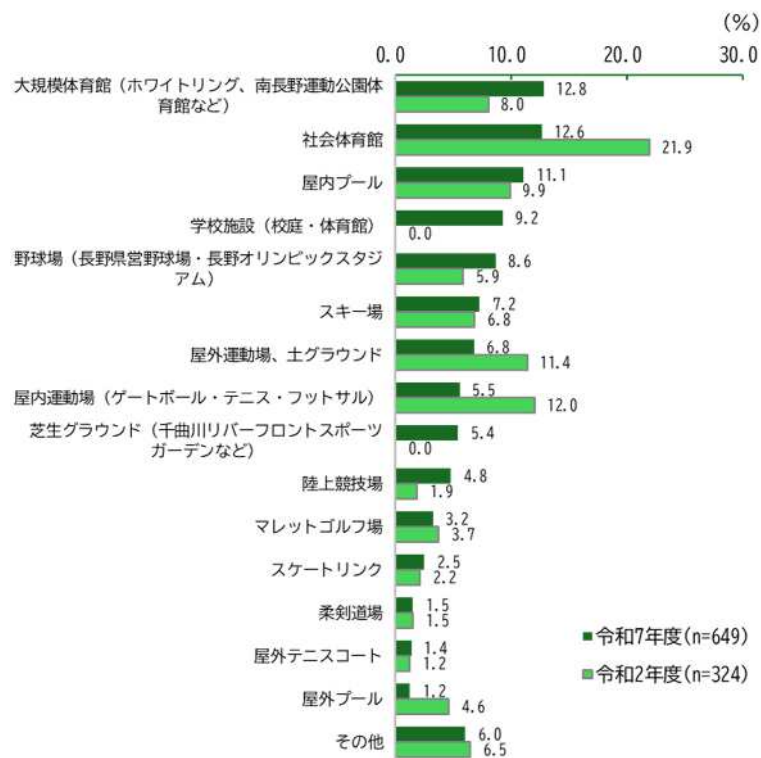


【経年比較】最も利用した公共スポーツ施設（単一回答）



- 今後充実した方がよい公共スポーツ施設を前回調査と比較すると、大規模体育館や学校施設が増加しているのに対し、**社会体育館は10ポイント近く減少**しています。

【経年比較】 今後充実した方がよい公共スポーツ施設（単一回答）

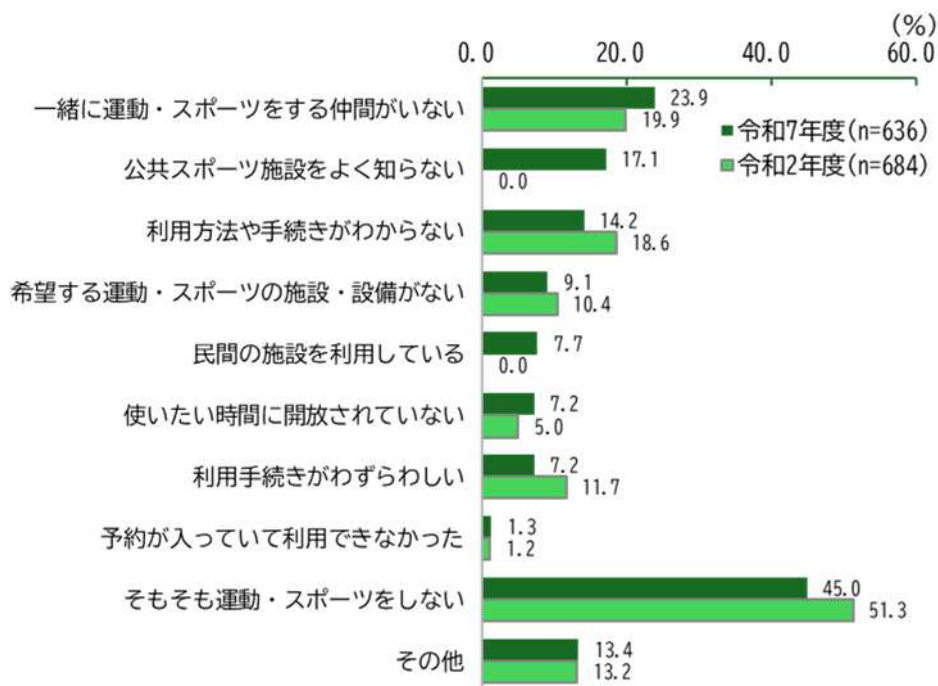


② 公共スポーツ施設を利用したことがない理由

- スポーツ施設を利用したことがない理由は、「そもそも運動・スポーツをしない」が45.0%と最も高く、次いで「一緒に運動・スポーツをする仲間がいない」が23.9%、「公共スポーツ施設をよく知らない」が17.1%、「利用方法や手続きがわからない」14.2%となっています。
- 前回調査と比較して、「仲間がいない」の割合がやや増えています。
- 性別別でみると、「仲間がいない」の割合が男性で高くなっています。

図表 43 公共スポーツ施設を利用したことがない理由（複数回答） 【経年比較】

問 39 公共スポーツ施設を利用したことがない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



【性別別】

	利用方法や手続きがわからない	一緒に運動・スポーツをする仲間がいない	希望する運動・スポーツの施設・設備がない	使いたい時間に開放されていない	利用手続きがわずらわしい	予約が入っていて利用できなかった	民間の施設を利用している	公共スポーツ施設をよく知らない	そもそも運動・スポーツをしない	その他
男性 (n=281)	15.3	28.8	7.8	8.9	6.8	1.4	7.1	18.9	40.9	14.6
女性 (n=346)	13.3	19.9	10.1	6.1	7.2	1.2	8.4	15.6	48.3	12.7

7. 市の「スポーツ振興」について

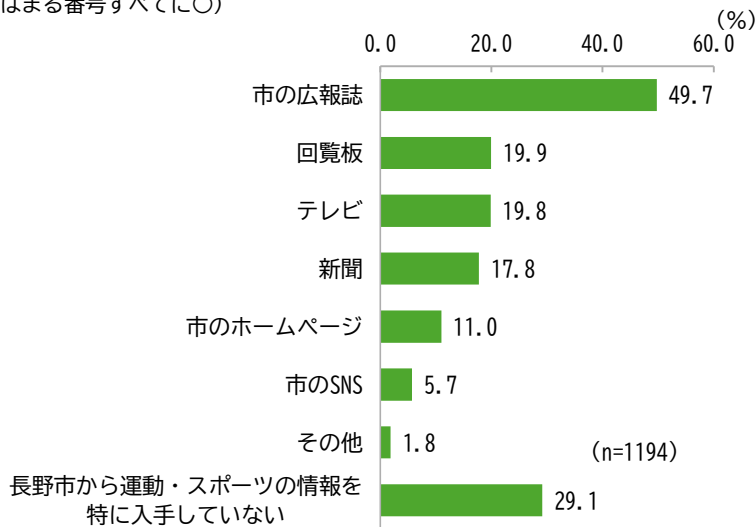
(1) 運動・スポーツ情報の入手について

① 運動・スポーツ情報の入手先

- 長野市が発信している運動・スポーツ情報の入手先は、「市の広報誌」が約5割と最も高く、次いで「回覧板」「テレビ」がそれぞれ約2割となっています。
- 層別の傾向をみると、「市の広報誌」は女性で高くなっているほか、年代が上がるほど入手している割合が高くなっています。「市のSNS」は20～30歳代でやや高くなっています。10～20歳代の若い層はそもそも長野市からは情報を入手していない人が多くみられます。

図表 44 運動・スポーツ情報の入手先（複数回答）

問 40 あなたは、長野市が発信している運動・スポーツに関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)



【性別別】

	市の広報誌	市のホームページ	新聞	テレビ	回覧板	市のSNS	その他	長野市から運動・スポーツの情報を特に入手していない
男性 (n=555)	44.3	11.7	19.1	19.5	16.9	4.7	1.4	34.2
女性 (n=621)	55.1	10.3	16.4	19.6	22.4	6.6	2.3	24.6

【年代別】

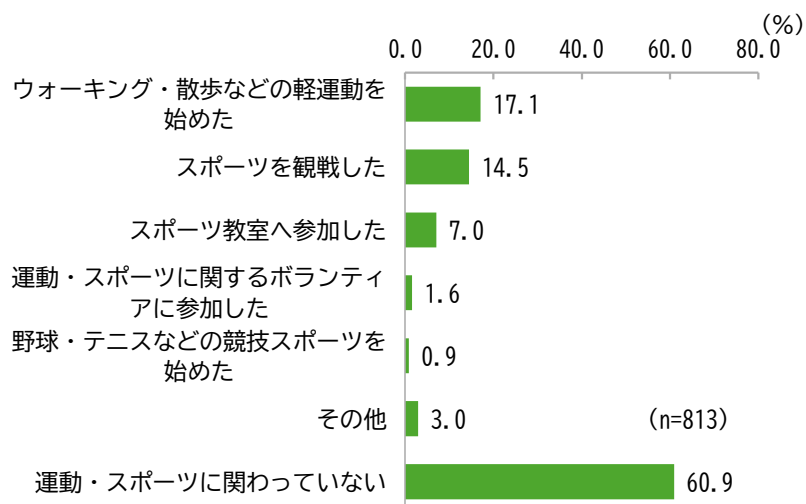
	市の広報誌	市のホームページ	新聞	テレビ	回覧板	市のSNS	その他	長野市から運動・スポーツの情報を特に入手していない
10歳代 (n=26)	11.5	3.8	15.4	15.4	3.8	3.8	0.0	69.2
20歳代 (n=92)	17.4	13.0	6.5	23.9	6.5	13.0	1.1	45.7
30歳代 (n=127)	39.4	13.4	11.8	22.0	15.7	12.6	3.1	30.7
40歳代 (n=197)	46.2	12.2	12.2	20.3	17.8	9.6	3.0	33.5
50歳代 (n=235)	49.4	13.2	22.1	22.1	17.0	6.4	1.3	30.2
60歳代 (n=252)	63.5	10.3	22.6	18.7	22.6	1.6	1.6	22.6
70歳代以上 (n=259)	60.2	7.3	20.5	15.8	29.7	0.4	1.5	20.8

② 運動・スポーツ情報をきっかけとしたスポーツとの関わり

- 運動・スポーツ情報をきっかけとしたスポーツとの関わりは、「ウォーキング・散歩などの軽運動を始めた」が17.1%と最も高く、次いで「スポーツを観戦した」が14.5%、「スポーツ教室に参加した」が7.0%となっています。
- 年代別にみると、サンプル数は少ないですが、10歳代で情報入手をきっかけに「スポーツ観戦」した人が4割強となっています。

図表 45 入手した運動・スポーツ情報をきっかけとしたスポーツとの関わり（複数回答）

問 41 入手したスポーツ情報をきっかけに何かスポーツに関わりましたか。（あてはまる番号すべてに○）



【年代別】

	ウォーキング・散歩などの軽運動を始めた	運動・スポーツに関するボランティアに参加した	野球・テニスなどの競技スポーツを始めた	スポーツ教室へ参加した	スポーツを観戦した	その他	運動・スポーツに関わっていない
10歳代 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	57.1
20歳代 (n=49)	10.2	4.1	2.0	0.0	18.4	2.0	65.3
30歳代 (n=86)	15.1	1.2	3.5	4.7	17.4	2.3	65.1
40歳代 (n=128)	9.4	2.3	0.8	5.5	14.1	2.3	68.8
50歳代 (n=162)	13.6	0.6	0.0	1.2	12.3	1.9	71.6
60歳代 (n=188)	22.9	1.6	0.5	10.1	12.8	2.7	53.7
70歳代以上 (n=189)	23.3	1.6	0.5	13.2	14.3	5.3	50.8

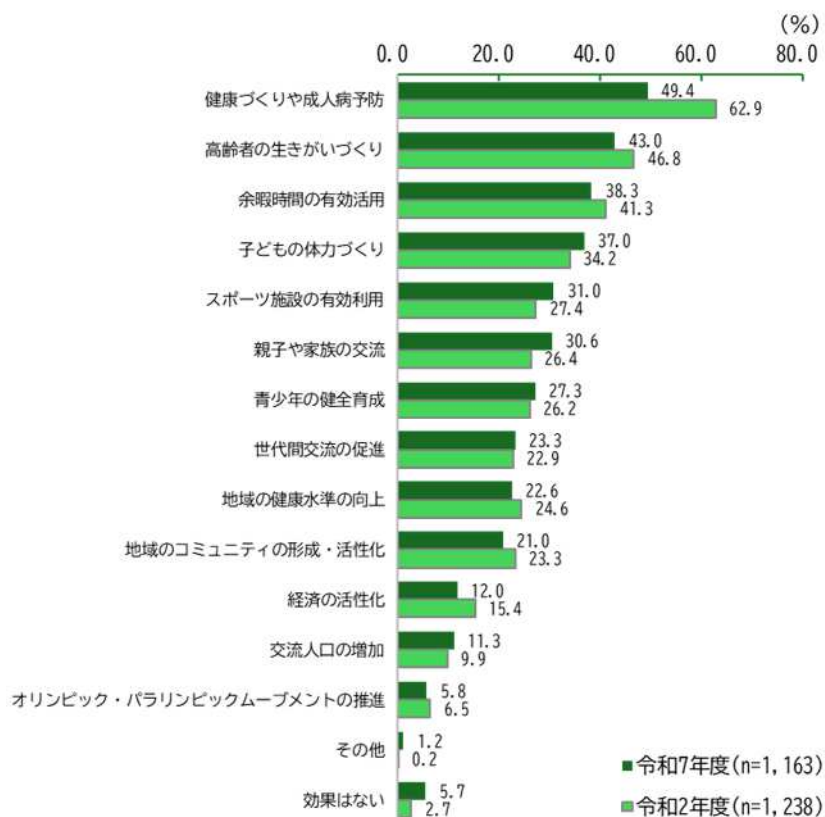
(2) 長野市のスポーツ振興の方向性について

① スポーツ振興に期待する効果

- スポーツ振興に期待する効果は、「健康づくりや成人病予防」が約5割と最も高く、次いで「高齢者の生きがいづくり」43.0%、「余暇時間の有効活用」が38.3%となっています。前回調査と比較して、上位3項目は減少していますが、「子どもの体力づくり」「スポーツ施設の有効利用」「親子や家族の交流」が増加しています。
- 性別別にみると、女性で「健康づくりや成人病予防」「高齢者の生きがいづくり」が男性より高くなっています。
- 年代別にみると子育て世代の30～40歳代で「親子や家族の交流」「子どもの体力づくり」、また、高齢層で「健康づくりや成人病予防」「高齢者の生きがいづくり」が高くなっています。

図表 46 スポーツ振興に期待する効果（複数回答） 【経年比較】

問 42 あなたは、スポーツ振興にどのような効果を期待しますか。（あてはまる番号すべてに○）



【性別別】

	親子や家族の交流	余暇時間の有効活用	世代間交流の促進	子どもの体力づくり	青少年の健全育成	高齢者の生きがいづくり	健康づくりや成人病予防	経済の活性化	交流人口の増加	スポーツ施設の有効利用	地域の健康水準の向上	地域のコミュニティの形成・活性化	オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進	その他	効果はない
男性 (n=539)	33.2	37.1	22.6	35.3	29.1	35.1	44.5	16.9	14.5	30.8	22.3	23.0	7.1	1.9	6.9
女性 (n=607)	28.0	39.5	23.7	38.4	25.7	49.8	53.5	7.6	8.4	31.1	23.2	19.6	4.9	0.7	4.4

【年代別】

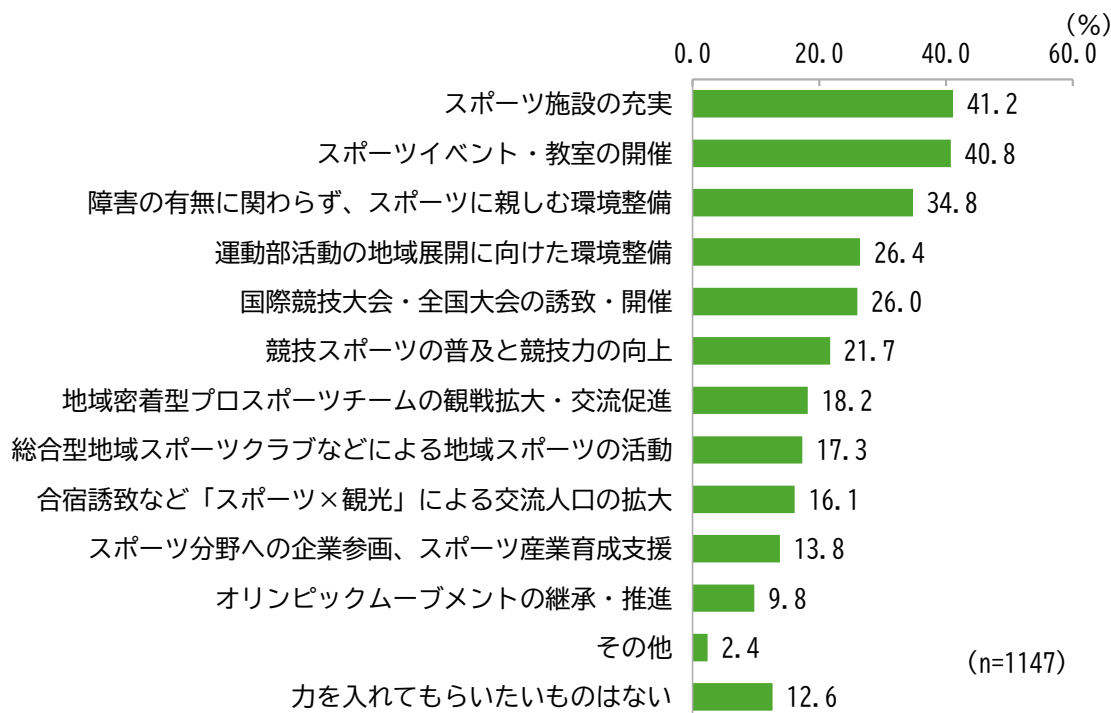
	親子や家族の交流	余暇時間の有効活用	世代間交流の促進	子どもの体力づくり	青少年の健全育成	高齢者の生きがいづくり	健康づくりや成人病予防	経済の活性化	交流人口の増加	スポーツ施設の有効利用	地域の健康水準の向上	地域のコミュニティの形成・活性化	オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進	その他	効果はない
10歳代 (n=26)	19.2	34.6	23.1	30.8	34.6	23.1	30.8	30.8	30.8	38.5	23.1	34.6	7.7	3.8	7.7
20歳代 (n=90)	36.7	38.9	15.6	33.3	20.0	24.4	36.7	8.9	11.1	25.6	16.7	17.8	4.4	1.1	13.3
30歳代 (n=124)	46.8	41.9	19.4	55.6	28.2	25.0	39.5	12.9	10.5	36.3	17.7	16.9	4.8	0.8	4.8
40歳代 (n=196)	48.5	35.7	19.4	49.0	26.5	25.5	37.8	11.7	9.7	27.0	17.9	16.3	4.1	0.5	9.7
50歳代 (n=231)	31.2	36.8	25.5	37.7	31.6	39.4	49.8	16.5	11.3	38.1	22.9	26.4	8.2	2.2	5.6
60歳代 (n=244)	19.3	39.3	23.0	29.5	27.0	57.8	59.0	9.4	7.0	28.7	25.0	19.7	7.0	1.2	2.5
70歳代以上 (n=246)	17.5	39.0	29.3	26.8	25.2	63.4	60.2	8.9	14.6	27.6	28.9	23.2	4.9	0.8	3.3

② スポーツ振興に向けて力を入れるべきこと

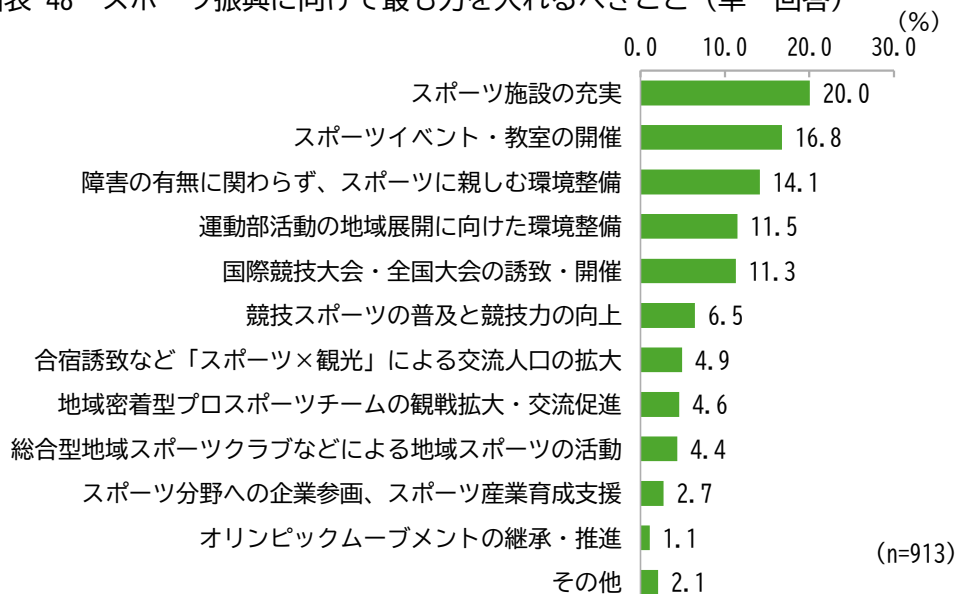
- スポーツ振興に向けて今後力を入れるべきことは、「スポーツ施設の充実」「スポーツイベント・教室の開催」がそれぞれ約4割、次いで「障害の有無に関わらず、スポーツに親しむ環境整備」が34.8%となっています。
- スポーツ振興に向けて最も力を入れるべきことにおいても、「スポーツ施設の充実」「スポーツイベント・教室の開催」「障害の有無に関わらず、スポーツに親しむ環境整備」の割合が高くなっています（それぞれ20.0%、16.8%、14.1%）。

図表 47 スポーツ振興に向けて力を入れるべきこと（複数回答）

問 43 長野市のさらなるスポーツ振興のために、①今後力を入れてほしいと思うこと、②最も力を入れてほしいと思うことをお答えください。（①はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○）



図表 48 スポーツ振興に向けて最も力を入れるべきこと（単一回答）



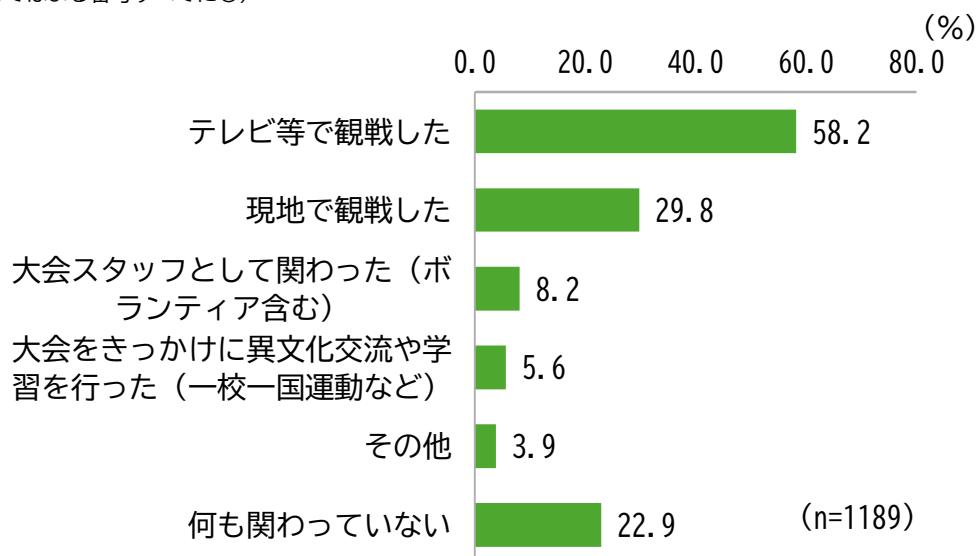
(3) オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくり

① オリンピック・パラリンピックが開催されたことについて

- 1998 年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会に、当時どのように関わったかは、「テレビで観戦した」が約6割と最も高く、次いで「現地で観戦した」が約3割となっています。
- オリンピックが長野市で開催されたことを良かったと思うかは、「とても良かったと思う／良かったと思う」が **85.5%**となっています。年代別にみると、若い層では「わからない」の割合が高く、オリンピック開催の良さの実感は薄いと考えられます。

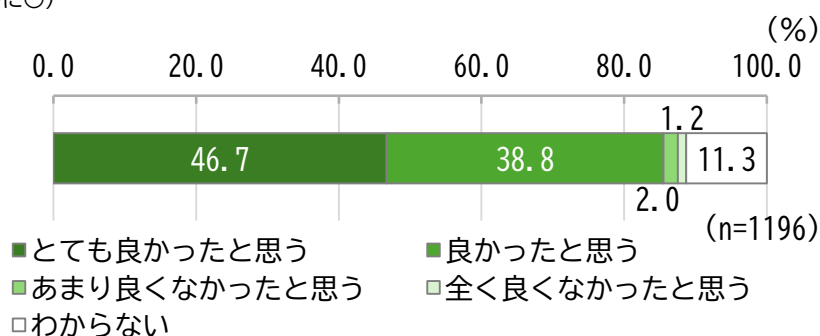
図表 49 1998 年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会に、当時どのように関わったか
(複数回答)

問 35 あなたは、1998 年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会に、当時どのように関わりましたか。
(あてはまる番号すべてに○)



図表 50 オリンピックが長野市で開催されたことを良かったと思うか (単一回答)

問 36 あなたは、1998 年にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会が長野市で開催されたことを、良かったと思いますか。
(あてはまる番号ひとつに○)



【年代別】

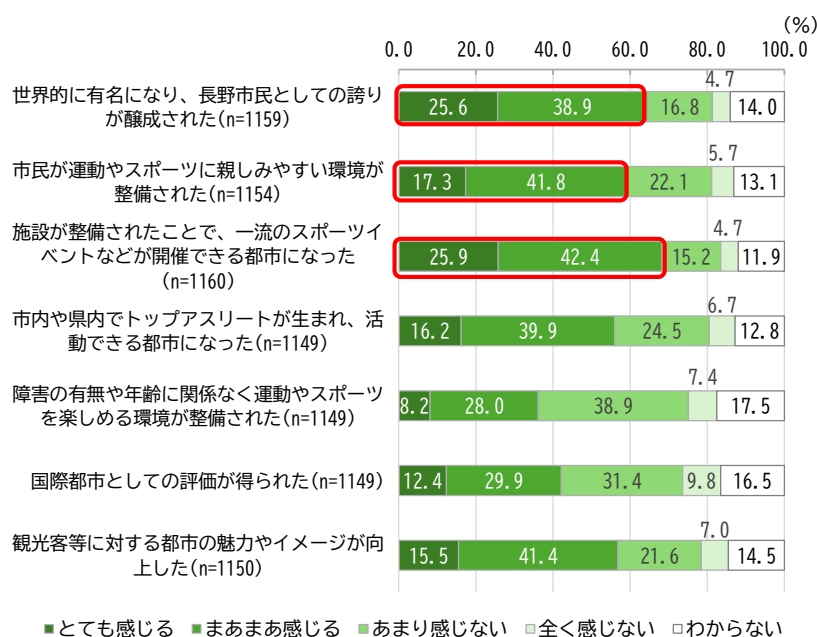
	とても良かったと思う	良かったと思う	あまり良くなかったと思う	全く良くなかったと思う	わからない
10歳代 (n=26)	11.5	34.6	0.0	0.0	53.8
20歳代 (n=92)	31.5	32.6	0.0	0.0	35.9
30歳代 (n=126)	36.5	42.1	0.8	1.6	19.0
40歳代 (n=197)	54.8	33.0	0.0	1.5	10.7
50歳代 (n=236)	48.3	44.9	3.0	1.3	2.5
60歳代 (n=252)	52.4	35.7	4.4	1.2	6.3
70歳代以上 (n=261)	47.5	41.4	1.9	1.1	8.0

② オリンピック・パラリンピック開催による社会的価値の醸成等

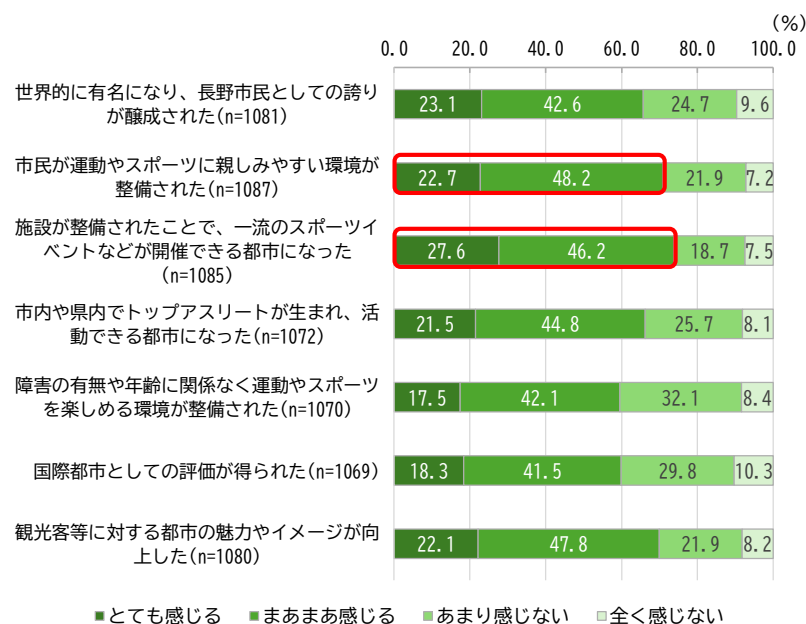
- 「とても感じる／まあまあ感じる」は、「施設が整備されたことで、一流のスポーツイベントなどが開催できる都市になった」が約7割と最も高く、次いで「世界的に有名になり、長野市民としての誇りが醸成された」が64.5%、「市民が運動やスポーツに親しみやすい環境が整備された」が59.1%となっています。
- こうした社会的価値が今後のまちづくりに重要だと感じるかについては、「とても感じる／まあまあ感じる」は、いずれも約6～7割となっています。中でも「施設が整備されたことで、一流のスポーツイベントなどが開催できる都市になった」「市民が運動やスポーツに親しみやすい環境が整備された」は7割以上と高くなっています。

図表 51 オリンピック・パラリンピック開催により社会的価値が育まれたと感じるか（単一回答）

問 37 ①あなたは、オリンピック・パラリンピック開催により、長野市において、以下の社会的価値が育まれたと感じますか。
②あなたは、これらの価値が、今後の長野市のまちづくりに重要だと感じますか。（あてはまる番号ひとつに〇）



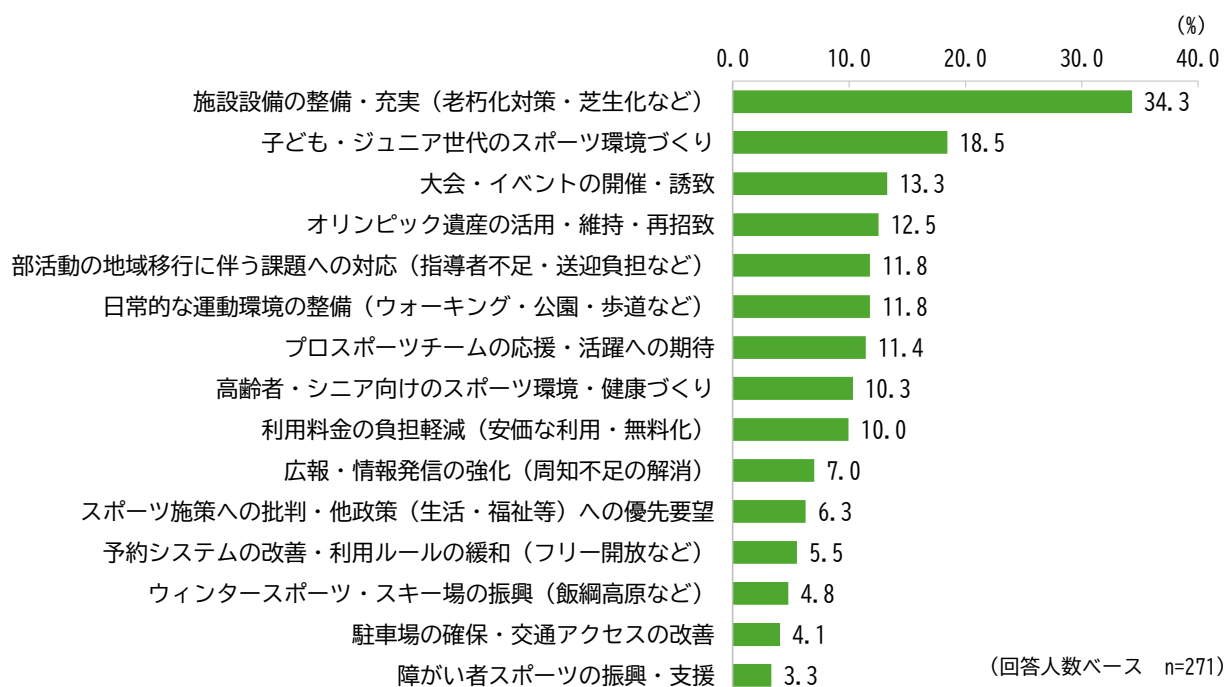
図表 52 上記の社会的価値が今後のまちづくりに重要だと感じるか（単一回答）



(4) 長野市のスポーツ振興に関する自由意見

- 長野市のスポーツ振興に関して日頃感じていることやご意見の自由記述を分類し、集計しました。図表 53 は、回答人数 271 件に対する、意見の数の割合を示しています。
- 最も多い意見は「施設整備の整備・充実」を望む声で 34.3%となっており、突出して多くなっています。

図表 53 長野市のスポーツ振興について、日頃感じていること、ご意見等（自由記述）



図表 54 各カテゴリーの主な意見と傾向

カテゴリー	件数	主な意見
施設設備の整備・充実 （老朽化対策・芝生化など）	93	「長野オリンピック施設の老朽化が進んでいるため改修してほしい」「小中学校のグラウンドの人工芝化や、屋内プールの整備をしてほしい」「トイレや備品などの細かい修繕が行き届いていない」といった、 <u>既存施設の維持管理から新たな設備の拡充まで、ハード面に関する幅広い要望が最も多く寄せられています。</u>
子ども・ジュニア世代の スポーツ環境づくり	50	「若い子どもが天候を問わず思いきり体を動かせる室内施設（無料）がほしい」「ジュニアの育成に資金を投入してほしい」など、次世代を担う <u>子どもたちがスポーツに触れる機会や、保護者が安心して遊ばせられる環境づくりを求める声</u> が多くみられます。
大会・イベントの開催・ 誘致	36	「トップレベルの国際大会や全国大会を長野市に誘致してほしい」「市民や子どもが気軽に参加できるスポーツフェスティバルやマラソン大会を開催してほしい」など、 <u>観るスポーツと参加するスポーツ、双方のイベント充実を期待する意見</u> がみられます。
オリンピック遺産の活用・ 維持・再招致	34	「せっかくの立派な施設（エムウェーブやスパイラルなど）をもっと有効活用すべき」「もう一度長野にオリンピックを招致してほしい」という期待の声の一方で、 <u>「維持費がかかり負の遺産になっているため見直すべき」といった遺産のあり方に対するシビアな言及も</u> 含まれています。

カテゴリー	件数	主な意見
部活動の地域移行に伴う課題への対応（指導者不足・送迎負担など）	32	「共働きで他地域への <u>送迎負担が大きい</u> 」「クラブへの <u>参加費用が家庭の負担</u> になる」「 <u>スポーツを始める入口が狭くなってしまった</u> 」など、中学校の部活動地域移行に対する保護者の強い懸念や、 <u>優秀な指導者の確保を求める声</u> が寄せられています。
日常的な運動環境の整備（ウォーキング・公園・歩道など）	32	「安全にウォーキングやランニングができる歩道・コースの整備」「公園に大人や高齢者向けの健康遊具を設置してほしい」といった、本格的な競技スポーツではなく、 <u>日常生活の中で気軽に体を動かせるインフラ整備を求める意見</u> が多くみられます。
プロスポーツチームへの応援・活躍への期待	31	「信州ブレイブウォリアーズや AC 長野パルセイロが強くなって街を盛り上げてほしい」「子どもたちの憧れになるようなトップチームになってほしい」という、 <u>地元プロチームの活躍への期待や、市民との交流を望む</u> 応援の声がみられます。
高齢者・シニア向けのスポーツ環境・健康づくり	28	「高齢者が気軽に集まれるリズム体操やヨガなどの教室を増やしてほしい」「医療費削減や健康寿命を延ばすための施策に力を入れてほしい」といった、 <u>シニア層の生きがいづくりやフレイル予防を目的としたスポーツの要望</u> がみられます。
公共スポーツ施設の利用料金の負担軽減（安価な利用・無料化）	27	「体育館やプールの <u>利用料を安く</u> してほしい」「 <u>シニア向けの定期券や市民割引を導入</u> してほしい」「 <u>若者のウィンタースポーツにかかる費用を補助</u> してほしい」など、スポーツへ参加する際の金銭的なハードルを下げることを求める意見がみられます。
広報・情報発信の強化（周知不足の解消）	19	「市がどのようなスポーツ振興をしているのか分からない」「初心者や子どもが参加できるイベントの情報を、広報誌や WEB でもっと早く分かりやすく発信してほしい」といった、 <u>情報へのアクセスの悪さや広報不足の解消を求める声</u> がみられます。
スポーツ施策への批判・他政策（生活・福祉等）への優先要望	17	「結果が出ていないプロスポーツや特定競技の施設にばかり税金を投入するのは疑問」「スポーツ振興よりも、物価高対策、生活インフラ、福祉、子育て支援を優先すべき」という、 <u>市政の予算配分や施策の優先順位に対する厳しい指摘</u> がみられます。
公共スポーツ施設予約システムの改善・利用ルールの緩和（フリー開放など）	15	「 <u>施設の予約システムが使いづらく、抽選に当たらない</u> 」「 <u>事前の予約なしでフリーで利用できる体育館や時間帯を設けてほしい</u> 」といった、日常的に施設を利用する市民目線での利便性向上を求める意見です。
ウィンタースポーツ・スキー場の振興（飯綱高原など）	13	「閉鎖された <u>飯綱高原スキー場を再開・活用してほしい</u> 」「子どもたちにウィンタースポーツの素晴らしさを知ってほしい」など、長野市の特色であり、 <u>冬季オリンピックのルーツでもある冬のスポーツ環境の維持・復活を望む声</u> がみられます。
公共スポーツ施設駐車場の確保・交通アクセスの改善	11	「大会やプロスポーツ開催時の <u>駐車場不足や周辺の道路渋滞をどうにかしてほしい</u> 」「車を持たない高齢者や子どもでも施設にアクセスできるように、 <u>交通手段を確保してほしい</u> 」といった、周辺インフラや交通アクセスに関する要望です。
障害者スポーツの振興・支援	9	「 <u>重度の障がい者（自閉症など）でも周囲を気にせず安心して体を動かせる場所や企画</u> を作してほしい」「 <u>パラリンピック関連の取り組み</u> を市でも行ってほしい」など、障害の有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブな環境を求める切実な意見です。

IV. 資料編

アンケート調査票

長野市 スポーツに関するアンケート

日頃より長野市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

長野市では、スポーツを軸としたまちづくりを推進するため、令和4年4月に本市が取り組むべき施策をまとめた「第三次長野市スポーツ推進計画」を策定しました。現在、計画の達成に向けて、様々な事業を推進しています。

この計画は5年ごとに見直しを行い、内容の充実を図ることとしています。現在、令和9年度から令和13年度の5か年を計画期間とする次期計画策定の準備を進めているところです。

次期計画の策定にあたって、地域の実情を施策に反映していくために、市民の皆様の実情や、ご意見・ご要望などをお聞きするアンケート調査を行うことといたしました。本調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に抽出した3,000人の方にご協力いただいております。

なお、調査は無記名でご回答いただき、お答えいただいた内容についても、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和8年1月
長野市長 荻原 健司

【回答にあたってのお願い】

- 1 この調査は、令和8年1月1日の状況でお答えください。
- 2 回答は、このアンケートが入っていた封筒の宛名の方が回答してください。
宛名のご本人様が回答することが難しい場合は、ご家族がご本人様の意見を聞いたうえで回答いただいてもかまいません。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻れることを前提にご回答ください。
- 3 回答は、下のQRコードから「ながの電子申請サービス（長野市）」によりご回答いただくか、このアンケートに必要事項を直接ご記入のうえ郵送してください。
その他を選択された場合は、具体的な内容をご回答ください。
また、数字などをご回答いただく設問もございます。
一部の方にお答えいただく設問もありますので、当てはまる方のみご回答ください。
- 4 すべての回答が終わりましたら、郵送の方はこのアンケートを同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

締切：1月30日（金） ※郵送は消印有効

（電子申請の方）
回答はこちらから↓



お問い合わせ先：長野市スポーツ部スポーツ課
電話：026-224-7804（直通）
お問い合わせ時間：平日8時30分～17時15分

A あなたについて

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

問2 あなたの令和8年1月1日現在の年齢をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代以上 | |

問3 あなたがお住まいになっている地区をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | | | |
|---------|--------|----------------------------------|--------|--------|
| 1 第一 | 2 第二 | 3 第三 | 4 第四 | 5 第五 |
| 6 芹田 | 7 古牧 | 8 三輪 | 9 吉田 | 10 古里 |
| 11 柳原 | 12 浅川 | 13 大豆島 | 14 朝陽 | 15 若槻 |
| 16 長沼 | 17 安茂里 | 18 小田切 | 19 芋井 | 20 篠ノ井 |
| 21 川中島 | 22 更北 | 23 松代 | 24 若穂 | 25 七二会 |
| 26 信更 | 27 豊野 | 28 戸隠 | 29 鬼無里 | 30 大岡 |
| 31 信州新町 | 32 中条 | 33 地区名がわからない場合は住所をお書きください
() | | |

問4 あなたの主な就業・就学状況をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1 勤め人 | 2 会社役員・団体職員 | 3 パート・アルバイト |
| 4 自営業・農業 | 5 専業主婦(夫) | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他() | |

問5 あなたと同居している方をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------------|---------|--------|
| 1 配偶者・パートナー | 2 親 | 3 子ども |
| 4 祖父母 | 5 兄弟姉妹 | 6 孫・ひ孫 |
| 7 その他() | 8 一人暮らし | |

問6 あなたが趣味や自分の楽しみのために使える時間は、1日当たりどれくらいですか。

- | |
|---|
| 1日当たり、およそ()分 |
| 例：1日当たり、およそ(60)分 ※「60～90分」などではなく、時間を整数でお答えください。 |

問7 あなたは、自分を健康だと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 健康だと思う | 2 どちらかといえば、健康だと思う |
| 3 どちらかといえば、健康でないと思う | 4 健康でないと思う |
| 5 わからない | |

問8 あなたは、日頃運動不足を感じていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1 大いに感じる | 2 ある程度感じる | 3 あまり感じない |
| 4 全く感じない | 5 わからない | |

B スポーツの実施状況について

B-1 スポーツの実施状況について

問9 あなたは、運動やスポーツをするのが好きですか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 好きだ | 2 どちらかといえば好きだ |
| 3 どちらかといえば好きでない | 4 好きではない |
| 5 どちらともいえない | |

問10 あなたは、どのような形で運動・スポーツをしたい、携わりたいですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 趣味として楽しむ範囲で、個人的に運動・スポーツをしたい |
| 2 親子や家族で運動・スポーツをしたい |
| 3 仲間と一緒に運動・スポーツをしたい |
| 4 初心者や体を動かすことが苦手な人と一緒に運動・スポーツをしたい |
| 5 選手として技術を向上させ、大会などへの出場を目指したい |
| 6 部活やスポーツ教室の指導者、プロの指導者をサポートしたい |
| 7 競技者を育てる指導者として携わりたい |
| 8 その他 () |
| 9 運動・スポーツをしたくない、携わりたくない |

問11 あなたは、日頃運動・スポーツをする習慣がありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 日頃、運動・スポーツをする習慣がある | 2 月に何回か運動・スポーツをする習慣がある |
| 3 ごく稀に運動・スポーツをするが、習慣はない | 4 全く運動・スポーツをしない |

-----▶ 3~4 を選んだ方は問 14 へ進んでください。

問12,13 は、問11 で1~2を選んだ方へお聞きします。

問12 主にいつ頃、あなたはその運動・スポーツをしますか。

①平日 (あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1 早朝 (9:00より前) | 2 午前 (9:00~12:00頃) | 3 昼間 (12:00~15:00頃) |
| 4 夕方 (15:00~18:00頃) | 5 夜間 (18:00~21:00頃) | 6 深夜 (21:00より後) |
| 7 平日は取り組まない | 8 その他 () | |

②休日 (あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1 早朝 (9:00より前) | 2 午前 (9:00~12:00頃) | 3 昼間 (12:00~15:00頃) |
| 4 夕方 (15:00~18:00頃) | 5 夜間 (18:00~21:00頃) | 6 深夜 (21:00より後) |
| 7 休日は取り組まない | 8 その他 () | |

問13 あなたが①運動・スポーツをする場所、②最も多く運動・スポーツをする場所をお答えください。
 (①はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○)

	①運動・スポーツ をする場所	②最も多く運動・ スポーツをする場所
	あてはまる 番号すべてに○	ひとつに○
回答例	①	①
1 公共体育・スポーツ施設	1	1
2 学校体育施設	2	2
3 民間商業インドア施設（フィットネスクラブ、ジム等）	3	3
4 民間商業アウトドア施設 （レジャープール、スキー場、ゴルフ場等）	4	4
5 自宅または自宅敷地内	5	5
6 職場または職場敷地内	6	6
7 公園	7	7
8 公民館	8	8
9 道路	9	9
10 山岳・森林・海・湖・川等の自然環境	10	10
11 その他（ ）	11	11

問14 は、問11で3～4を選んだ方へお聞きします。

問14 日頃、運動・スポーツをしないのはどのような理由からですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

1 運動・スポーツをする時間がないから	2 体力に自信がないから
3 怪我をする恐れがあるから	4 健康上の理由から
5 一緒にする仲間がないから	6 お金などのコストがかかるから
7 場所や施設がないから	8 どんな運動をして良いかわからないから
9 する必要性を感じないから	10 運動・スポーツに嫌な思い出があるから
11 その他（ ）	12 特に理由はない

B-2 この1年間に実施したスポーツについて

問15 この1年間に、あなたが①取り組んだ、②最も熱心に取り組んだ、また③今後も、または新たに
取り組みたい、運動・スポーツをお答えください。

(①③はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○)

ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったもの、運動目的でないもの(徒
歩や自転車での通勤や買物など)は除きます。

	1年間に		③今後も、または 新たに取り組み たい
	①取り組んだ	②最も熱心 に取り組んだ	
	あてはまる 番号すべてに○	ひとつに○	あてはまる 番号すべてに○
1 ウォーキング	1	1	1
2 ジョギング・ランニング	2	2	2
3 体操(ラジオ体操、エクササイズ等)	3	3	3
4 ダンススポーツ	4	4	4
5 トレーニング ※室内運動器具を使う運動を含む	5	5	5
6 水泳(水中歩行、水中運動等を含む)	6	6	6
7 エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	7	7	7
8 ボウリング	8	8	8
9 ゴルフ	9	9	9
10 マレットゴルフ・グラウンドゴルフ	10	10	10
11 野球・ソフトボール	11	11	11
12 サッカー	12	12	12
13 フットサル	13	13	13
14 バスケットボール	14	14	14
15 バレーボール・ソフトバレーボール	15	15	15
16 テニス・ソフトテニス	16	16	16
17 バドミントン	17	17	17
18 卓球	18	18	18
19 サイクリング(自転車)	19	19	19
20 スケートボード	20	20	20
21 スキー、スノーボード	21	21	21
22 スケート	22	22	22
23 武道(柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など)	23	23	23
24 その他()	24	24	24
25 取り組んだものはない/取り組みたいものはない	25		25

問 16,17 は、問 15「①取り組んだ運動・スポーツ」で 1～24 を選んだ方へお聞きします。

問 16 この 1 年間にあなたがその運動・スポーツに取り組んだ日数は、合計でおおよそ何日になりますか。
(あてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 週に5日以上(年251日以上) | 2 週に3日以上(年151～250日) |
| 3 週に2日以上(年101～150日) | 4 週に1日以上(年51～100日) |
| 5 月に1～3日(年12～50日) | 6 3カ月に1～2日(年4～11日) |
| 7 年に1～3日 | 8 わからない |

問 17 あなたがその運動・スポーツに取り組んだのは、どのような理由からですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 健康のため | 2 体力増進・維持のため |
| 3 筋力増進・維持のため | 4 楽しみ、気晴らしとして |
| 5 運動不足解消のため | 6 ダイエットのため |
| 7 精神の修養や訓練のため | 8 自己の記録や能力を向上させるため |
| 9 家族のふれあいとして | 10 友人・仲間との交流として |
| 11 美容のため | 12 その他() |
| 13 特に理由はない | |

問 18,19 は、問 15「②最も熱心に取り組んだ運動・スポーツ」で 1～24 を選んだ方へお聞きします。

問 18 その運動・スポーツに取り組んでいる継続年数をお答えください。

- | |
|---|
| おおよそ()年 |
| 例：おおよそ(5)年 ※「5～6年」などではなく、年数を整数でお答えください。 |

問 19 その運動・スポーツを始めたきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 学校体育(部活等)の延長 |
| 2 友人や家族等から勧め |
| 3 医師等からの勧め、健康診断の結果、体力の衰え |
| 4 テレビや雑誌、SNS等でその運動・スポーツを知り、興味を持った |
| 5 競技場等でそのスポーツを観戦し、興味を持った |
| 6 テレビ等でそのスポーツを観戦し、興味を持った |
| 7 地域のスポーツ教室に参加して興味を持った |
| 8 地域のプロスポーツチーム等が実施するイベントに参加して興味を持った |
| 9 その他() |
| 10 特に理由はない |

C 総合型地域スポーツクラブについて

問20 あなたは、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|---------------|--------------|--------|
| 1 言葉も内容も知っている | 2 言葉だけは知っている | 3 知らない |
|---------------|--------------|--------|

『総合型地域スポーツクラブ』とは、

生涯スポーツの推進を目的に、多種目、多世代、多志向、3つの多様性に重点を置いて活動しているスポーツクラブのことです。市民を対象に、スポーツ教室や、イベント活動などを行っています。

長野市では、6つのクラブが活動しています。

(特非) 長野スポーツコミュニティクラブ東北・(一社) ゆたかのスポーツクラブ

(一社) ながの北部スポーツクラブ・塩崎スポーツクラブ・(一社) E-NAGANO スポーツクラブ

(一社) 長野スポーツアカデミー

問21 は、問20で1～2を選んだ方へお聞きします。

問21 総合型地域スポーツクラブが実施している以下の活動のうち、知っているものをお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

1 定期的なスポーツ教室	2 高齢者向けの運動プログラム
3 親子向けのスポーツプログラム	4 障害者スポーツプログラム
5 地域とのスポーツ交流イベント	6 指導者の育成
7 学校部活の地域展開支援	8 どんな活動をしているか知らない

問22,23 は、全ての方へお聞きします。

問22 あなたは、総合型地域スポーツクラブに参加したいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1 参加している	2 今は参加していないが、 今後参加したいと思う	3 参加したいと思わない
----------	-----------------------------	--------------

問23 総合型地域スポーツクラブを支える以下の活動のうち、参加したいと思う活動をお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

1 運営ボランティアスタッフ	2 指導者としての協力
3 イベント等のサポート	4 寄付など金銭的支援
5 イベント等への参加	6 活動の周知への協力
7 その他()	8 特に協力したい活動はない

D 障害者スポーツについて

問24 あなたは障害者スポーツに関わったことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 障害者スポーツを行ったことがある | 2 障害者スポーツを体験したことがある |
| 3 障害者スポーツを観戦したことがある | 4 障害者スポーツを支える活動を行ったことがある |
| 5 関わったことはない | |

問25 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境を作るために、長野市として、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 障害者スポーツの指導員の養成 |
| 2 障害の有無に関わらず参加できるスポーツイベントや教室などの実施、PR |
| 3 障害者スポーツを支援するボランティア活動への参加の促進 |
| 4 障害者スポーツについての理解促進・PR |
| 5 障害者施設・団体との連携、支援 |
| 6 多様性を尊重した教育の促進 |
| 7 施設のバリアフリー化 |
| 8 スポーツ施設等の利用料の減免 |
| 9 その他 () |
| 10 わからない |

問26 障害の有無に関わらず誰もがスポーツ参加しやすい環境を作るために、あなた自身ができる取り組みは何だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1 多様な人が参加するスポーツイベントや教室などへの参加 |
| 2 障害者スポーツの体験会、講演会への参加 |
| 3 障害者スポーツを支援するボランティア活動への参加 |
| 4 障害者スポーツや多様性に関する情報収集、学習 |
| 5 その他 () |
| 6 特にない |
| 7 わからない |

E スポーツを支える活動状況について

- 問27 ①この1年間に、あなたは運動・スポーツに関する以下のボランティア活動を行いましたか。
 ②今後、あなたは運動・スポーツに関する以下のボランティア活動を行いたいと思いますか。
 (あてはまる番号ひとつに○)

	①1年間		②今後			
	行った	行っていない	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたいとは思わない	全く行いたいとは思わない
	(ひとつに○)	(ひとつに○)	(ひとつに○)	(ひとつに○)	(ひとつに○)	(ひとつに○)
1 運動・スポーツの指導、審判	1	2	1	2	3	4
2 スポーツクラブ・団体の運営やそのサポート(※)	1	2	1	2	3	4
3 スポーツ施設の管理・運営やそのサポート	1	2	1	2	3	4
4 大会・イベントの運営やそのサポート	1	2	1	2	3	4
5 その他()	1	2	1	2	3	4

※練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、指導や審判の補助、役員や会計係、ウェブサイトやチラシの作成等

- 問28 あなたが運動・スポーツに関するボランティア活動を行ううえで必要だと思うことをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1 活動日時が自分の都合に合わせられる	2 参加頻度を選べる(毎回必須ではない)
3 一緒に取り組む仲間がいる	4 初心者向けの講習がある
5 場所が自宅や職場から近い	6 相談窓口がある
7 ボランティアの内容に関する情報が手に入りやすい	8 事故やケガへの対策が整っている
9 費用がかからない	10 その他()
11 環境が整ってもしない、できない	12 わからない

F スポーツの観戦状況について

問29 この1年間に、あなたが①観戦したスポーツ、②最も熱心に観戦したスポーツをお答えください。
観戦方法は問いませんが、ニュースなどで短時間だけ見たものは除きます。
(①はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○)

	1年間に	
	①観戦した	②最も熱心に観戦した
	あてはまる番号すべてに○	ひとつに○
1 野球	1	1
2 サッカー	2	2
3 フットサル	3	3
4 バスケットボール	4	4
5 バレーボール	5	5
6 ラグビー	6	6
7 テニス	7	7
8 武道（柔道・剣道・空手道・弓道・相撲など）	8	8
9 ゴルフ	9	9
10 マラソン・駅伝	10	10
11 フィギュアスケート	11	11
12 スピードスケート	12	12
13 その他（ ）	13	13
14 （熱心に）観戦しなかった	14	14

問30 これまでのスポーツ観戦を通じて、あなた自身に以下のような変化はありましたか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 観戦したスポーツが好きになり、より観戦するようになった
2 観戦したスポーツが好きになり、自分も取り組むようになった
3 観戦したスポーツ以外にも、様々な運動・スポーツに興味を持ち、観戦するようになった
4 観戦したスポーツ以外にも、様々な運動・スポーツに興味を持ち、取り組むようになった
5 運動・スポーツに関わるボランティアをするようになった
6 人とのつながりが増えた
7 家族や友人に、そのスポーツの観戦を勧めたり、一緒に取り組んだりした
8 スポーツ観戦が趣味になり、日々の活力が生まれた
9 健康や体力づくりへの意識が高まった
10 その他（ ）
11 特に何も変化していない

G 長野市の地域密着型プロスポーツチームについて

問31 あなたは、長野市にある以下のプロスポーツチームについて愛着を感じますか。

①AC長野パルセイロ (あてはまる番号ひとつに○)	1 とても感じる 3 あまり感じない	2 まあまあ感じる 4 全く感じない、知らない
②AC長野パルセイロ・レディース (あてはまる番号ひとつに○)	1 とても感じる 3 あまり感じない	2 まあまあ感じる 4 全く感じない、知らない
③ポアールス長野フットサルクラブ (あてはまる番号ひとつに○)	1 とても感じる 3 あまり感じない	2 まあまあ感じる 4 全く感じない、知らない
④信州ブレイブウォリアーズ (あてはまる番号ひとつに○)	1 とても感じる 3 あまり感じない	2 まあまあ感じる 4 全く感じない、知らない

問32 あなたは、上記の地域密着型プロスポーツチームが活躍することで、地域への誇りや愛着が高まりますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1 とても高まる	2 ある程度高まる	3 あまり高まらない
4 全く高まらない	5 わからない	

問33 あなたは、上記の地域密着型プロスポーツチームと連携した地域づくりについて、どのようにお考えですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1 とても期待が持てる	2 ある程度期待が持てる	3 あまり期待が持てない
4 全く期待が持てない	5 わからない	

問34 あなたが地域密着型プロスポーツチームと連携を進めるべきだと思う活動をお答えください。
(当てはまる番号すべてに○)

1 運動・スポーツ機会の増加	2 障害者スポーツの推進
3 選手や指導者による学校訪問や、子ども向けスポーツ教室の実施など、学校との連携	4 健康づくり教室などによる健康促進
5 高齢者が参加できるスポーツプログラムの提供など高齢者福祉の推進	6 地域食材を用いたオリジナルメニューの開発、PR
7 防災・安全啓発	8 地域の広報活動
9 次代のアスリートの発掘・育成	10 スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大
11 その他 ()	12 特になし

H オリンピック開催都市であることについて

問35 あなたは、1998年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会に、当時どのように関わりましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1 現地で観戦した	2 テレビ等で観戦した
3 大会スタッフとして関わった（ボランティア含む）	4 大会をきっかけに異文化交流や学習を行った（一校一国運動など）
5 その他（ ）	6 何も関わっていない

問36 あなたは、1998年にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会が長野市で開催されたことを、良かったと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1 とても良かったと思う	2 良かったと思う
3 あまり良くなかったと思う	4 全く良くなかったと思う
5 わからない	

問37 ①あなたは、オリンピック・パラリンピック開催により、長野市において、以下の社会的価値が育まれたと感じますか。

②あなたは、これらの価値が、今後の長野市のまちづくりに重要だと感じますか。

（あてはまる番号ひとつに○）

	A 育まれた					B 重要である			
	とても感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	とても感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	全く感じない
	(ひとつに○)					(ひとつに○)			
1 世界的に有名になり、長野市民としての誇りが醸成された	1	2	3	4	5	1	2	3	4
2 市民が運動やスポーツに親しみやすい環境が整備された	1	2	3	4	5	1	2	3	4
3 施設が整備されたことで、一流のスポーツイベントなどが開催できる都市になった	1	2	3	4	5	1	2	3	4
4 市内や県内でトップアスリートが生まれ、活動できる都市になった	1	2	3	4	5	1	2	3	4
5 障害の有無や年齢に関係なく運動やスポーツを楽しめる環境が整備された	1	2	3	4	5	1	2	3	4
6 国際都市としての評価が得られた	1	2	3	4	5	1	2	3	4
7 観光客等に対する都市の魅力やイメージが向上した	1	2	3	4	5	1	2	3	4

Ⅰ スポーツ施設の利用について

問38 この1年間に、あなたが①運動・スポーツを行うために利用した、②最も利用した、③今後充実させた方が良いと思う、市内の公共スポーツ施設をお答えください。

(①はあてはまる番号すべてに○、②③はあてはまる番号ひとつに○)

	1年間に		③充実させた 方が良い
	①利用した	②最も利用 した	
	あてはまる 番号すべてに ○	ひとつに○	ひとつに○
1 陸上競技場	1	1	1
2 野球場（長野県営野球場・長野オリンピックスタジアム）	2	2	2
3 屋外運動場、土グラウンド	3	3	3
4 屋内運動場（ゲートボール・テニス・フットサル）	4	4	4
5 大規模体育館（ホワイトリング、南長野運動公園体育館など）	5	5	5
6 社会体育館	6	6	6
7 学校施設（校庭・体育館）	7	7	7
8 屋内プール	8	8	8
9 屋外プール	9	9	9
10 屋外テニスコート	10	10	10
11 柔剣道場	11	11	11
12 マレットゴルフ場	12	12	12
13 芝生グラウンド（千曲川リバーフロントスポーツガーデンなど）	13	13	13
14 スケートリンク	14	14	14
15 スキー場	15	15	15
16 その他（ ）	16	16	16
17 利用したことがない／該当の施設はない	17		17

問39 は、問38「①運動・スポーツを行うために利用した施設」で17を選んだ方にお聞きします。

問39 公共スポーツ施設を利用したことがない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1 利用方法や手続きがわからない	2 一緒に運動・スポーツをする仲間がいない
3 希望する運動・スポーツの施設・設備がない	4 使いたい時間に開放されていない
5 利用手続きが煩わしい	6 予約が入っていて利用できなかった
7 民間の施設を利用している	8 公共スポーツ施設をよく知らない
9 そもそも運動・スポーツをしない	10 その他（ ）

J 長野市の運動・スポーツ振興について

問40 あなたは、長野市が発信している運動・スポーツに関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 市の広報紙	2 市のホームページ	3 新聞
4 テレビ	5 回覧板	6 市のSNS
7 その他 ()		
8 長野市から、運動・スポーツの情報を特に入手していない		

問41 は、問40で1～7を選択した方にお聞きします。

問41 入手したスポーツ情報をきっかけに何かスポーツに関わりましたか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 ウォーキング・散歩などの軽運動を始めた	2 運動・スポーツに関するボランティアに参加した
3 野球・テニスなどの競技スポーツを始めた	4 スポーツ教室へ参加した
5 スポーツを観戦した	6 その他 ()
7 運動・スポーツに関わっていない	

問42 あなたは、スポーツ振興にどのような効果を期待しますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 親子や家族の交流	2 余暇時間の有効活用
3 世代間交流の促進	4 子どもの体力づくり
5 青少年の健全育成	6 高齢者の生きがいづくり
7 健康づくりや成人病予防	8 経済の活性化
9 交流人口の増加	10 スポーツ施設の有効利用
11 地域の健康水準の向上	12 地域コミュニティの形成、活性化
13 オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進	14 その他 ()
15 効果はない	

問43 長野市のさらなるスポーツ振興のために、①今後力を入れてほしいと思うこと、②最も力を入れてほしいと思うことをお答えください。

(①はあてはまる番号すべてに○、②はあてはまる番号ひとつに○)

	①力を入れてほしい	②最も力を入れてほしい
	あてはまる番号すべてに○	ひとつに○
1 スポーツイベント・教室の開催	1	1
2 競技スポーツの普及と競技力の向上	2	2
3 障害の有無に関わらず、スポーツに親しむ環境整備	3	3
4 総合型地域スポーツクラブなどによる地域スポーツの活動	4	4
5 スポーツ施設の充実	5	5
6 国際競技大会・全国大会の誘致・開催	6	6
7 地域密着型プロスポーツチームの観戦機会拡大・交流促進	7	7
8 オリンピックムーブメントの継承・推進	8	8
9 運動部活動の地域展開に向けた環境整備	9	9
10 合宿誘致など「スポーツ×観光」による交流人口の拡大	10	10
11 スポーツ分野への企業参画、スポーツ産業育成支援	11	11
12 その他（ ）	12	12
13 力を入れてもらいたいものはない	13	

長野市のスポーツ振興について、日頃感じていることがございましたら、ご意見をお聞かせください。

(記述)

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。



ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の封筒（切手不要）にお入れいただき、

令和8年1月30日（金）までに、お近くのポストへご投函ください。